

がん対策に関するアンケート調査について

平成28年9月 山梨県福祉保健部健康増進課

<アンケートの概要>

アンケート名	がん対策に関するアンケート調査
調査対象	県政モニター20才以上 (郵送モニター、インターネットモニター)
実施目的	がん検診受診率の実態把握や、県のがん対策に関する県民の皆様の認知度等を把握し、より一層充実したがん対策を推進するため、アンケートを実施しました。
実施時期	平成28年8月
送付と回答	送付数398人 (郵送330人、インターネット68人) 回答数331人 (郵送288人、インターネット43人) 回答率83.1% (郵送87.2%、インターネット63.2%)
集計について	アンケートは20問用意し、最後の問20ではがん対策について自由意見の記述を求めました。 有効な回答を得られなかった回答については、未回答として示しまし

アンケート結果は、次のとおりです。

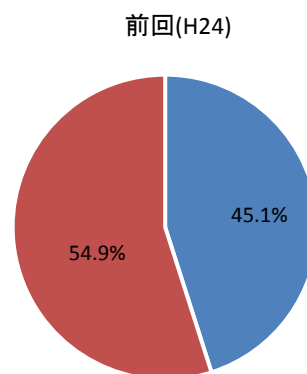
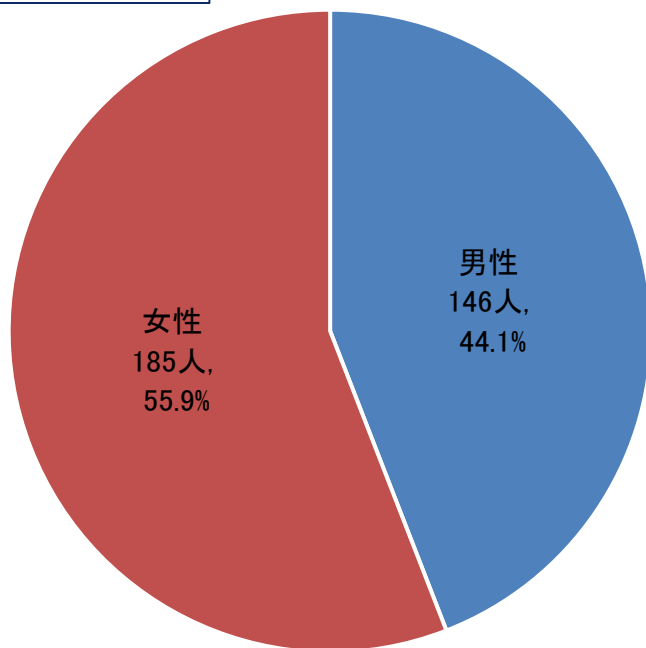
<参考>

前回の調査について

調査対象	県政モニター20才以上 (郵送モニター、インターネットモニター)
実施時期	平成24年12月
送付と回答	送付396人 (郵送323人、インターネット73人) 回答295人 (郵送249人、インターネット46人) 回答率74.5% (郵送77.1%、インターネット63.0%)

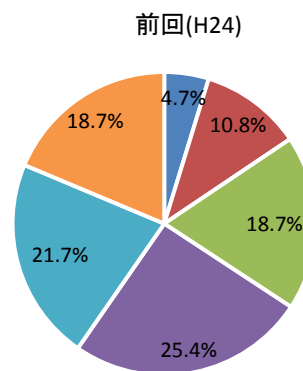
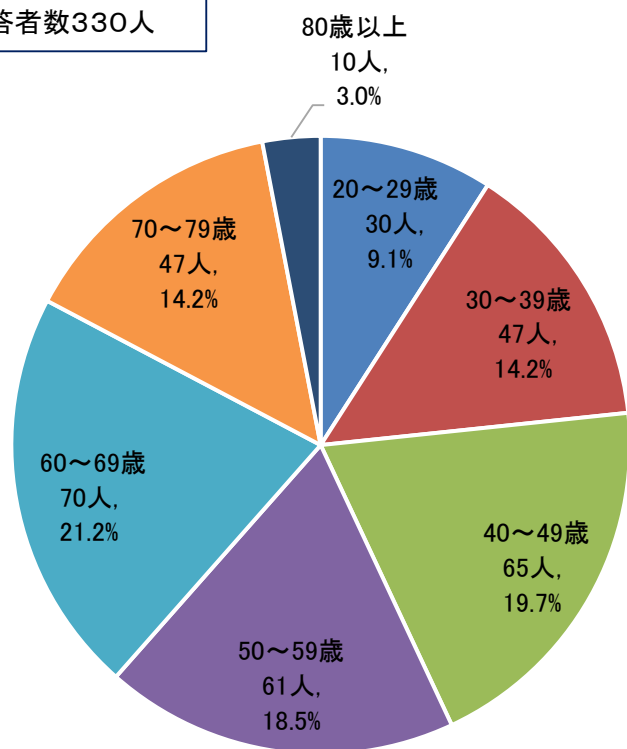
基本項目1 あなたの性別は

回答者数331人

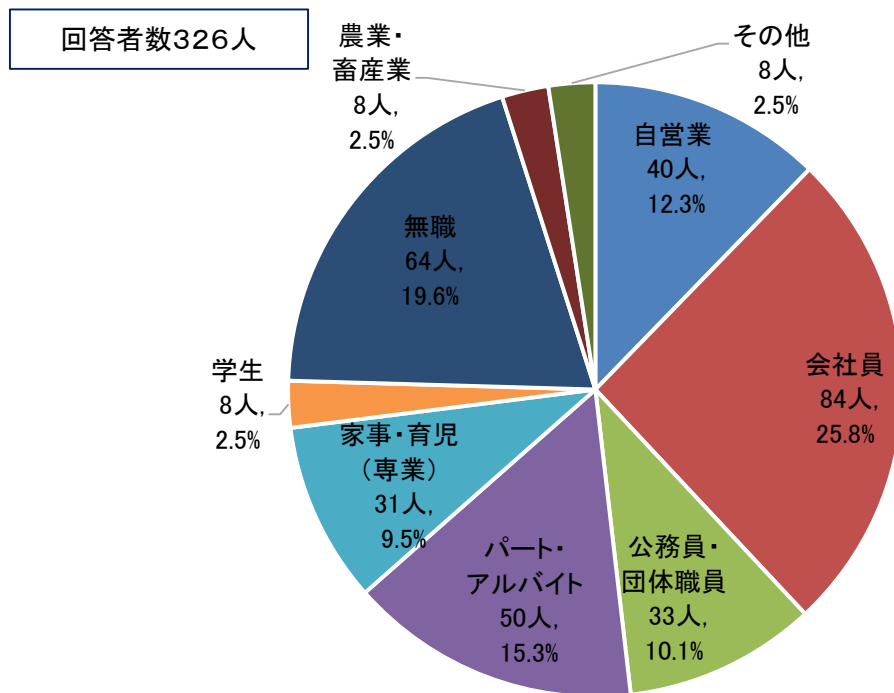


基本項目2 あなたの年齢は

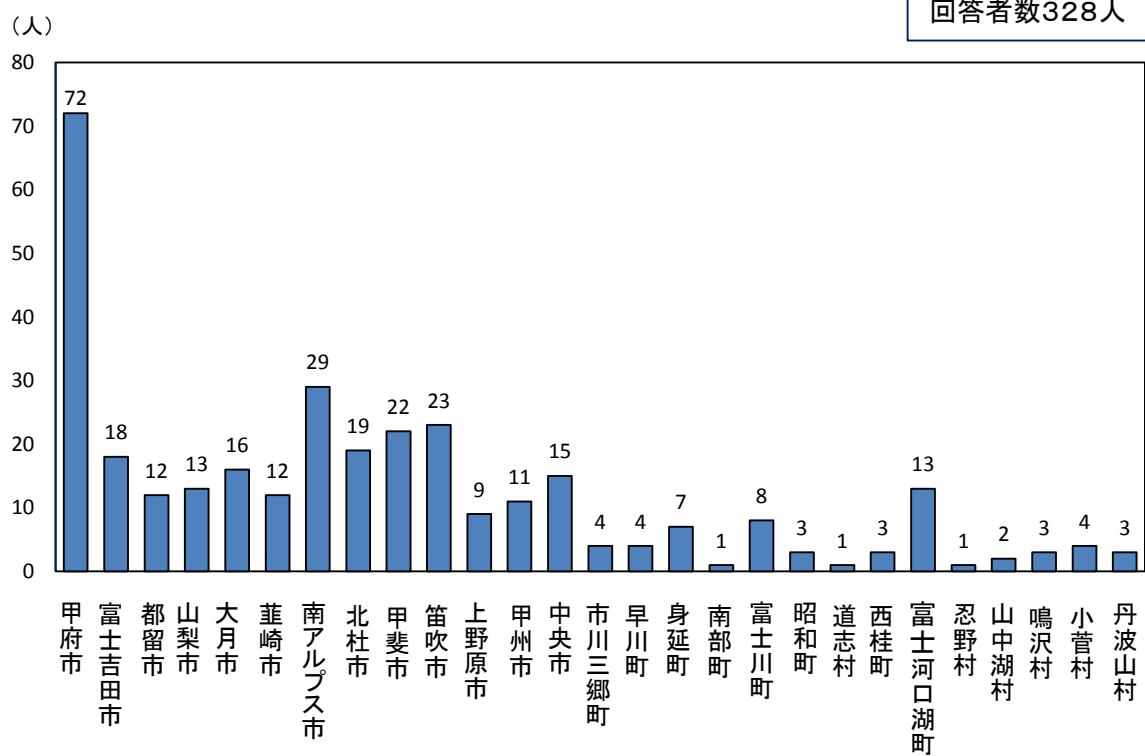
回答者数330人



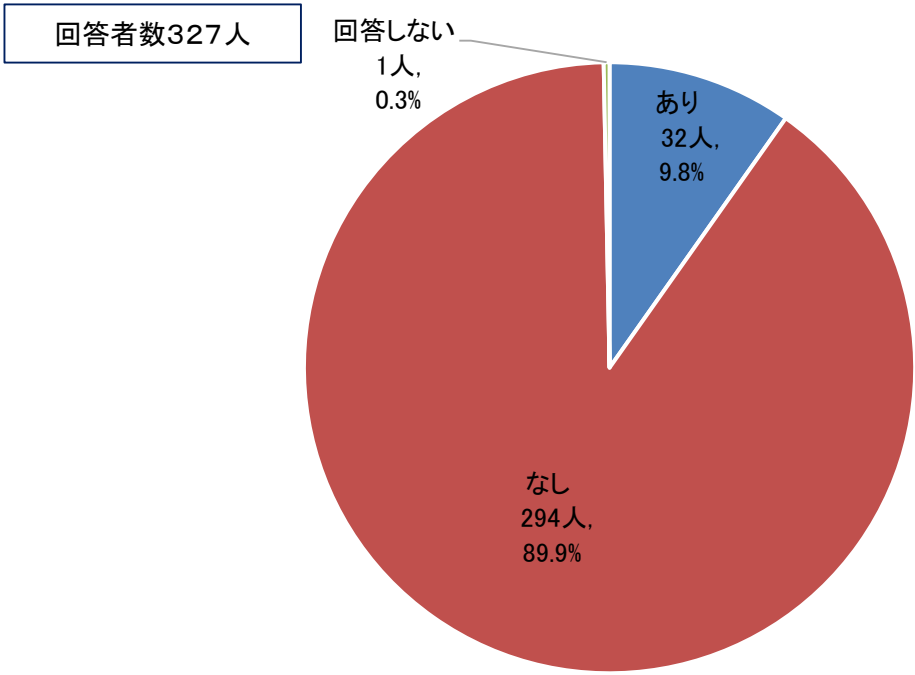
基本項目3 あなたの職業は



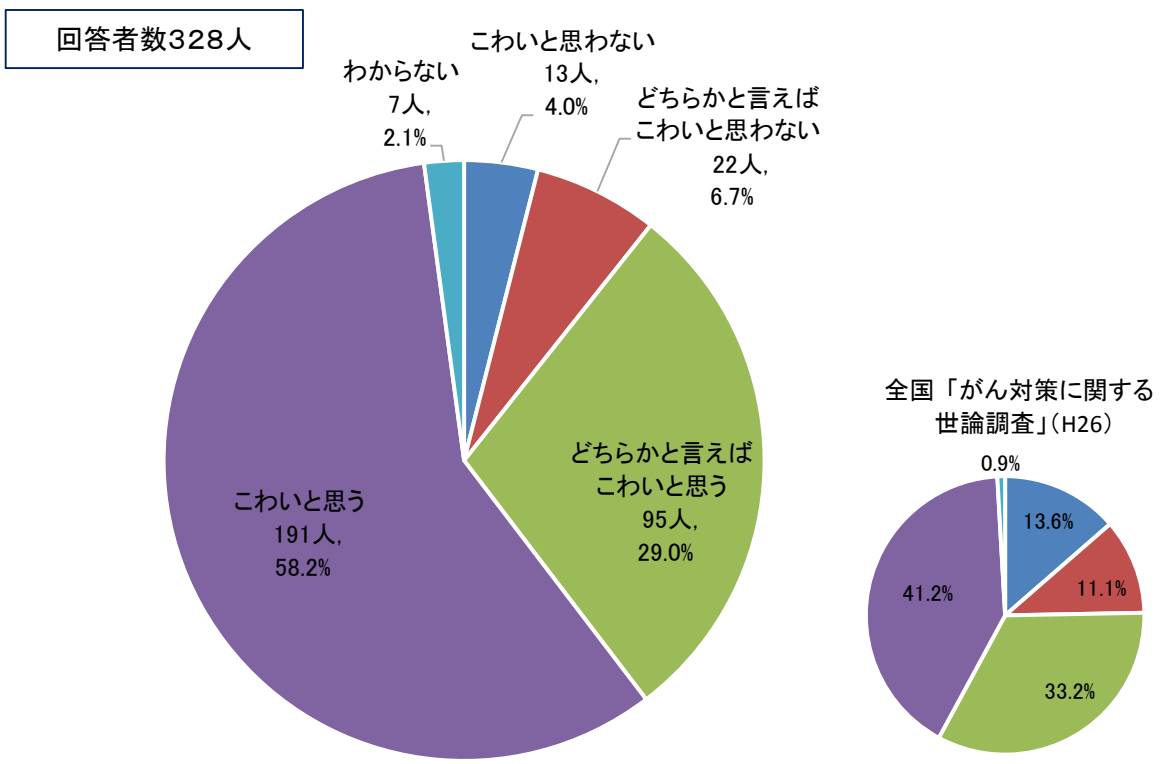
基本項目4 あなたのお住まいは



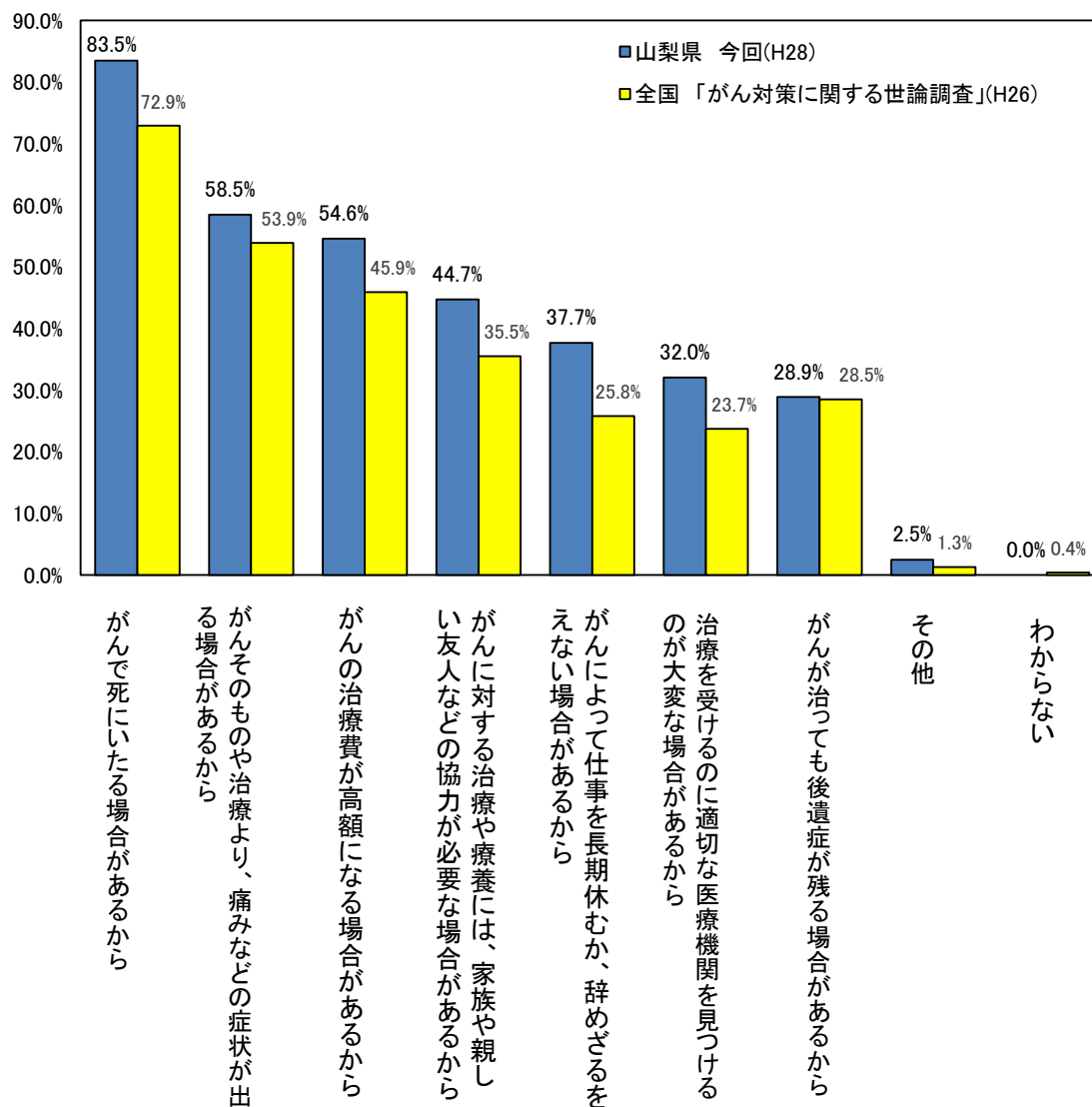
基本項目5 あなたは、「がん」と診断されたことがありますか



問1 あなたは、「がん」についてどのような印象をお持ちですか。最も近いものを選んでください。(1つ選択)



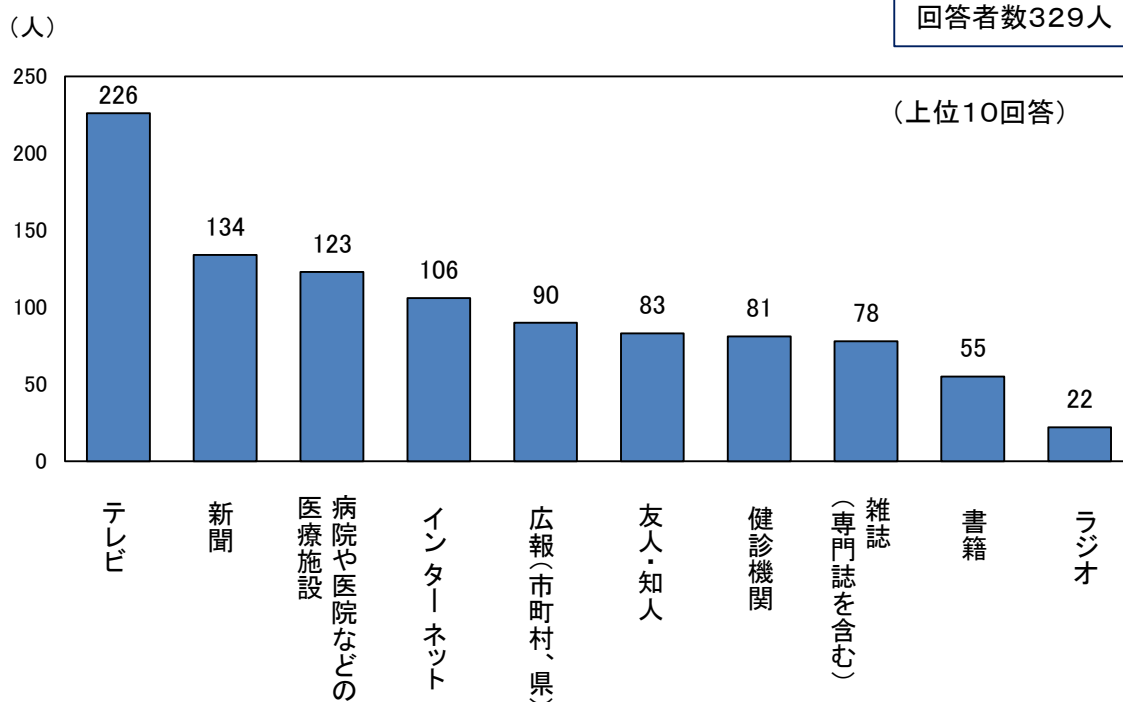
問2 問1で「(ウ)どちらかと言えば怖いと思う」「(エ)こわいと思う」と答えた方にお聞きします。あなたが、がんをこわいと思う理由をいくつでもお答えください。(複数回答可)



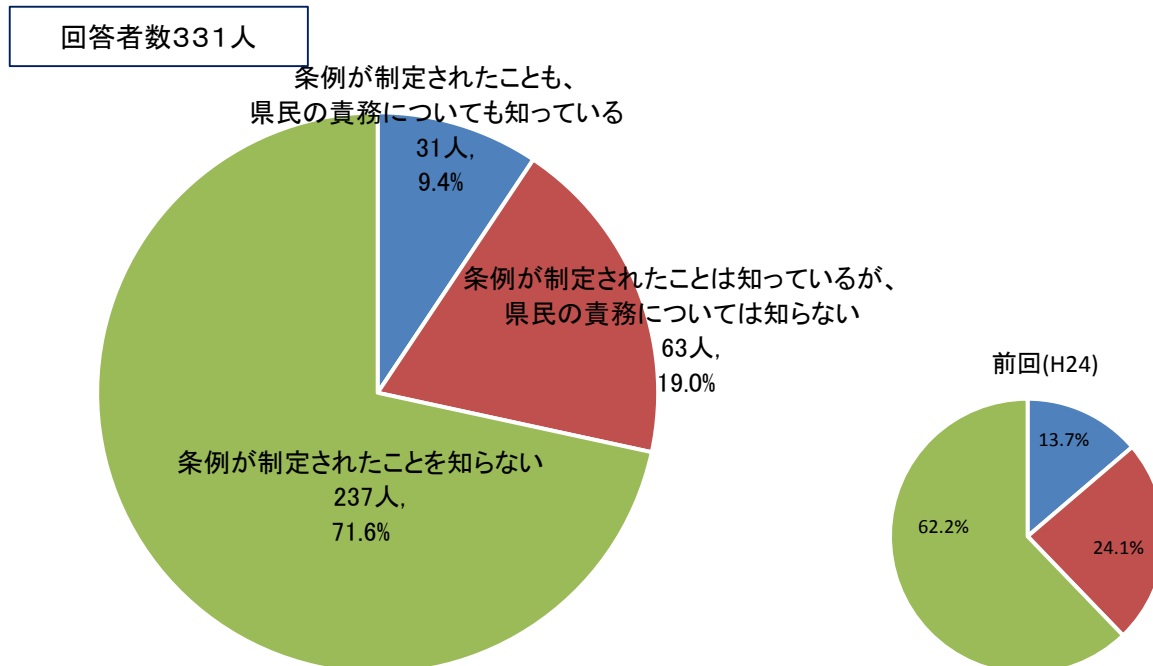
(その他)

- ・他の場所へ移転することのこわさ
- ・家族を養えなくなる
- ・転移、再発しそうなので
- ・がんで身内を若年で亡くしたから
- ・不安を抱えたままの生活で鬱になりそう(精神的ダメージ)
- ・親族にがんにかかった人がいる

問3 あなたは、がんの予防や検診、治療など、がんに関する一般的な情報について、どのようなところから情報を得ていますか。（複数回答可）

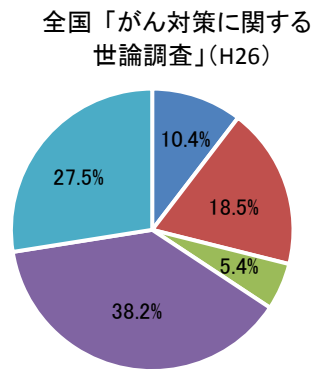
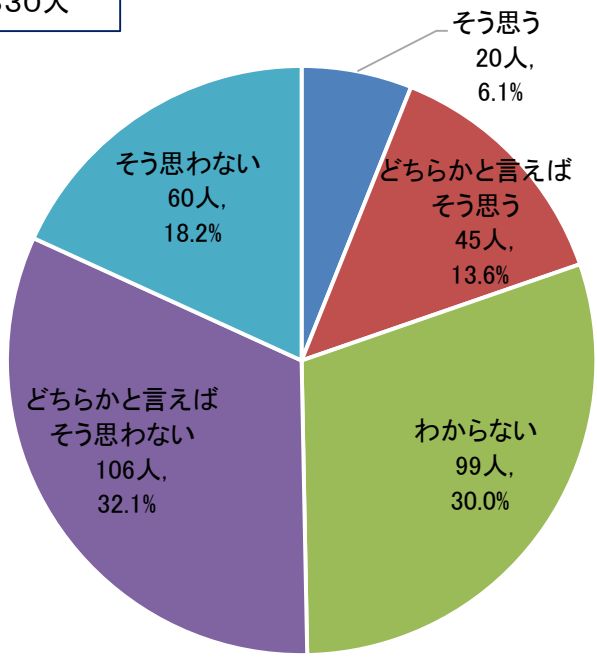


問4 平成24年4月1日に「山梨県がん対策推進条例」が施行されました。条例には、「県民は、喫煙、食生活、運動その他の生活習慣が健康に及ぼす影響等がんに関する正しい知識を持ち、がんの予防に必要な注意を払うとともに、がん検診を積極的に受けるよう努める」と、県民の責務が規定されましたが、あなたは、そのことを知っていますか。（1つ選択）



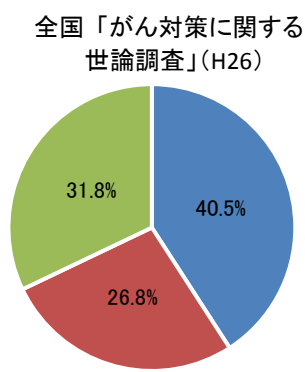
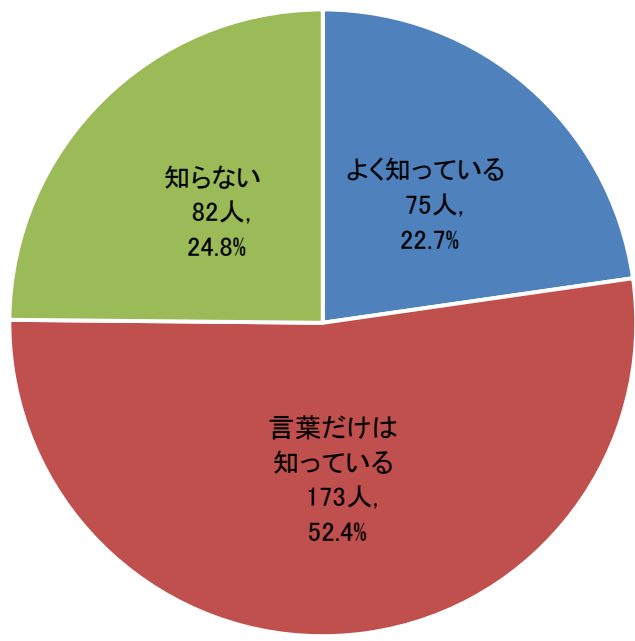
問5 現在の山梨県の社会状況では、がんの治療や検査のために2週間に一度程度病院に通う必要がある場合、働き続けられる環境だと思いますか。(1つ選択)

回答者数330人



問6 あなたは、がん医療における緩和ケアについて知っていますか。(1つ選択)

回答者数330人



問7 あなたは、がんに対する緩和ケアはいつから実施されるべきものと思っていますか。
(1つ選択)

回答者数330人

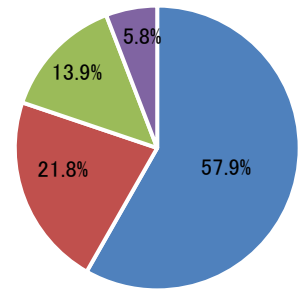
がんの治る見込み
がなくなった時から
24人,
7.3%

わからない
31人,
9.4%

がんの治療が始
まった時から
79人,
23.9%

がんと診断された
時から
196人,
59.4%

全国「がん対策に関する
世論調査」(H26)

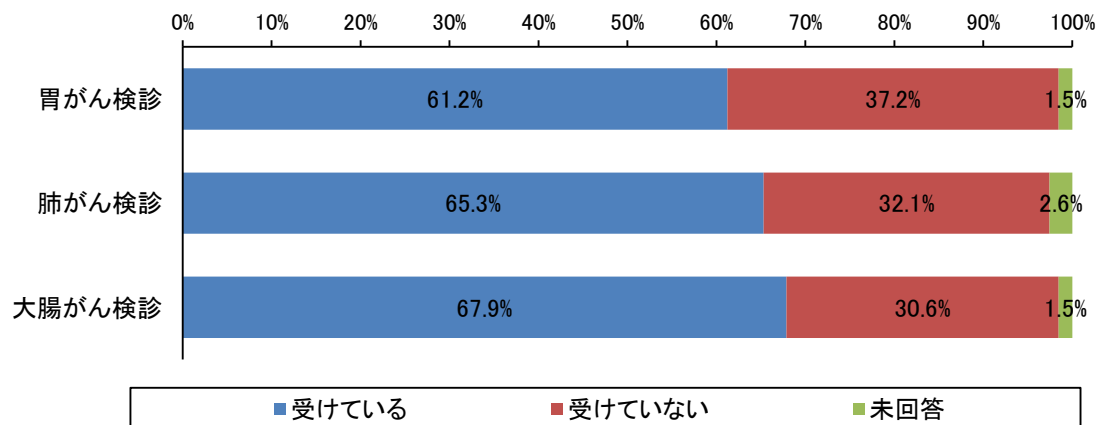


問8 あなたは、次のがん検診を過去1年以内に受けたことがありますか。何の機会に受診したのかも含めてそれぞれのがん検診についていずれかに○印をつけてください。

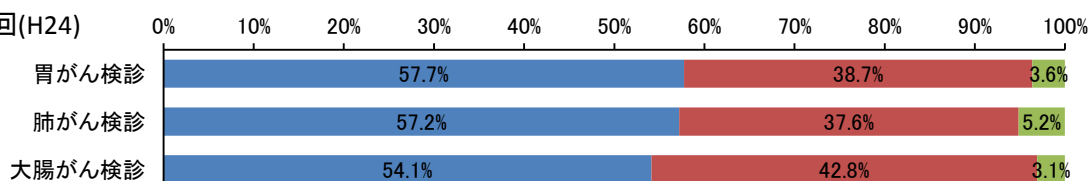
<受診状況>

胃がん検診・肺がん検診・大腸がん検診
40～69歳

回答者数196人



前回(H24)

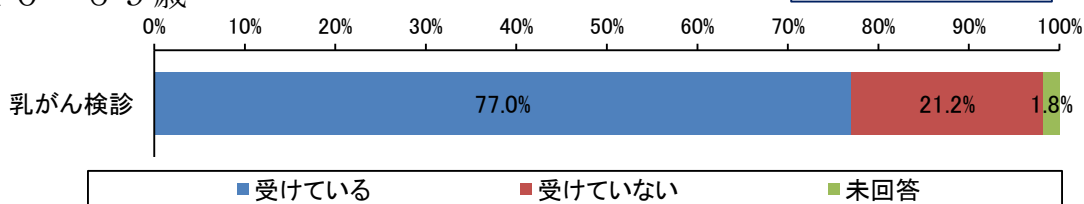


問9 女性の方におたずねします。あなたは次のがん検診を過去2年の間に受けたことがありますか。何の機会に受診したのかも含めてそれぞれのがん検診についていずれかに○印をつけてください。

<受診状況> 乳がん検診

40～69歳

回答者数113人



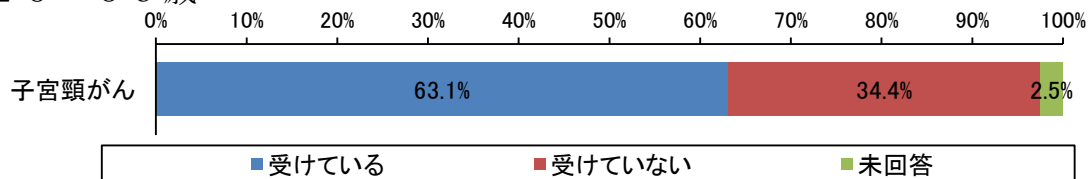
前回(H24)



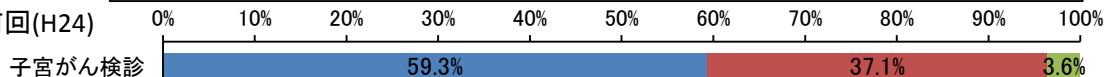
<受診状況> 子宮頸がん検診

20～69歳

回答者数160人



前回(H24)



がん検診受診率

過去1年

胃・大腸・肺・乳房(40～69歳以下)、子宮頸部(20～69歳以下)

実施年	都道府県名	胃	大腸	肺	乳房	子宮頸部
平成22年 国民生活基礎調査	山梨県	37.4%	29.0%	31.9%	40.9%	31.3%
	全国	32.3%	26.0%	24.7%	30.6%	28.7%
平成25年 国民生活基礎調査	山梨県	49.0%	45.8%	54.5%	48.6%	40.2%
	全国	39.6%	37.9%	42.3%	34.2%	32.7%
平成28年度 県政モニターアンケート		61.2%	67.9%	67.9%	77.0%	63.1%

過去2年

実施年	都道府県名	乳房	子宮頸部
平成22年 国民生活基礎調査	山梨県	49.4%	40.5%
	全国	39.1%	37.0%
平成25年 国民生活基礎調査	山梨県	54.9%	48.4%
	全国	43.4%	42.1%

出典：国民生活基礎調査(40(20)～69歳以下)

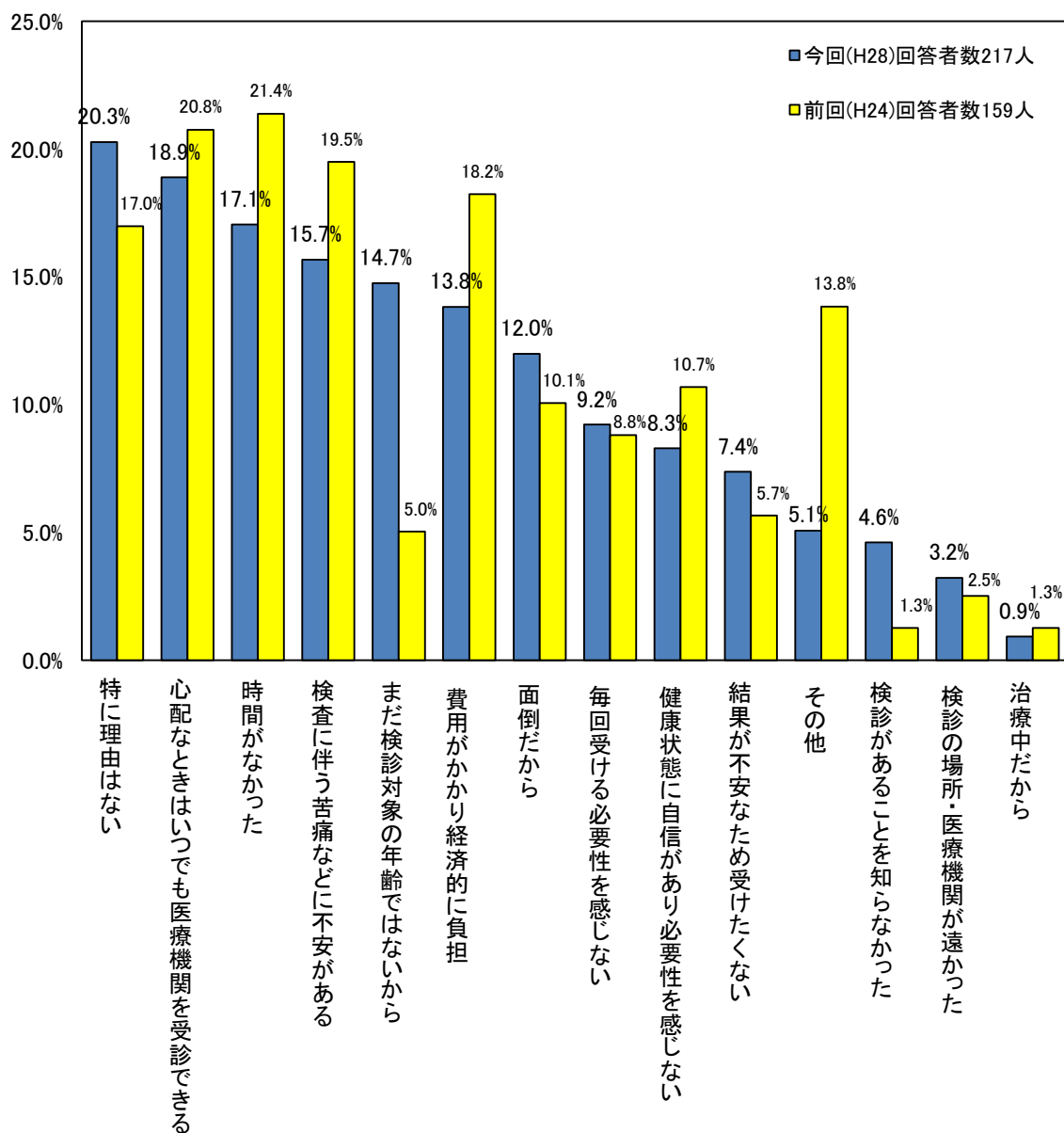
出典：県政モニターアンケート調査(40(20)～69歳以下)

<参考> 精密検査受診率

実施年	都道府県名	胃	大腸	肺	乳房	子宮頸部
平成23年度 地域保健・健康 増進事業報告	山梨県	78.1%	67.2%	79.4%	85.0%	70.5%
	全国	80.5%	63.0%	77.9%	84.4%	68.0%
平成24年度 地域保健・健康 増進事業報告	山梨県	75.1%	69.6%	73.8%	84.4%	50.1%
	全国	81.5%	64.7%	78.5%	85.0%	69.0%
平成25年度 地域保健・健康 増進事業報告	山梨県	79.1%	67.9%	71.6%	85.0%	53.1%
	全国	81.4%	66.0%	78.6%	85.0%	70.4%

出典：地域保健・健康増進事業報告

問10 問8, 9で「(がん検診を)受けていない」がひとつ以上ある方におたずねします。受けなかった理由は何ですか。(複数回答可)

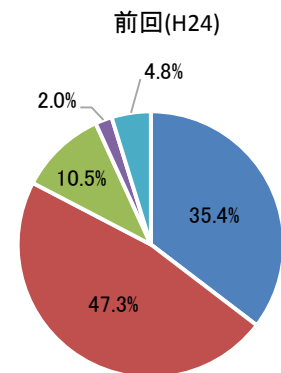
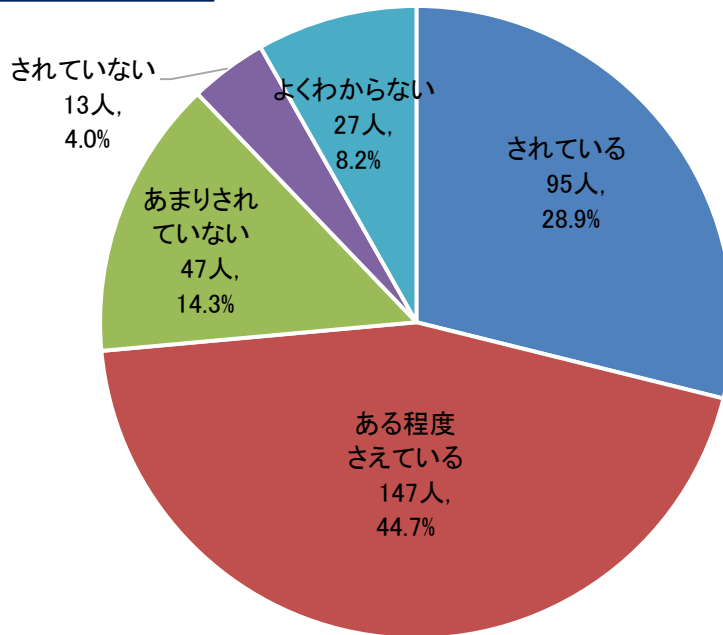


(その他)

- ・土日にやってる病院が少なく、仕事を休めない
- ・申し込みのタイミングが合わなかった
- ・血縁者に誰もがんの人はいない
- ・どのタイミングで受ければいいのかわからない
- ・乳がんは自分で分かると思う
- ・子宮全摘しているので必要ないと思う
- ・子宮頸がんはテレビで後遺症が出た人がいたのでやめた
- ・妊娠、授乳中のため

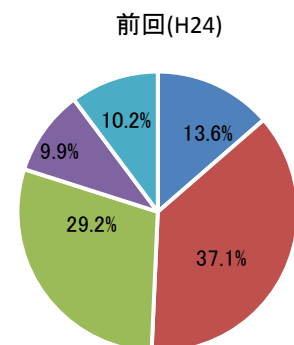
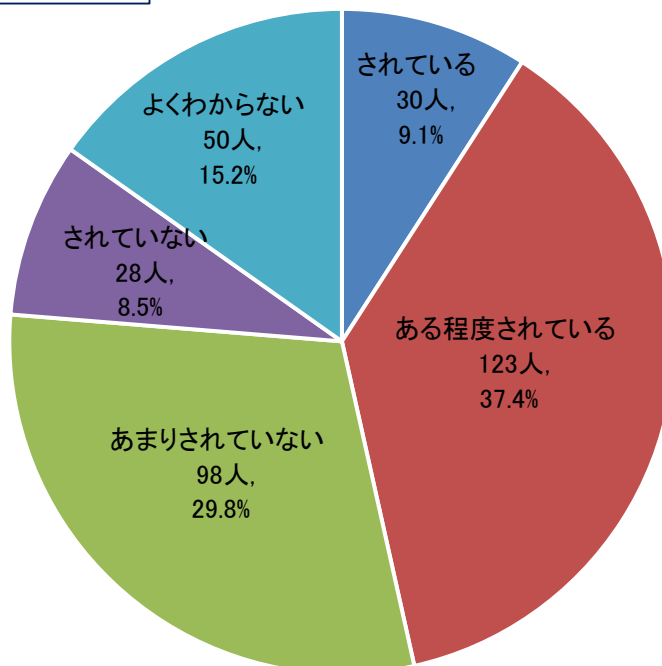
問 1 1 市町村が実施するがん検診では、各市町村において住民に対する受診案内や受診に関する普及啓発活動が行われていますが、十分に周知・広報されていると思いますか。（1つ選択）

回答者数329人



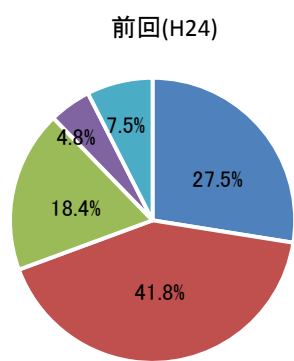
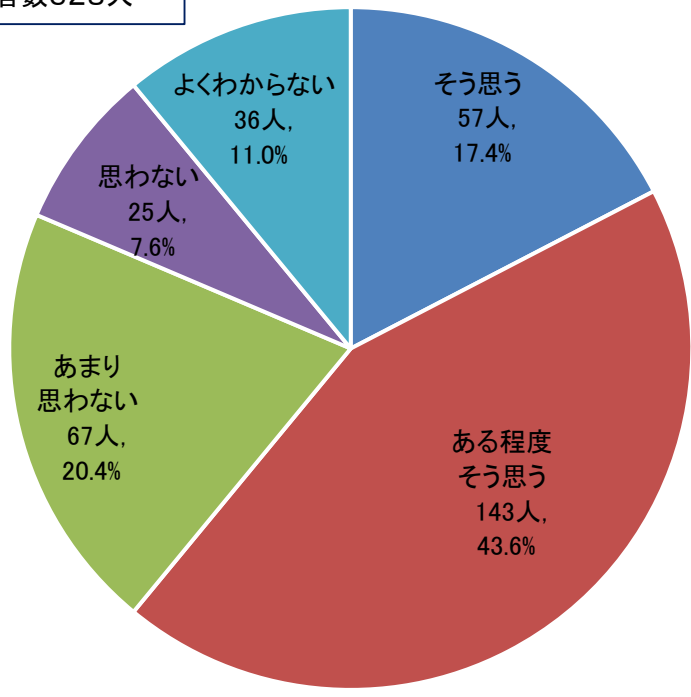
問 1 2 県では、がん検診受診率向上を目的とした普及啓発活動を行っていますが、県の活動は十分に周知・広報されていると思いますか。（1つ選択）

回答者数329人

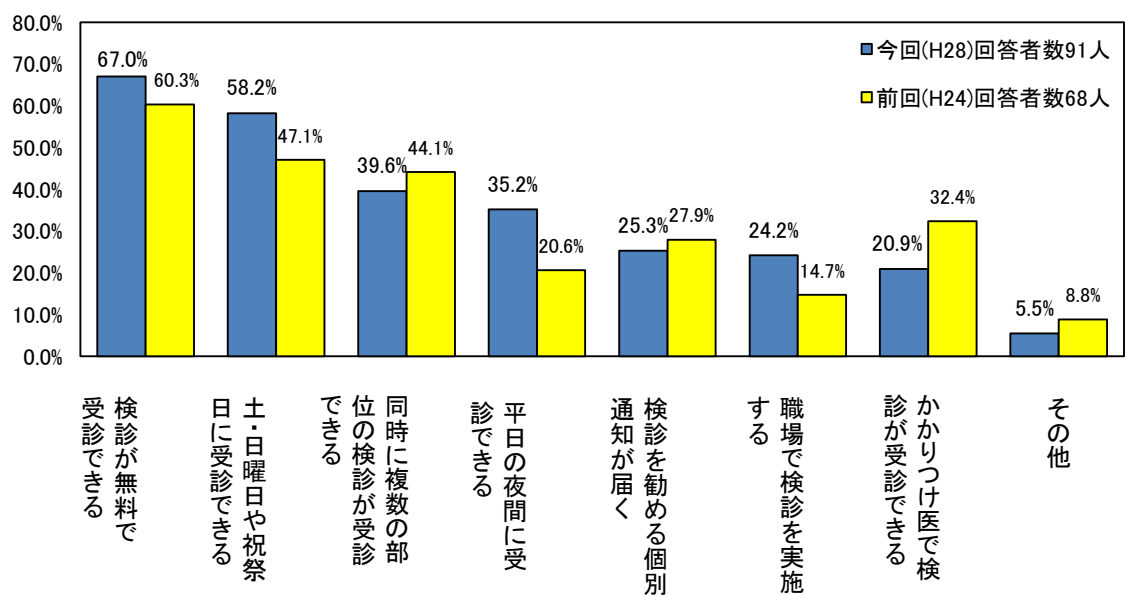


問 1 3 あなたは、市町村や職場等が実施するがん検診について、受診しやすい体制（受診しやすい会場・医療機関、時間帯等）になっていると思いますか。（1つ選択）

回答者数328人



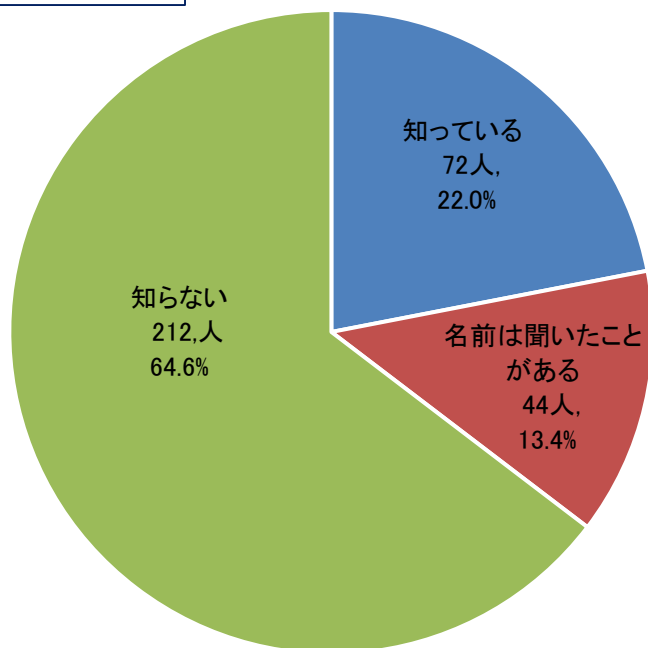
問 1 4 問 1 3 で、「(ウ) あまり思わない」及び「(エ) 思わない」と回答した方におたずねします。どうしたらもっと検診が受けやすくなると思いますか。（複数回答可）



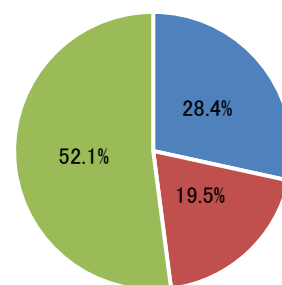
- (その他)
- ・予約なしに当日空いていたら受診できる
 - ・検診料を安くする
 - ・交通が不便なので近いところで検診が受けられれば良い
 - ・甲府市外で一日の人間ドックが受けられるようにしてほしい

問15 あなたは、県内に「がん診療連携拠点病院」があることを知っていますか。
(1つ選択)

回答者数328人

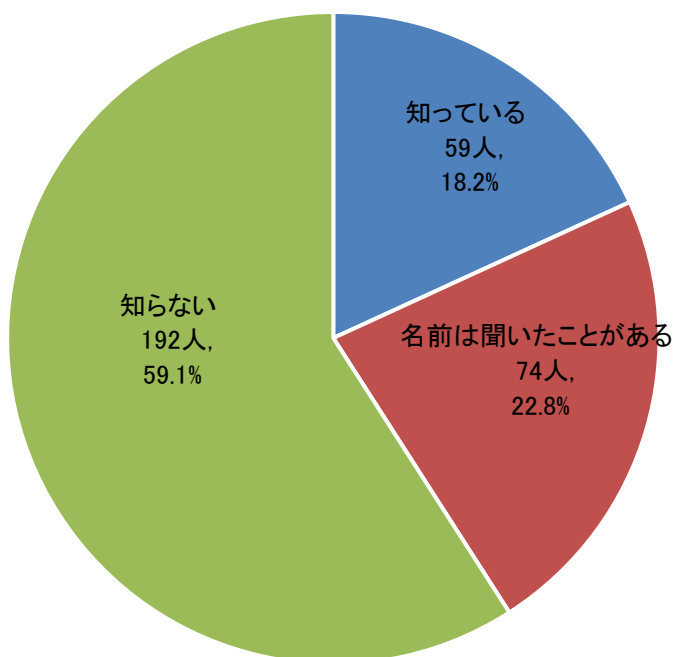


前回(H24)

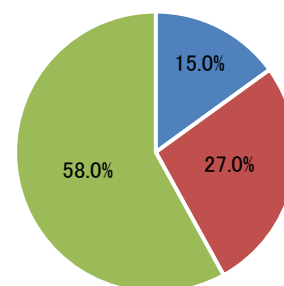


問16 あなたは、県内に「がん相談支援センター」があることを知っていますか。
(1つ選択)

回答者数325人

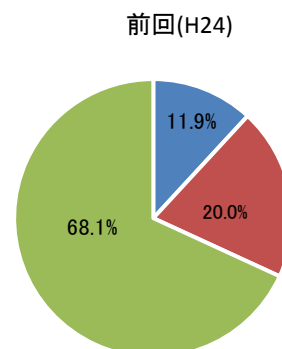
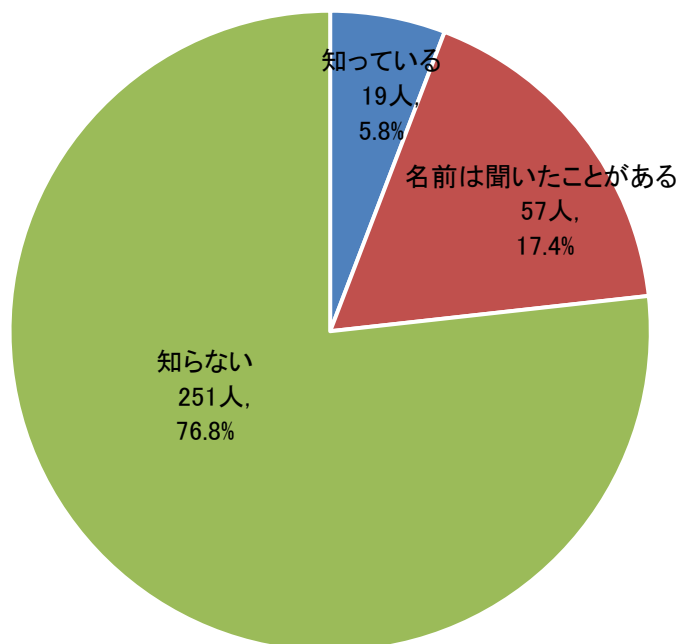


前回(H24)

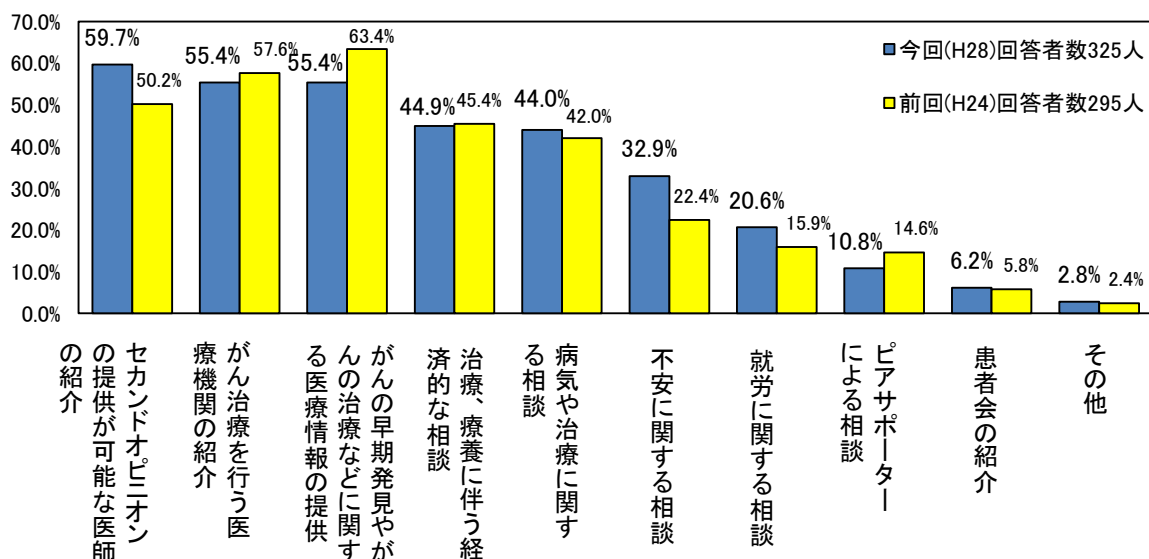


問17 あなたは、県内に「県がん患者サポートセンター」があることを知っていますか。
(1つ選択)

回答者数327人



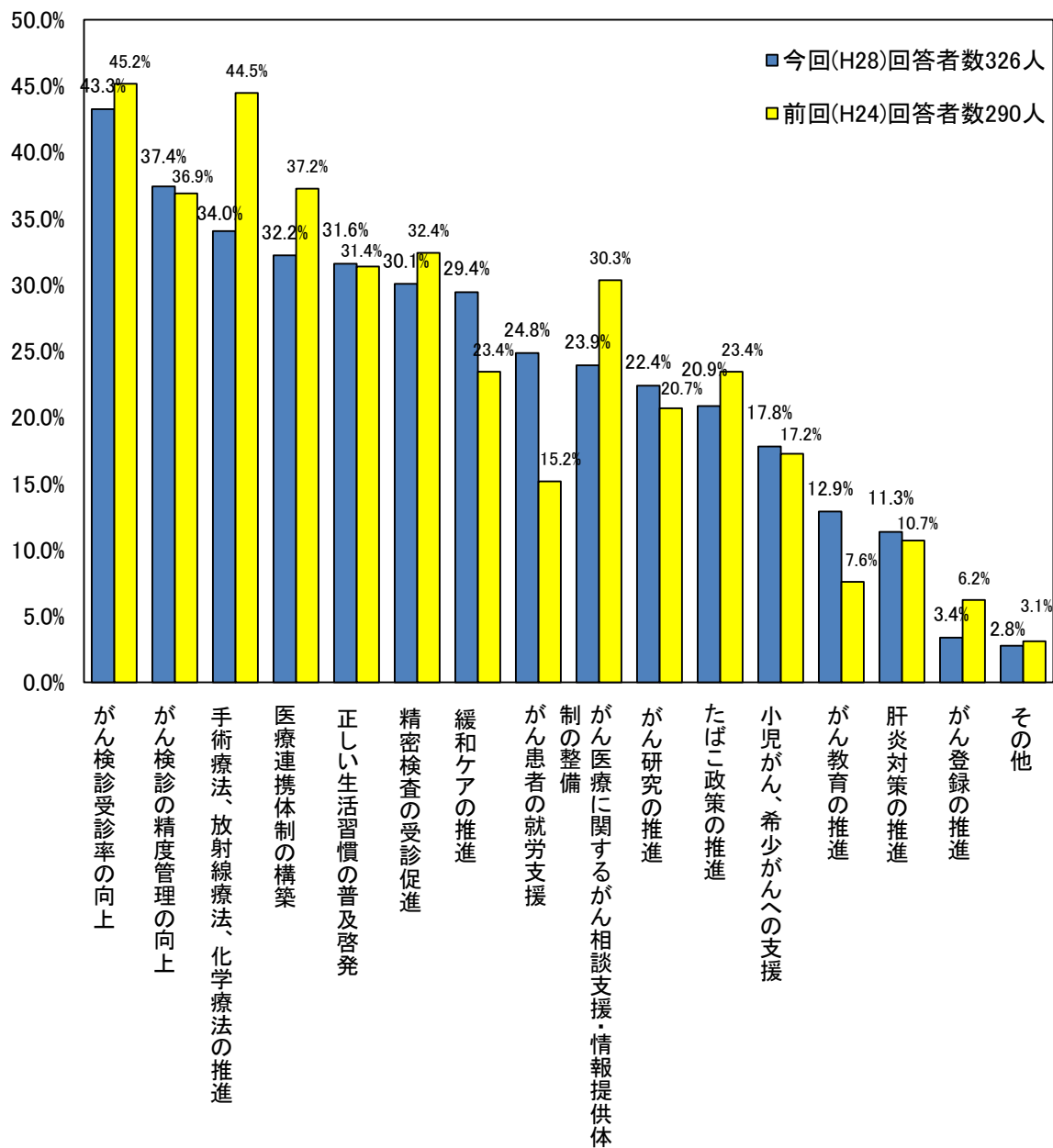
問18 がんに関する相談支援において、あなたが充実させてほしいと思う内容は何か。
(複数回答可)



(その他)

- ・家族への説明や対応法、経済的支援策などのフォロー
- ・市町村等の高額療養費の公費負担とかの手續等の相談
- ・遺族のサポート
- ・なぜがんになるのか、糖質摂取の観点からの原因を考える者が増えるようにする
- ・がんになった時に即座にサポートしてほしい
- ・がんに関する相談支援を行っていることを知らなかった

問19 あなたは、がん対策について、県にどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。（複数回答可）



(その他)

- ・すべてのがんの医療費の支援
- ・経済的不安の解消 無償がん検診受診制度
- ・働かず完治まで療養できる環境整備
- ・受診率を向上させるなら、医療機関での医者、看護師の技術、倫理の向上をより一層目指して、信頼性を高めてほしい
- ・現在どのような対策があるのかわからない

平成28年度県政モニター「がん対策に関するアンケート」

調査結果まとめ

□ 社会環境について

・がんになった時「2週に1回病院に通いながら働き続けられる環境だ」は2割（国3割）であり、がんになったら安心して働き続けにくい社会環境であるということが推測できる。

□ 関係機関の普及状況

・山梨県がん対策推進条例・がん診療連携拠点病院・がん相談支援センター・県がん患者サポートセンターについては、前回の調査（平成24年度）にくらべ「知らない」と回答しており、普及が進んでないことが推測できる。

□ がん検診受診率

・ほぼ6割が何らかの検診（市町村・職場・人間ドック・かかりつけ等）を受けており、本県の受診率は全国トップクラスであることから、がん検診を受けるための一定の成果を上げていると思われる。

・「がん検診を受けていない理由」を高い順に見ると、「特に理由はない」20.3%（前回17%）、「心配な時は受診できる」18.9%（前回20.8%）、「時間がなかった」17.1%（前回21.4%）の順であり、前回の調査と比べ、特に理由がないにもかかわらず、がん検診を受けていない無関心層が増えていると推測できる。

「がん」に対する意識についておたずねします。

問1 あなたは、がんについてどのような印象をお持ちですか。最も近いものを選んでください。(1つ選択)

- ア こわいと思わない
- イ どちらかと言えばこわいと思わない
- ウ どちらかと言えばこわいと思う
- エ こわいと思う
- オ わからない

問2 問1で「(ウ) どちらかと言えばこわいと思う」「(エ) こわいと思う」と答えた方にお聞きします。

あなたが、がんをこわいと思う理由をいくつでもお答えください(複数回答可)

- ア がんで死にいたる場合があるから
- イ がんそのものや治療により、痛みなどの症状が出る場合があるから
- ウ がんが治っても後遺症が残る場合があるから
- エ がんの治療費が高額になる場合があるから
- オ がんによって仕事を長期間休むか、辞めざるをえない場合があるから
- カ がんに対する治療や療養には、家族や親しい友人などの協力が必要な場合があるから
- キ 治療を受けるのに適切な医療機関を見つけるのが大変な場合がある
- ク その他(回答用紙に記入)
- ケ わからない

問3 あなたは、がんの予防や検診、治療など、がんに関する一般的な情報について、どのようなところから情報を得ていますか。(複数回答可)

- | | | |
|-----------------|----------------|---------|
| ア 新聞 | イ 雑誌(専門誌を含む) | ウ テレビ |
| エ ラジオ | オ インターネット | カ 書籍 |
| キ 広報(市町村、県) | ク 病院や医院などの医療施設 | ケ 友人、知人 |
| コ がんに関する相談窓口 | サ 保健所、保健センター | シ 健診機関 |
| ス スーパー等の店舗 | セ 金融機関や保険会社の窓口 | ソ 職場の広報 |
| タ 特に情報を必要としていない | | |
| チ その他(回答用紙に記入) | | |

問4 平成24年4月1日に「山梨県がん対策推進条例」が施行されました。条例には、「県民は、喫煙、食生活、運動その他の生活習慣が健康に及ぼす影響等がんに関する正しい知識を持ち、がんの予防に必要な注意を払うとともに、がん検診を積極的に受けるよう努める」と、県民の責務が規定されましたが、あなたは、そのことを知っていますか。(1つ選択)

- ア 条例が制定されたことも知っているし、県民の責務についても知っている
- イ 条例が制定されたことは知っているが、県民の責務については知らない
- ウ 条例が制定されたことを知らない

問5 現在の山梨県の社会状況では、がんの治療や検査のために2週間に一度程度病院に通う必要がある場合、働き続けられる環境だと思いますか。(1つ選択)

- ア そう思う
- イ どちらかといえばそう思う
- ウ わからない
- エ どちらかといえばそう思わない
- オ そう思わない

問6 あなたは、がん医療における緩和ケア(※)について知っていますか。(1つ選択)

- ア よく知っている
- イ 言葉だけは知っている
- ウ 知らない

(※) がん医療における緩和ケア
がんに伴って生じる体や心の痛みを和らげるための医療サービスを含むサポートのことです。

問7 あなたは、がんに対する緩和ケアはいつから実施されるべきものと思っていますか。(1つ選択)

- ア がんと診断された時から
- イ がんの治療が始まったときから
- ウ がんが治る見込みがなくなったときから
- エ わからない

「がん検診」についておたずねします。

問8 あなたは、次のがん検診を過去1年以内に受けたことがありますか。何の機会に受診したのかも含めて、(1)～(4)のそれぞれのがん検診について1～6のいずれかに○印をつけてください。

	(ア) 市町村	(イ) 職 場	(ウ) 自主的な 人間ドック等	(エ) かかり つけ医	(オ) その他	(カ) 受けて いない
(1) 胃がん検診	1	2	3	4	5	6
(2) 肺がん検診	1	2	3	4	5	6
(3) 大腸がん検診	1	2	3	4	5	6
(4) その他(※)	1	2	3	4	5	6

<参考>

○がん検診は、身体にがんがあるかどうかを調べる検査です。がん検診の目的は、がんを早期に発見し、適切な治療を行うことでがんによる死亡を減少させることです。

○がん検診は、市町村が実施するがん検診のほか、職場で実施するがん検診や個人が全額自費で検診を受ける場合等があります。また、他の病気の治療中にごんに関する検査を受ける場合もあります。

○がん検診の種類について

- (1) 胃がん検診 胃部エックス線検査又は胃内視鏡検査のいずれか
- (2) 肺がん検診 胸部エックス線検査や喀痰（かくたん）検査など
- (3) 大腸がん検診 便潜血検査（検便）など
- (4) その他(※) (胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん)検診は除く

○がん検診を受ける機会について

- (ア) 市町村 市町村が行う検診（集団検診・医療機関での個別検診）
- (イ) 職場 職場が行う検診（健康診断や人間ドック等）
- (ウ) 自主的な人間ドック等 全額自己負担で個人的に受けた検診
- (エ) かかりつけ医 全額自己負担で個人的に受けた検診
- (オ) その他 (ア)～(エ)以外の機会に行った検診
- (カ) 受けていない 過去1年以内にごん検診を受診していない場合

問9 女性の方におたずねします。あなたは次のがん検診を過去2年の間に受けたことがありますか。何の機会に受診したのかも含めて、(1)～(2)のそれぞれのがん検診について1～6のいずれかに○印をつけてください。

	(ア) 市町村	(イ) 職場	(ウ) 自主的 な人間 ドック 等	(エ) かかり つけ医	(オ) 妊娠時の かかりつ け医	(カ) その他	(キ) 受け てい ない
(1) 乳がん検診	1	2	3	4	/	6	7
(2) 子宮頸がん検診	1	2	3	4	5	6	7

<参考>

- (1) 乳がん検診 乳房エックス線検査（マンモグラフィ）など
 (2) 子宮頸がん検診 子宮頸部の細胞診検査など

問10 問8, 9で「(がん検診を)受けていない」が1つ以上ある方におたずねします。受けなかった理由は何ですか。(複数回答可)

- ア 健康状態に自信があり必要性を感じないから
- イ 心配な時はいつでも医療機関を受診できるから
- ウ まだ検診の対象年齢ではないから (※)
- エ 毎回受ける必要性を感じないから
- オ 時間がなかったから
- カ 費用がかかり経済的に負担だから
- キ 検診の場所・医療機関が遠かったから
- ク 検診があることを知らなかった
- ケ 面倒だから
- コ 検査に伴う苦痛などに不安があるから
- サ 結果が不安なため、受けたくないから
- シ 特に理由はない
- ス 治療中だから
- セ その他（回答用紙に記入）

(※) がん検診の対象と受診期間

- (1) 胃がん検診 50歳以上2年に1回 (4) 乳がん検診 40歳以上 2年に1回
 (2) 肺がん検診 40歳以上 年1回 (5) 子宮頸がん検診
 (3) 大腸がん検診 40歳以上 年1回 20歳以上 2年に1回

問 1 1 市町村が実施するがん検診では、各市町村において住民に対する受診案内や受診に関する普及啓発活動が行われていますが、十分に周知・広報されていると思いますか。(1つ選択)

- ア 周知・広報されている
- イ ある程度周知・広報されている
- ウ あまり周知・広報されていない
- エ 周知・広報されていない
- オ よくわからない

問 1 2 県では、がん検診受診率向上を目的とした普及啓発活動を行っていますが、県の活動は十分に周知・広報されていると思いますか。(1つ選択)

- ア 周知・広報されている
- イ ある程度周知・広報されている
- ウ あまり周知・広報されていない
- エ 周知・広報されていない
- オ よくわからない

<参考>

県では主に次のような活動を行っています

- ・民間企業や団体と連携したがん予防に関するイベント、キャンペーンによる普及啓発
- ・県の広報誌やマスメディアを通じた普及啓発
- ・民間企業と連携したがん予防サポートチームによる検診受診への呼びかけ

問 1 3 あなたは、市町村や職場等が実施するがん検診について、受診しやすい体制（受診しやすい会場・医療機関、時間帯等）になっていると思いますか。(1つ選択)

- ア そう思う
- イ ある程度そう思う
- ウ あまり思わない
- エ 思わない
- オ よくわからない

問14 問13で、「(ウ) あまり思わない」及び「(エ) 思わない」と回答した方におたずねします。

どうしたらもっと検診が受けやすくなると思いますか。(複数回答可)

- ア 平日の夜間に受診できる
- イ 土・日曜日や祝祭日に受診できる
- ウ 同時に複数の部位の検診が受診できる
- エ 職場で検診を実施する
- オ かかりつけ医で検診が受診できる
- カ 検診を勧める個別通知が届く
- キ 検診が無料で受診できる
- ク その他 (回答用紙に記入)

「がん対策」についておたずねします。

問15 あなたは、県内に「がん診療連携拠点病院」(※)があることを知っていますか。
(1つ選択)

- ア 知っている
- イ 名前は聞いたことがある
- ウ 知らない

(※) がん診療連携拠点病院

がん患者の生存率を高める目的で全国に整備された病院のことで、県内では県立中央病院や山梨大学医学部附属病院、市立甲府病院、富士吉田市立病院の4病院が指定されています。拠点病院間及び地域の医療機関の連携等により、県内のがん医療の均てん化(注)を促進しています。

(注) 医療の均てん化とは、地域によって受けられる医療の格差をなくすことを言います。

問16 あなたは、県内に「がん相談支援センター」(※)があることを知っていますか。
(1つ選択)

- ア 知っている
- イ 名前は聞いたことがある
- ウ 知らない

(※) がん相談支援センター

がん診療連携拠点病院内の相談機能を有する部門。国立がん研究センターによるがん相談の研修を修了した相談員が、院内及び地域住民や他の医療機関からの相談等に対応する体制が整備されています。

がん診療拠点病院内のがん相談支援センター

・山梨県立中央病院

所在地：甲府市富士見1丁目1-1

電話：055-253-7111（内線3912・1214）

・市立甲府病院

所在地：甲府市増坪町366

電話：055-244-1111（内線1182）

・山梨大学医学部附属病医院

所在地：中央市下河東1110

電話：055-273-9872

・富士吉田市立病院

所在地：富士吉田市上吉田6530

電話：0555-22-4111（内線3104）

・山梨厚生病院

所在地：山梨市落合860

電話：0553-23-1311（内線2012）

問17 あなたは、県内に「県がん患者サポートセンター」(※)があることを知っていますか。(1つ選択)

- ア 知っている
- イ 名前は聞いたことがある
- ウ 知らない

(※) 県がん患者サポートセンター

山梨県の委託により、日本対がん協会山梨県支部である山梨県健康管理事業団が設置・運営するがんの総合相談窓口です。

(所在地：甲府市宝1-4-16 電話：055-227-8740)

院内ではなく地域において、がん患者や家族が抱える悩みや不安に、医師や保健師・看護師、ピアサポーター(がん経験者)が相談に応じます。

問18 がんに関する相談支援において、あなたが充実させてほしいと思う内容は何か。(複数回答可)

- ア がんの早期発見やがん治療などに関する医療情報の提供
- イ セカンドオピニオン(※)の提供が可能な医師の紹介
- ウ がん治療を行う医療機関の紹介
- エ 病気や治療に関する相談
- オ 治療、療養に伴う経済的な相談
- カ 就労に関する相談
- キ 不安に関する相談
- ク ピアサポーター(がん経験者)による相談
- ケ 患者会の紹介
- コ その他(回答用紙に記入)

(※) セカンドオピニオン

より良い決断をするために、専門的な知識を持った第三者に意見を求めることを言います。

医療の場合は、患者が治療を受けるにあたって、主治医以外の医師に求めた意見、または意見を求める行為のことで、主治医にすべてを任せるといった従来の医師患者関係を脱して、複数の専門家の意見を聞くことで、より適した治療法を患者自身が選択していくべきという考え方に沿ったものです。

問19 あなたは、がん対策について、県にどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。(複数回答可)

- ア 正しい生活習慣の普及啓発
- イ たばこ対策の推進
- ウ 肝炎対策の推進
- エ がん検診受診率の向上
- オ 精密検査の受診促進
- カ がん検診の精度管理の向上
- キ 手術療法、放射線療法、化学療法の推進(※1)
- ク 医療連携体制の構築
- ケ 緩和ケアの推進
- コ がん研究の推進
- サ がん医療に関するがん相談支援・情報提供体制の整備
- シ がん登録(※2)の推進
- ス 小児がん、希少がんへの支援
- セ がんの教育の推進
- ソ がん患者の就労支援
- タ その他 (回答用紙に記入)

(※) 1 手術療法、放射線療法、化学療法の推進

がんに対する治療法としては、局所療法として行われる手術療法や放射線療法、全身治療として行われる薬物による化学療法があり、がんの病態に応じ、これらの各種療法を効果的に組み合わせた治療が求められています。これら専門性の高い手術療法、放射線療法、化学療法を受けられる体制の整備や治療を行うことのできる医師やその他の医療従事者の育成を進めていくことを言うものです。

(※) 2 がん登録

ある一定地域に居住する人口集団において発生したすべてのがん患者を把握し、その診断、治療に関する情報並びに予後情報を集め、保管、整理、解析を行うことにより、①罹患率 ②受療状況 ③生存率等を把握し、がん予防施策やがん医療に資するための資料を得ることを目的に行います。

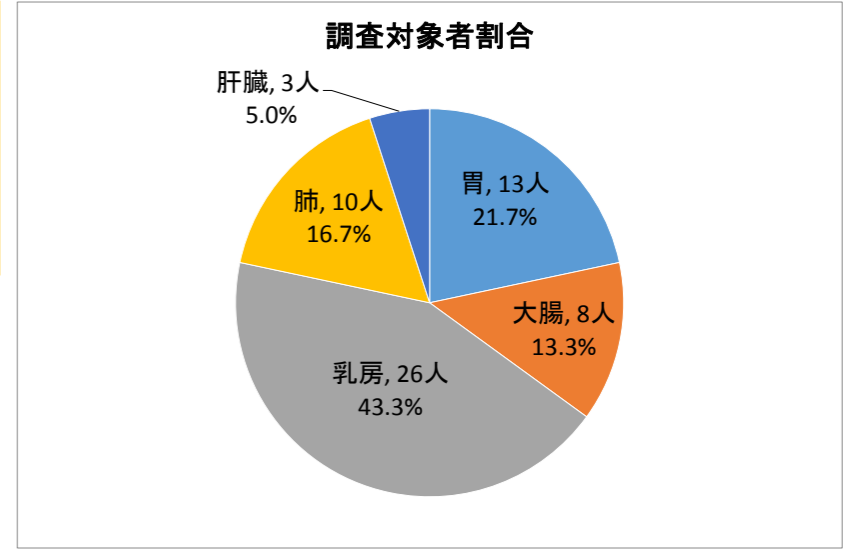
問20 その他、本県のがん対策に関してのご意見や、ご要望などがありましたらご記入ください。(自由記載)

(回答用紙にご記入ください)

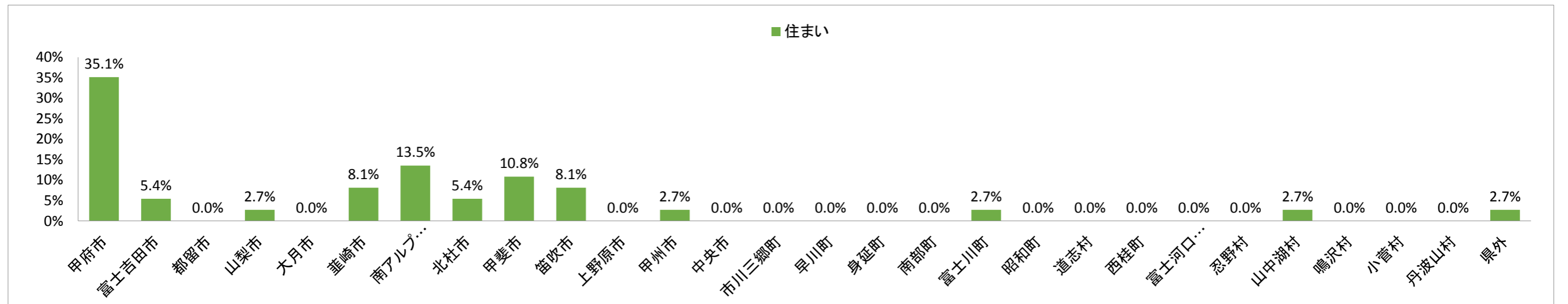
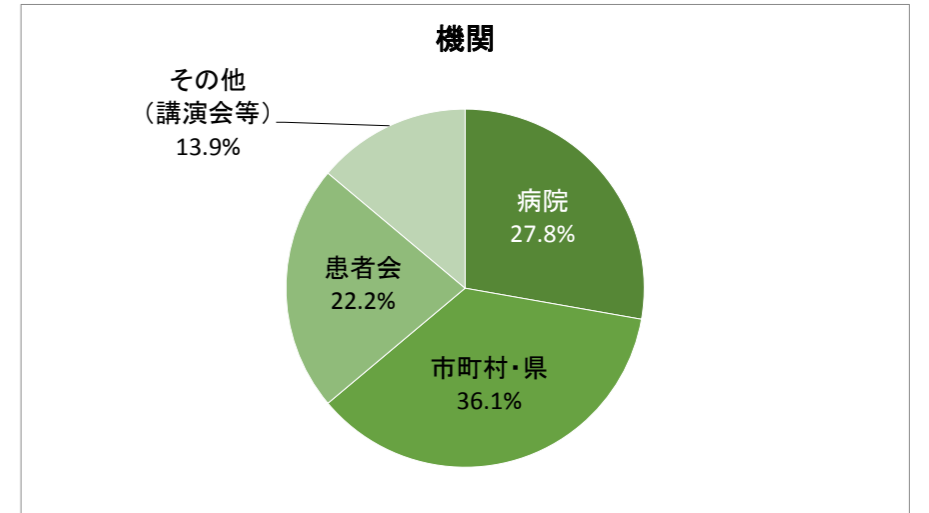
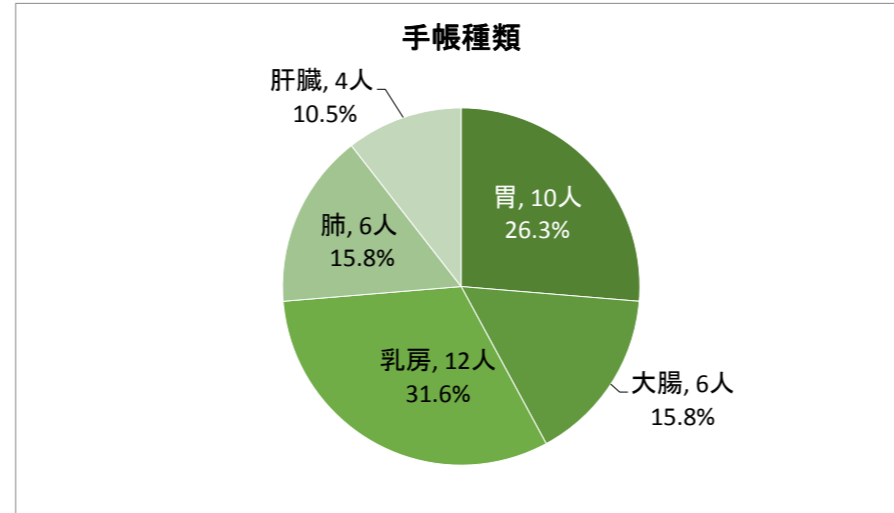
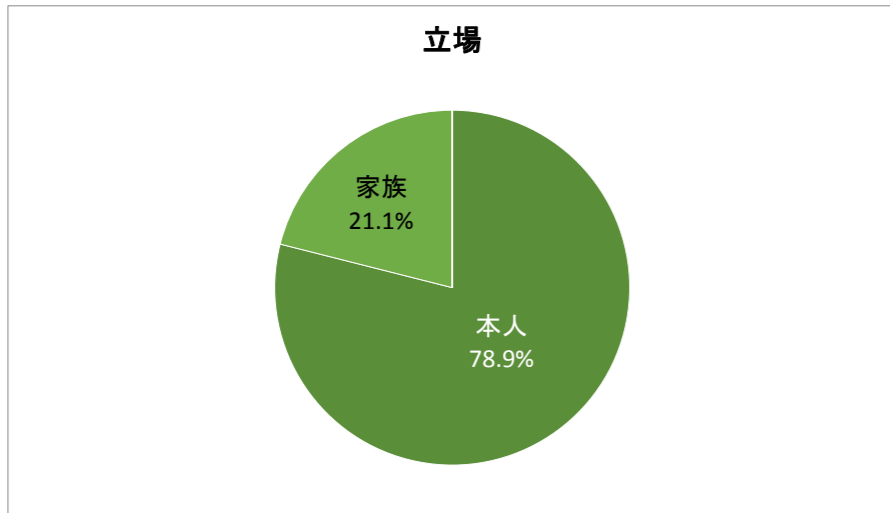
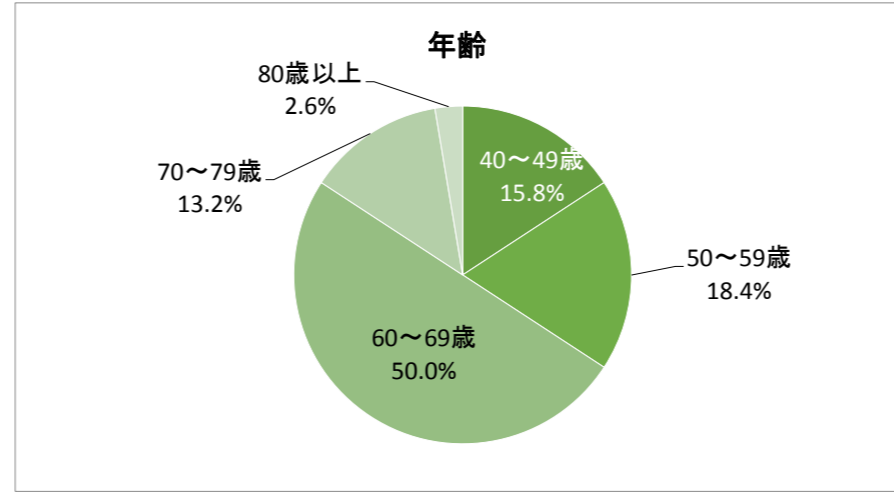
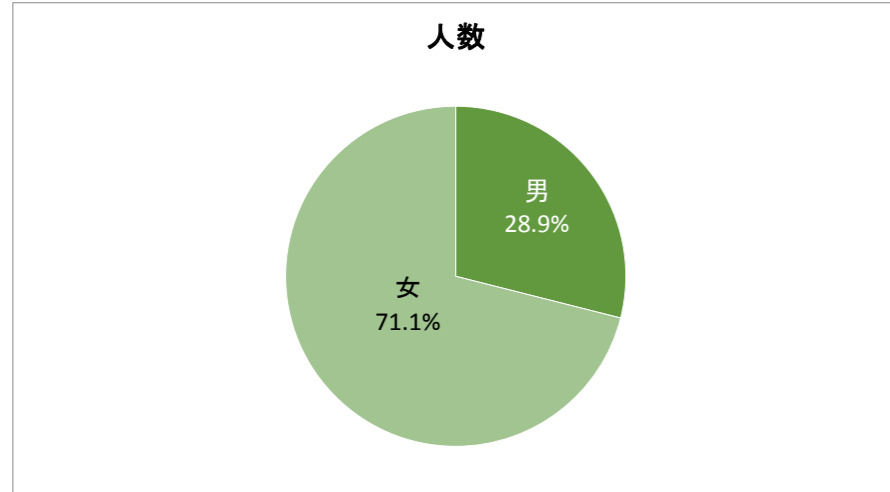
設問は以上です。
ご協力ありがとうございました。

<調査概要>

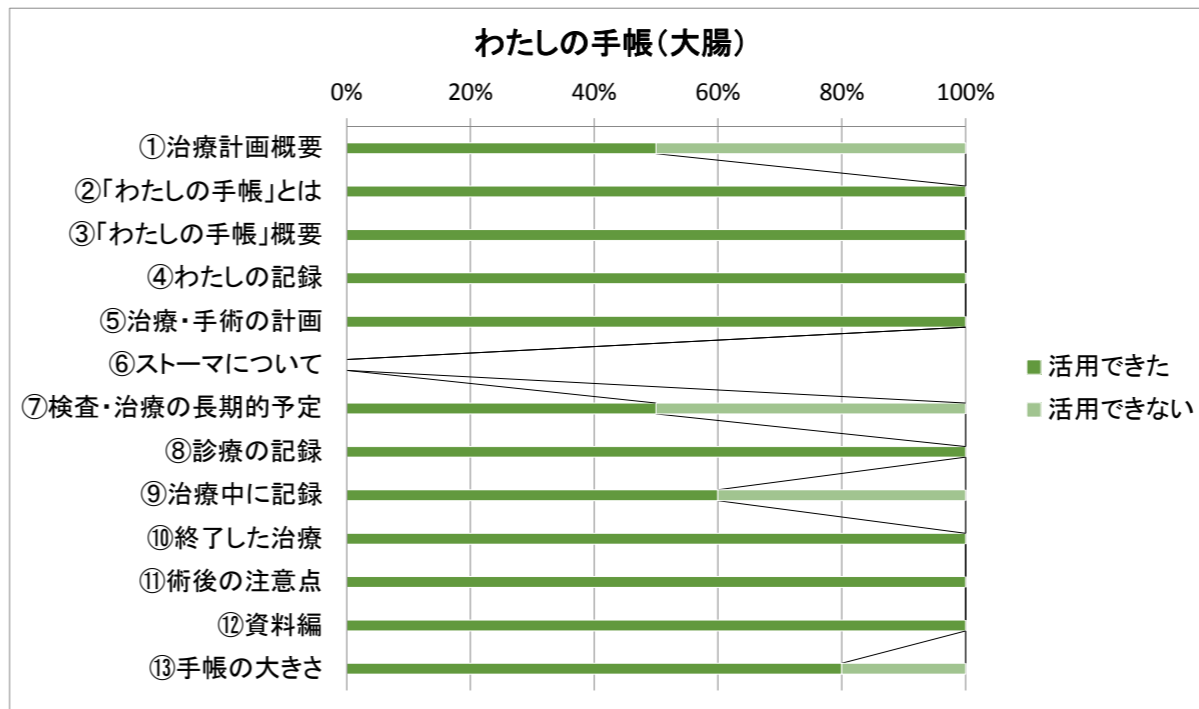
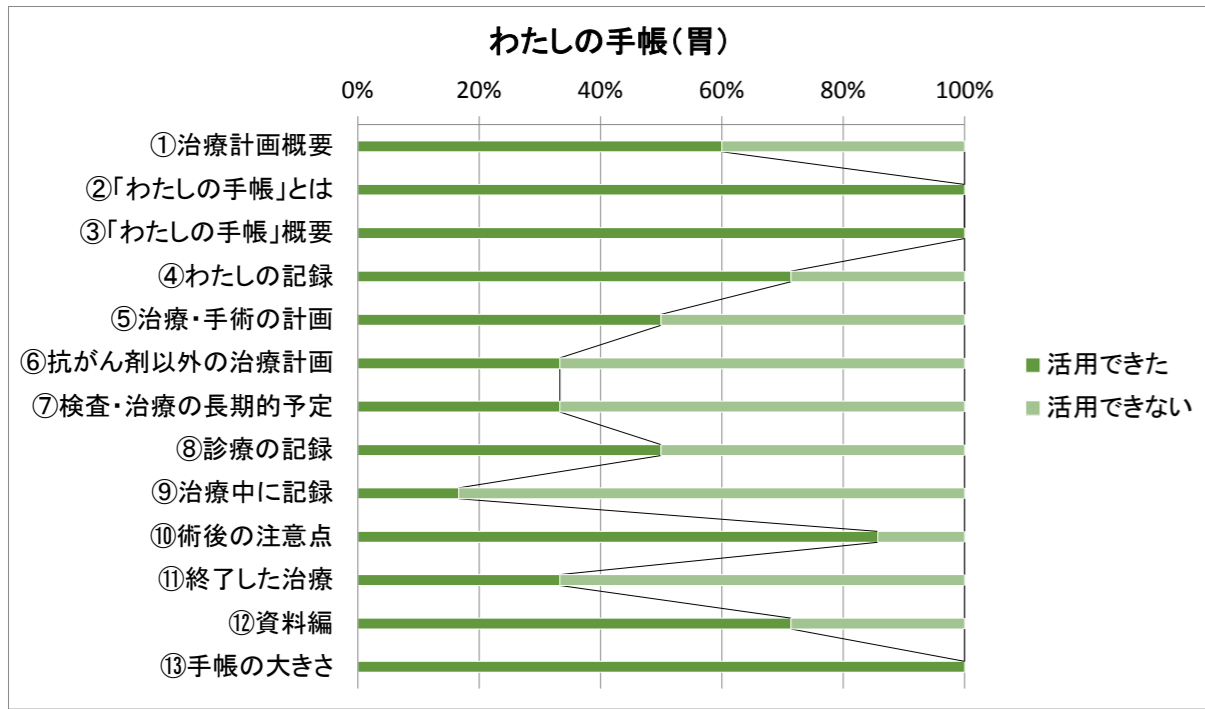
- 1 目的:平成27年度に作成した治療計画や治療の記録など情報を一冊に集約できる「わたしの手帳」が、がんと診断された患者さんの療養生活の質の向上をめざし活用できたかを調査し、今後の手帳の活用に活かす。
- 2 実施主体:山梨県
- 3 調査対象:「わたしの手帳利用状況調査同意書」にて同意をいただいた方60名
* H28年1月末現在の配付状況620冊 (胃:132人 大腸:119人 肺:107人 乳房:190人 肝臓:72人)
- 4 回答結果:回答者数 38人 回答率:63.3%



I あなた自身について



II 「わたしの手帳」の活用状況について



<自由記載>

○手帳の内容

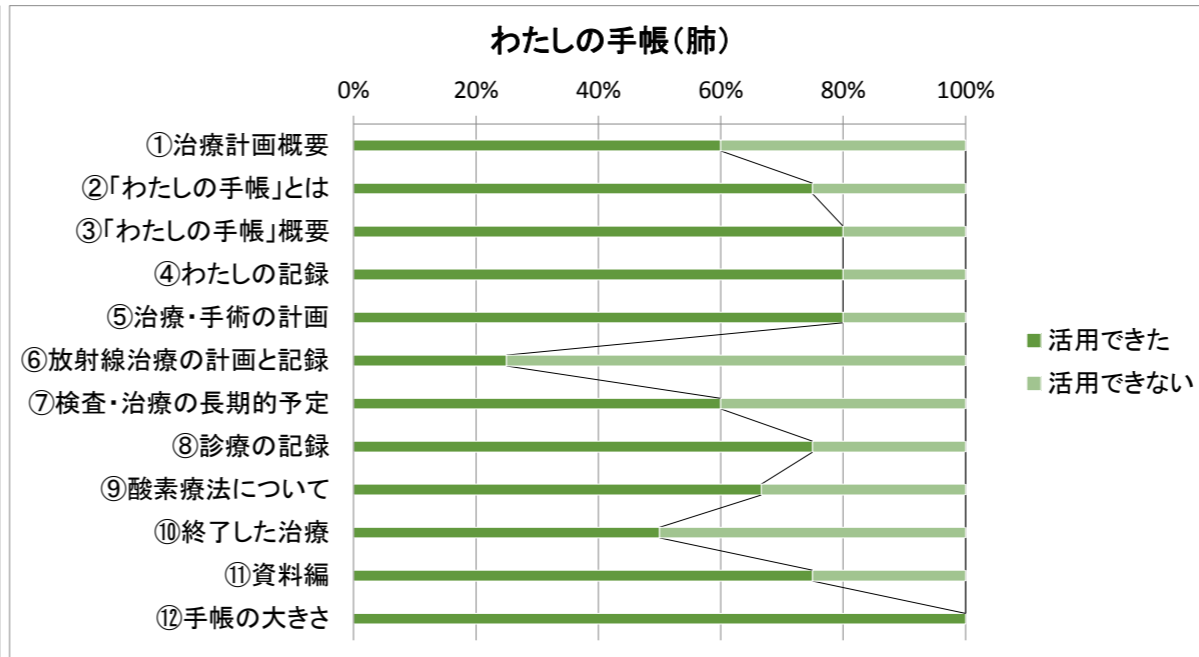
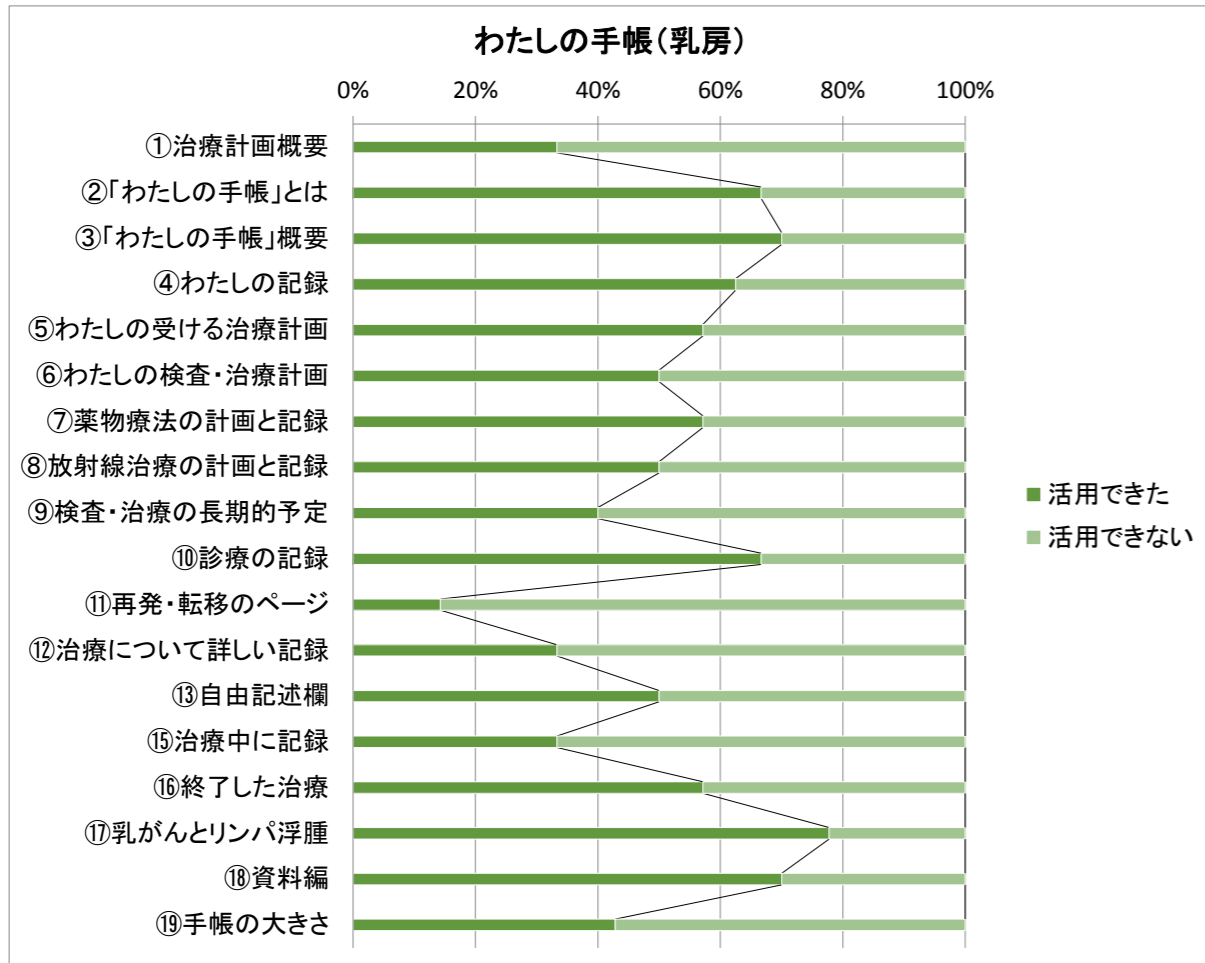
・手術が終わって数年がたっていたので、活用しなかった。
 ・治療中に手帳があったら、心の支えなつたと残念に思う。
 ・入院中一番活用したのはメモ帳の部分。自由に必要事項など気づいたこと、感想など書き留めていた。
 ・治療の記録はなかなか記入が追いつかないが、資料編は色々活用でき、不安になるといつも手帳をひろげていた。

○手帳の形状

・持ち運びには手帳の大きさが良いが、記入にはノートタイプ(B5)の方が記入しやすい。
 ・文字が小さい。
 ・記入欄が小さい。

○家族の立場から

・「ノートに記す」という1つの行為でも、積極的に病と向き合う気持ちのきっかけになると思いますので、すばらしいとくみ
 ・自ら記入するには厳しさを感じるが、家族が少しずつはじめ本人を巻き込んで活用し最終、自分の状態を知り受け入れていくといったスタイルがいい今も手元にいる。
 ・病気から死までの記録が細かく記されており、当時のことを記録として残せましたことは、大変良かった。



<まとめ>

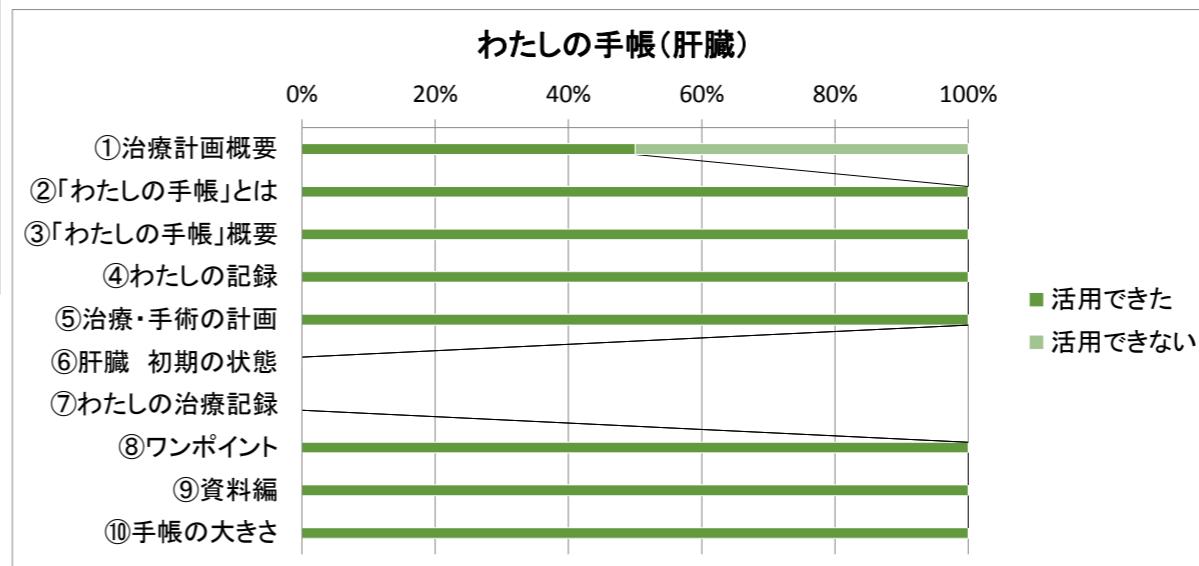
・「わたしの手帳」の目的、活用方法について
 → 9割の方が活用できたと回答

・「わたしの記録」について
 → 8割の方が活用できたと回答

・治療、手術、診療の計画、診療の記録について
 → 6割の方が活用できたと回答
 手帳の種別により回答に偏りはあるものの早期からの活用が有効と捉えていたことから、がん相談支援センター(がん診療拠点病院内)等と連携した活用の推進が必要と思われる。

・術後の注意点、資料編について
 → 9割の方が活用できたと回答

・手帳の大きさ
 → 8割の方が活用できたと回答
 携帯するには適切な大きさで、資料等も確認できるが、記入には、枠が小さく書きにくい



返信用調査用紙

がん患者療養生活手帳「わたしの手帳」利用状況調査について

○基本項目 あてはまるものを選んで○を付けてください。
(調査結果を集計するために必要ですので、必ずお答えください。)

最初に、あなたご自身のことについてお伺いします。

① あなたの性別は

- 1 男性 2 女性

② あなたの年齢は (平成28年4月1日現在)

- 1 20～29歳 2 30～39歳 3 40～49歳 4 50～59歳
5 60～69歳 6 70～79歳 7 80歳以上

③ あなたのお立場は

- 1 ご本人 2 ご家族 3 その他 ()

④ あなたのお住まいは (1つ選択)

- | | | | | |
|---------|-----------|---------|----------|--------|
| 1 甲府市 | 2 富士吉田市 | 3 都留市 | 4 山梨市 | 5 大月市 |
| 6 韮崎市 | 7 南アルプス市 | 8 北杜市 | 9 甲斐市 | 10 笛吹市 |
| 11 上野原市 | 12 甲州市 | 13 中央市 | 14 市川三郷町 | 15 早川町 |
| 16 身延町 | 17 南部町 | 18 富士川町 | 19 昭和町 | 20 道志村 |
| 21 西桂町 | 22 富士河口湖町 | 23 忍野村 | 24 山中湖村 | 25 鳴沢村 |
| 26 小菅村 | 27 丹波山村 | | | |

⑤ 利用された「わたしの手帳」の種別を教えてください (複数回答可)

- 1 胃 2 大腸 3 乳房 4 肺 5 肝臓

⑥ わたしの手帳を受け取った機関を教えてください

- 1 病院 2 市町村・県 3 患者会 4 その他 ()

「わたしの手帳」についておたずねします。

問 「わたしの手帳」の内容について、活用できましたか。
 利用された「わたしの手帳」の記載内容についてご回答ください。
 なお、複数利用された方は、複数ご回答ください。

次のページへ

ア わたしの手帳（胃） を活用された方 → 2ページへ
 イ わたしの手帳（大腸）を活用された方 → 3ページへ
 ウ わたしの手帳（肺） を活用された方 → 4ページへ
 エ わたしの手帳（乳房）を活用された方 → 5ページへ
 オ わたしの手帳（肝臓）を活用された方 → 6ページへ

ア わたしの手帳（胃）を利用された方にお伺いします。

①～⑬について、1～5の中で最も近いものを1つ選んで○を付けてください。

⑭については、自由記載にご意見をお書きください。

ア わたしの手帳（胃）の記載内容 について【手帳の内容順に列記】	十分活用 できた	活用 できた	どちらとも 言えない	活用 できな かった	全く活用 できな
① 治療計画概要	1	2	3	4	5
② 「わたしの手帳」とは	1	2	3	4	5
③ 「わたしの手帳」概要	1	2	3	4	5
④ わたしの記録	1	2	3	4	5
⑤ 治療・手術の計画	1	2	3	4	5
⑥ 抗がん剤以外の治療計画と記録	1	2	3	4	5
⑦ 検査・治療の長期的な予定・記録	1	2	3	4	5
⑧ 診療の記録	1	2	3	4	5
⑨ 治療中に記録しておきたいこと	1	2	3	4	5
⑩ 術後の注意点	1	2	3	4	5
⑪ 終了した治療	1	2	3	4	5
⑫ わたしの手帳資料編	1	2	3	4	5
⑬ 手帳の大きさ	1	2	3	4	5
⑭ 上記以外について、ご意見をお書きください	＜自由記載＞				

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

イ わたしの手帳（大腸）を利用された方にお伺いします。

①～⑬について、1～5の中で最も近いものを1つ選んで○を付けてください。

⑭については、自由記載にご意見をお書きください。

イ わたしの手帳（大腸）の記載内容 について【手帳の内容順に列記】	十分活用 できた	活用 できた	どちらとも 言えない	活用 できな かった	全く活用 できな かった
① 治療計画概要	1	2	3	4	5
② 「わたしの手帳」とは	1	2	3	4	5
③ 「わたしの手帳」概要	1	2	3	4	5
④ わたしの記録	1	2	3	4	5
⑤ 治療・手術の計画	1	2	3	4	5
⑥ ストーマについて	1	2	3	4	5
⑦ 検査・治療の長期的な予定	1	2	3	4	5
⑧ 診療の記録	1	2	3	4	5
⑨ 治療中に記録しておきたいこと	1	2	3	4	5
⑩ 終了した治療	1	2	3	4	5
⑪ 術後の注意点	1	2	3	4	5
⑫ わたしの手帳資料編	1	2	3	4	5
⑬ 手帳の大きさ	1	2	3	4	5
⑭ 上記以外について、ご意見をお書きください	＜自由記載＞				

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

ウ わたしの手帳（肺）を利用された方にお伺いします。

①～⑫について、1～5の中で最も近いものを1つ選んで○を付けてください。

⑬については、自由記載にご意見をお書きください。

ウ わたしの手帳（肺）の記載内容 について【手帳の内容順に列記】	十分活用 できた	活用 できた	どちらとも 言えない	活用 できな かった	全く活用 できな
① 治療計画概要	1	2	3	4	5
② 「わたしの手帳」とは	1	2	3	4	5
③ 「わたしの手帳」概要	1	2	3	4	5
④ わたしの記録	1	2	3	4	5
⑤ 治療・手術の計画	1	2	3	4	5
⑥ 放射線治療をする場合の計画と記録	1	2	3	4	5
⑦ 検査・治療の長期的な予定・記録	1	2	3	4	5
⑧ 診療の記録	1	2	3	4	5
⑨ 酸素療法について（資料）	1	2	3	4	5
⑩ 終了した治療	1	2	3	4	5
⑪ わたしの手帳資料編	1	2	3	4	5
⑫ 手帳の大きさ	1	2	3	4	5
⑬ 上記以外について、ご意見をお書きください	＜自由記載＞				

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

エ わたしの手帳（乳房）を利用された方にお伺いします。

①～⑱について、1～5の中で最も近いものを1つ選んで○を付けてください。

⑳については、自由記載にご意見をお書きください。

エ わたしの手帳（乳房）の記載内容 について【手帳の内容順に列記】	十分活用 できた	活用 できた	どちらとも 言えない	活用 できな かった	全く活用 できな
① 治療計画概要	1	2	3	4	5
② 「わたしの手帳」とは	1	2	3	4	5
③ 「わたしの手帳」概要	1	2	3	4	5
④ わたしの記録	1	2	3	4	5
⑤ わたしの受ける治療計画	1	2	3	4	5
⑥ わたしの検査・治療計画	1	2	3	4	5
⑦ 薬物療法の計画と記録	1	2	3	4	5
⑧ 放射線治療の計画と記録	1	2	3	4	5
⑨ 検査・治療の長期的な予定・記録	1	2	3	4	5
⑩ 診療の記録	1	2	3	4	5
⑪ 再発・転移が認められた時のページ	1	2	3	4	5
⑫ 治療について詳しい記録	1	2	3	4	5
⑬ 自由記述欄	1	2	3	4	5
⑭ 乳がんの治療の組み立て（参考資料）	1	2	3	4	5
⑮ 治療中に記録しておきたいこと	1	2	3	4	5
⑯ 終了した治療	1	2	3	4	5
⑰ 乳がんリンパ浮腫について （参考資料）	1	2	3	4	5
⑱ わたしの手帳資料編	1	2	3	4	5
⑲ 手帳の大きさ	1	2	3	4	5
⑳ 上記以外について、ご意見をお書きください	＜自由記載＞				

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

オ わたしの手帳（肝臓）を利用された方にお伺いします。

①～⑩について、1～5の中で最も近いものを1つ選んで○を付けてください。

⑪については、自由記載にご意見をお書きください。

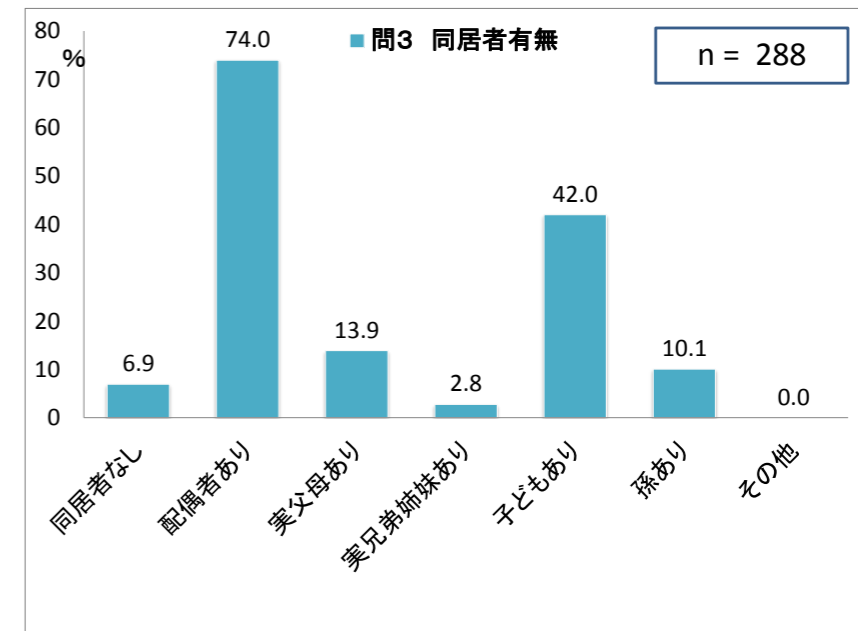
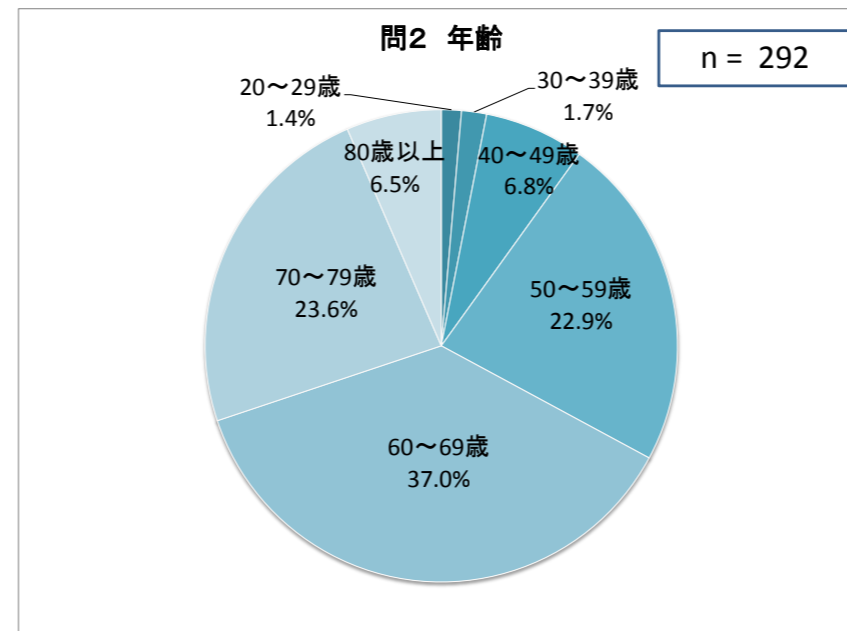
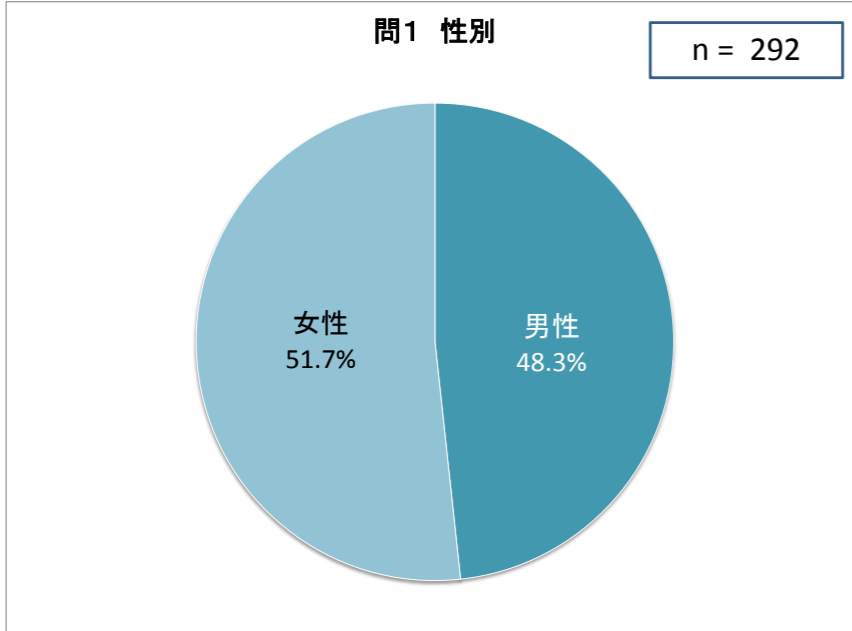
オ わたしの手帳（ <u>肝臓</u> ）の記載内容 について【手帳の内容順に列記】	十分活用 できた	活用 できた	どちらとも 言えない	活用 できな かった	全く活用 できな
① 治療計画概要	1	2	3	4	5
② 「わたしの手帳」とは	1	2	3	4	5
③ 「わたしの手帳」概要	1	2	3	4	5
④ わたしの記録	1	2	3	4	5
⑤ 治療・手術の計画	1	2	3	4	5
⑥ わたしの肝臓 初期の状態	1	2	3	4	5
⑦ わたしの治療記録	1	2	3	4	5
⑧ 治療・療養に関するワンポイント	1	2	3	4	5
⑨ わたしの手帳資料編	1	2	3	4	5
⑩ 手帳の大きさ	1	2	3	4	5
⑪ 上記以外について、ご意見をお書きください	＜自由記載＞				

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

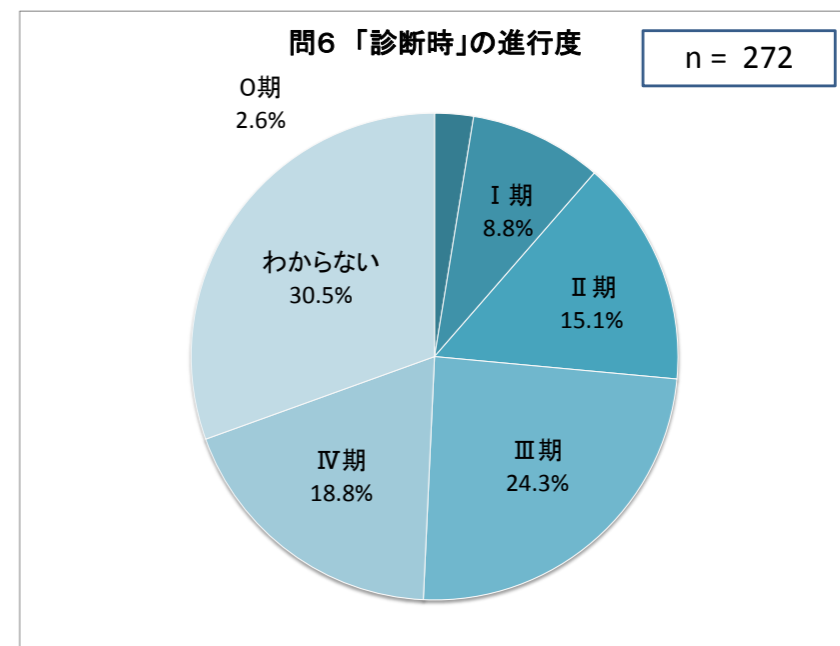
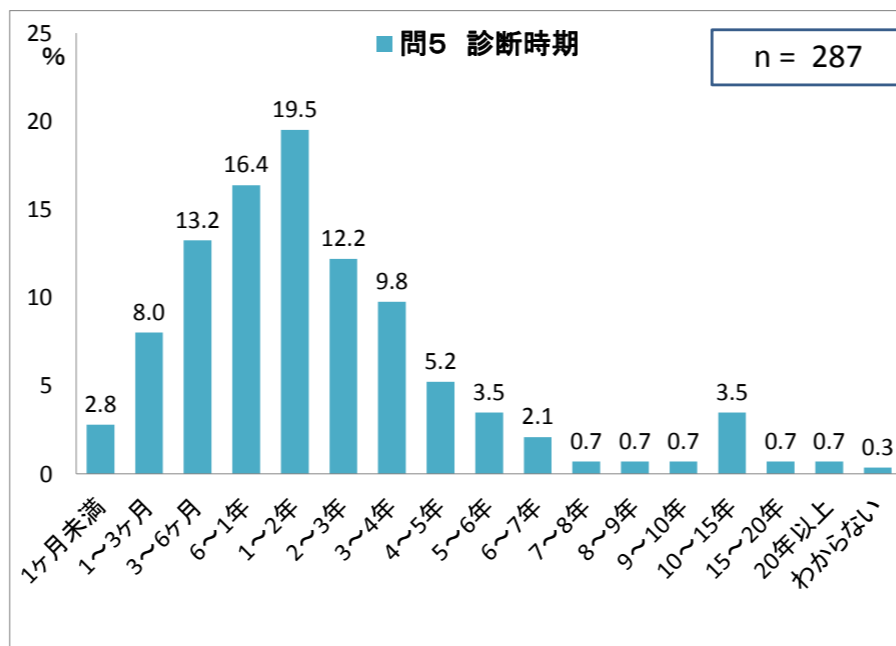
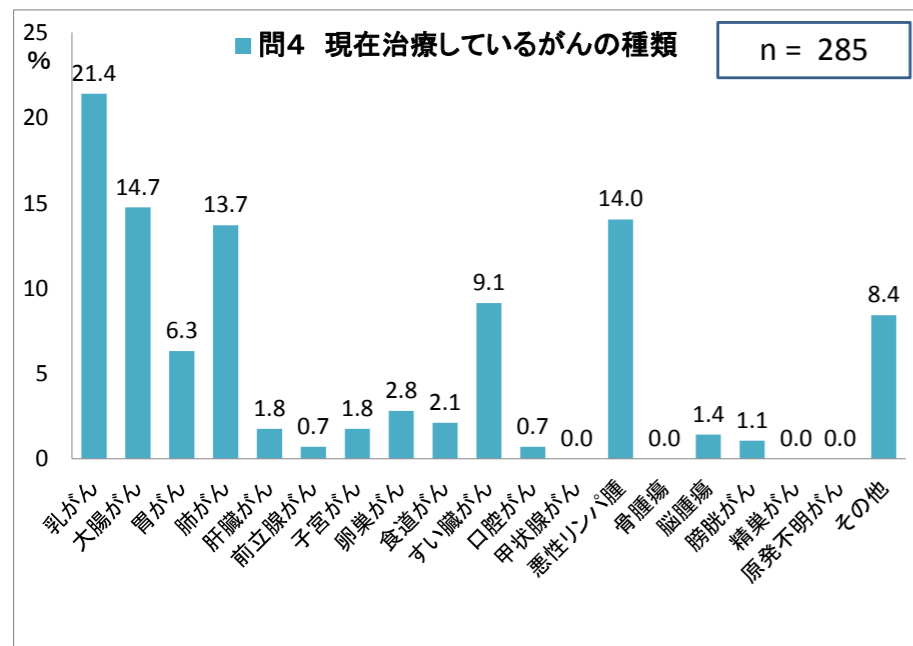
<調査概要>

- 1 目的:一人ひとりのがんの状態に応じた療養上の相談に対応するため、がん患者の就労や療養生活に対する実態から、課題や問題点を明らかにし、今後の相談支援に役立てるとともに「山梨県がん対策推進計画」の策定及び推進への基礎データとする。
- 2 実施主体:山梨県及び山梨県がん診療連携拠点病院連絡協議会相談支援部会
- 3 調査対象: **山梨県がん診療連携拠点病院通院治療室のがん患者（通院治療室のがん患者 約300人）**及び がん患者団体に属するがん経験者(約50人)
調査期間: **がん診療拠点病院通院治療室がん患者 平成28年8月下旬の2週間** がん患者団体に属するがん経験者平成28年8月
- 4 回答結果:回答者数 **山梨県がん診療連携拠点病院通院治療室のがん患者（通院治療室のがん患者292人）** がん患者団体に属するがん経験者28人

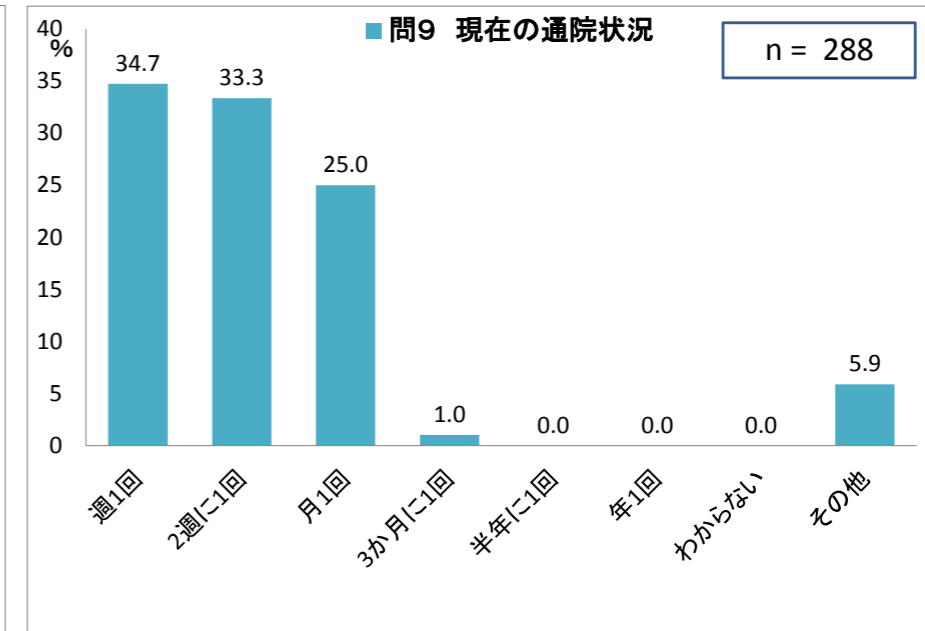
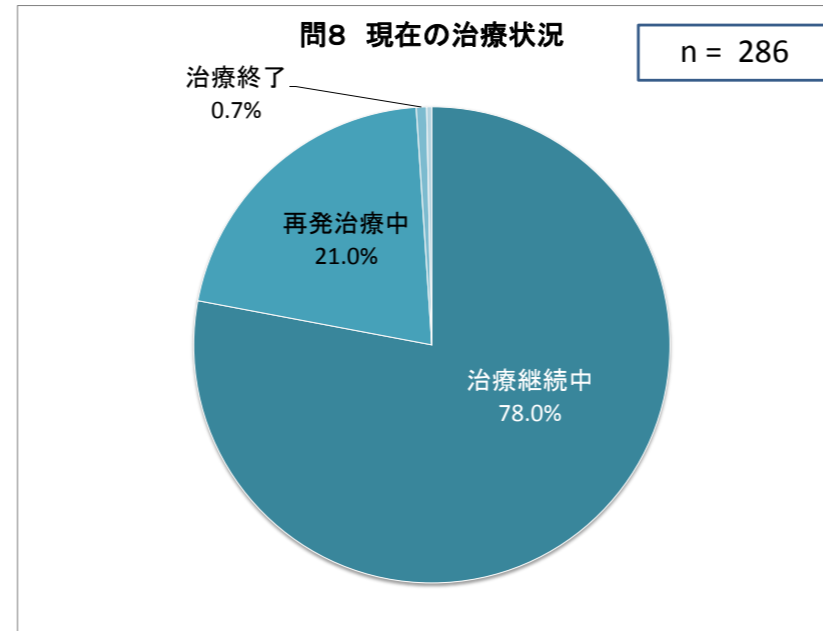
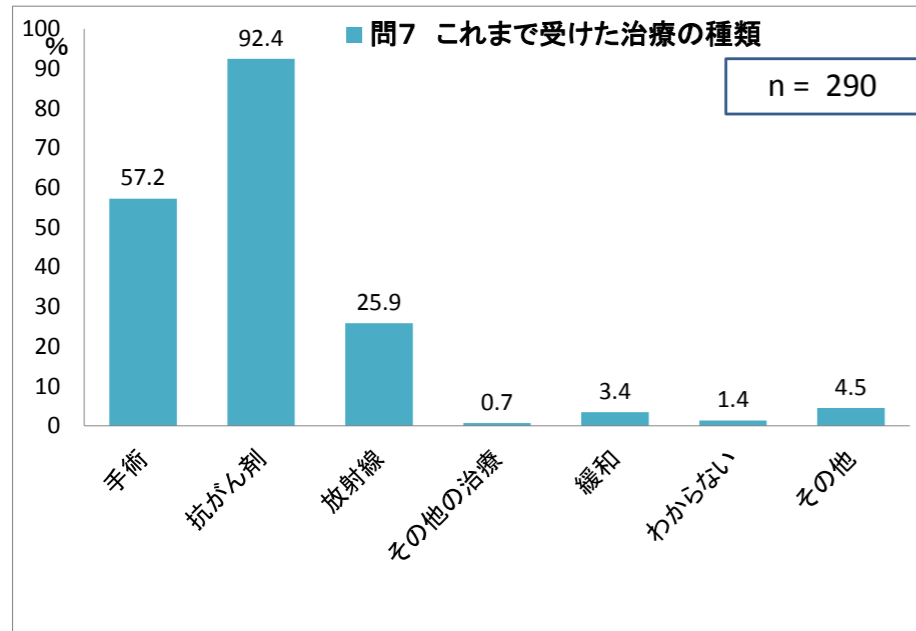
I あなた自身について



II 病気について

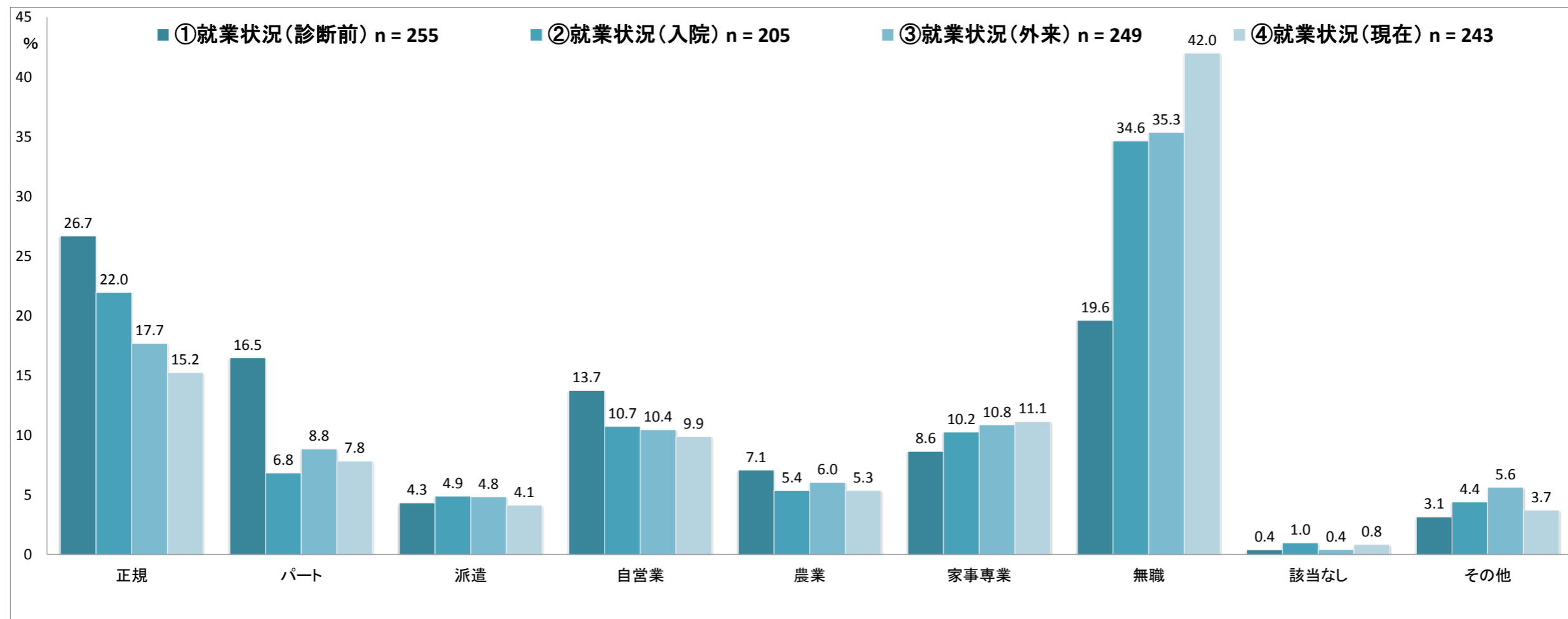


II 病気について

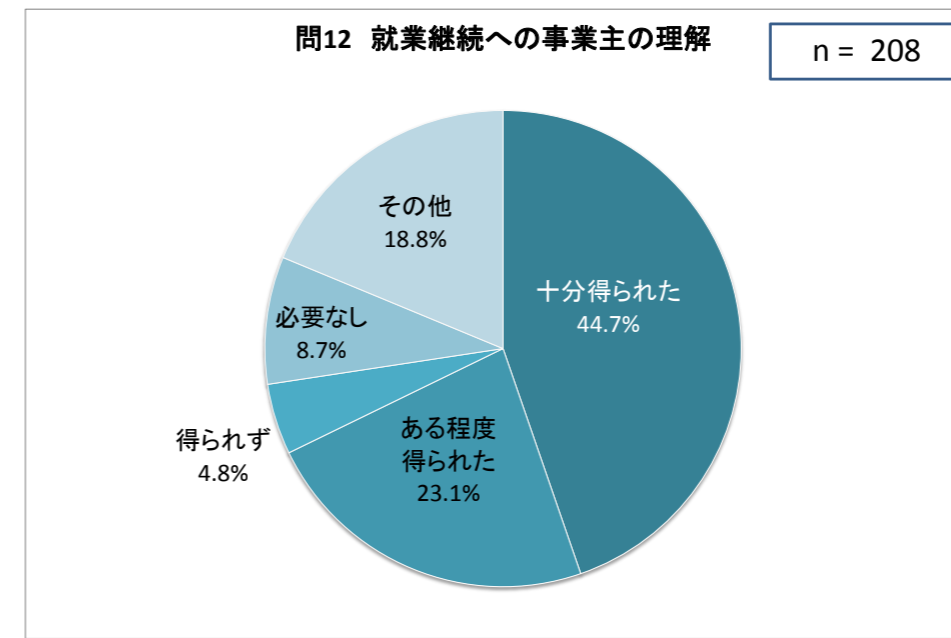
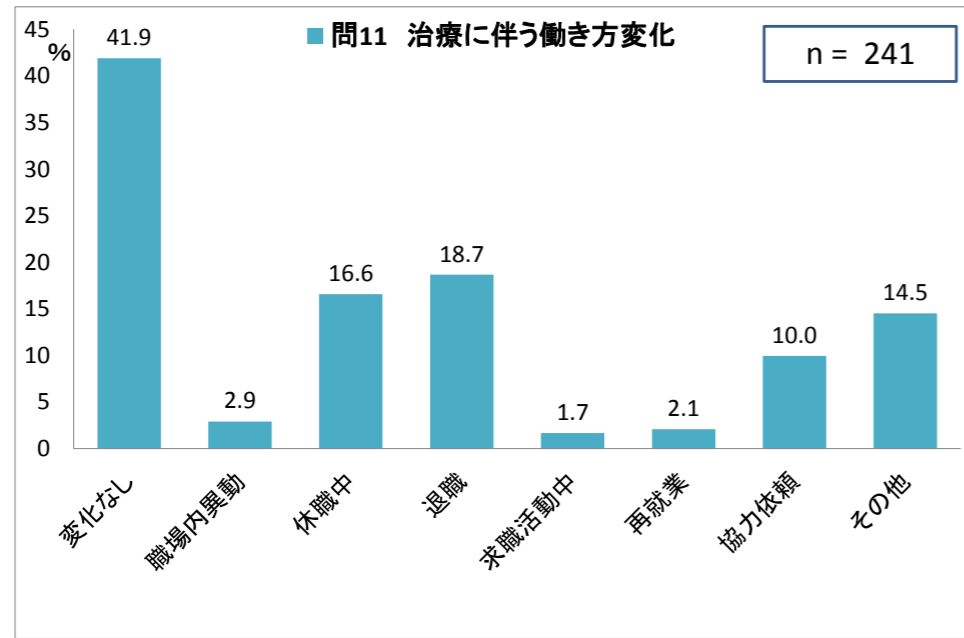


III 就業に関すること

問10 診断前、治療中(入院・外来化学療法中)、現在(今後)の就労状況

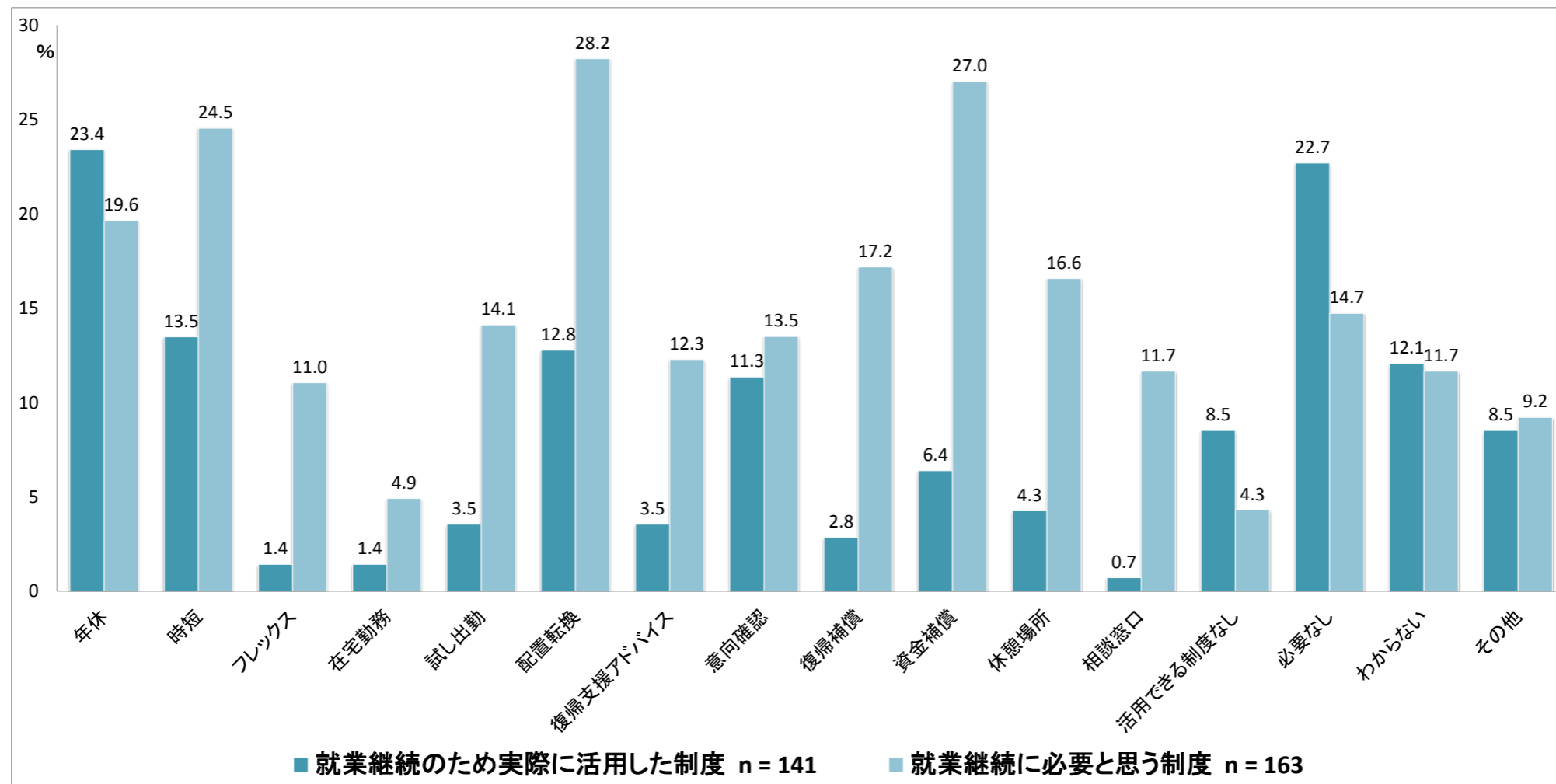


Ⅲ 就業に関すること

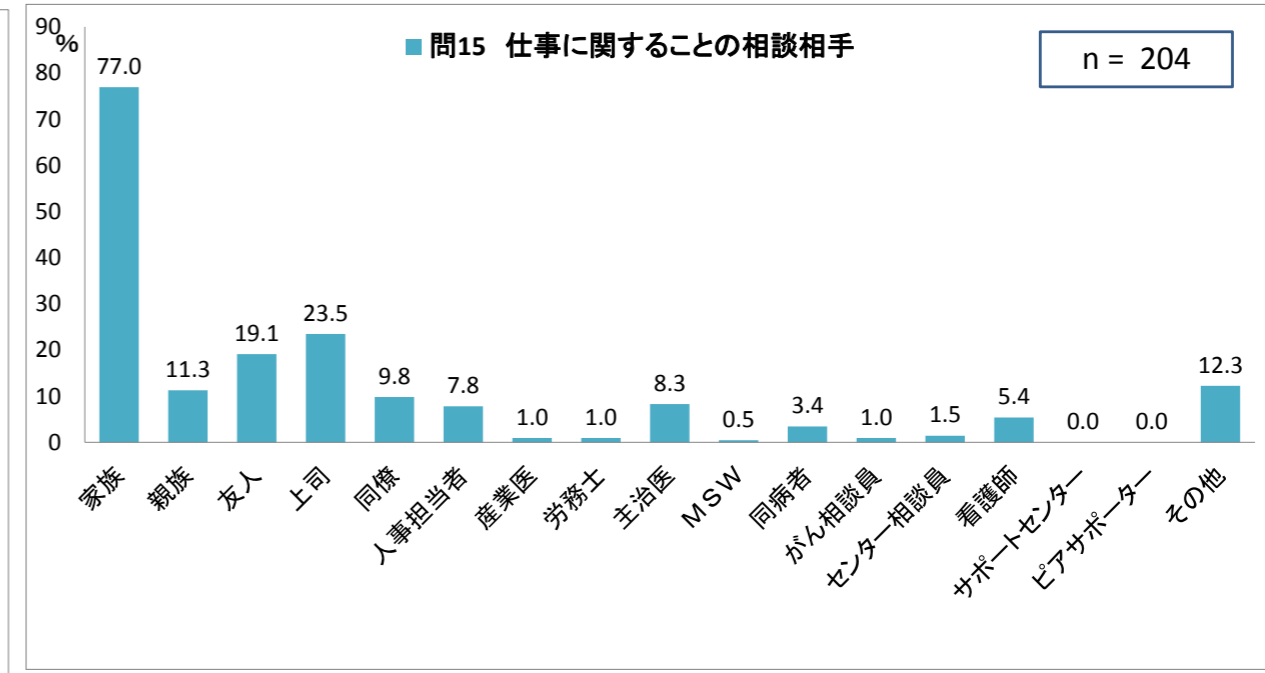
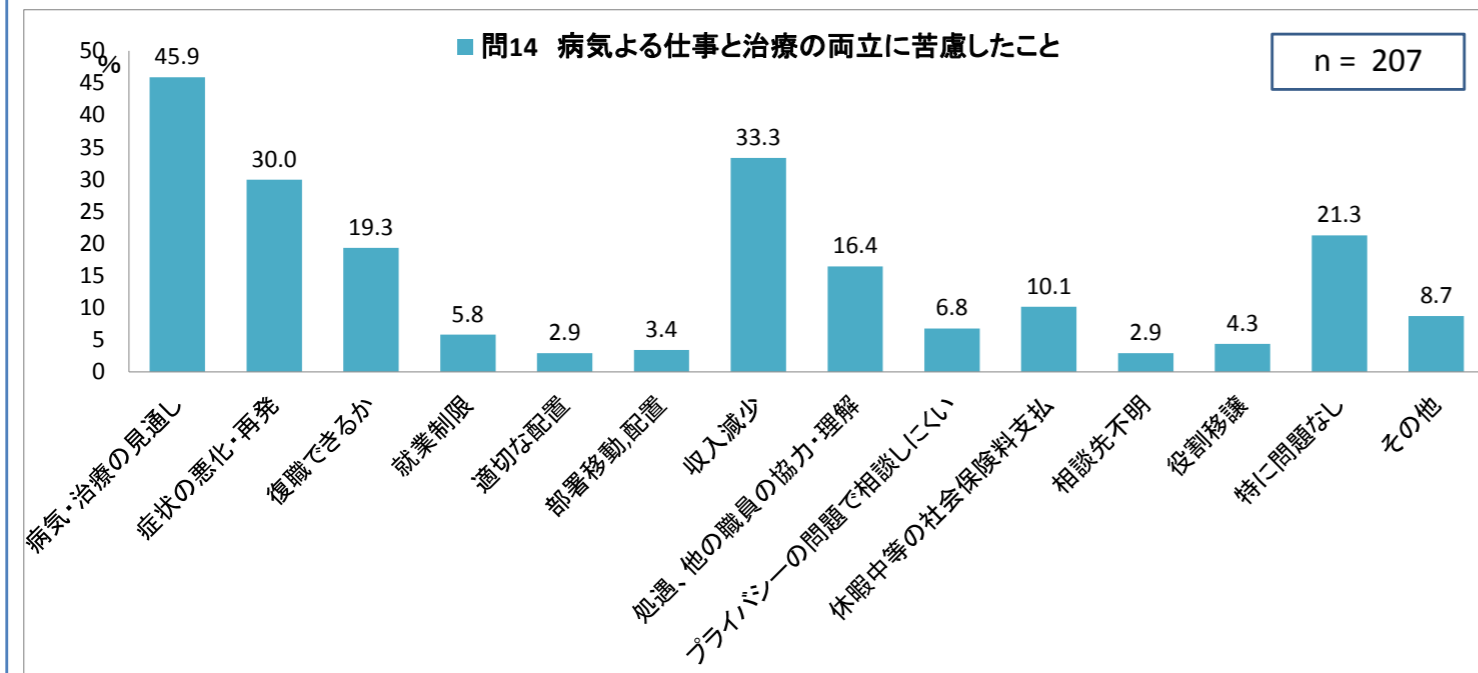


Ⅲ 就業に関すること

問 13 就業を継続するために活用した制度及び就業を継続するために必要と思う対応や制度について

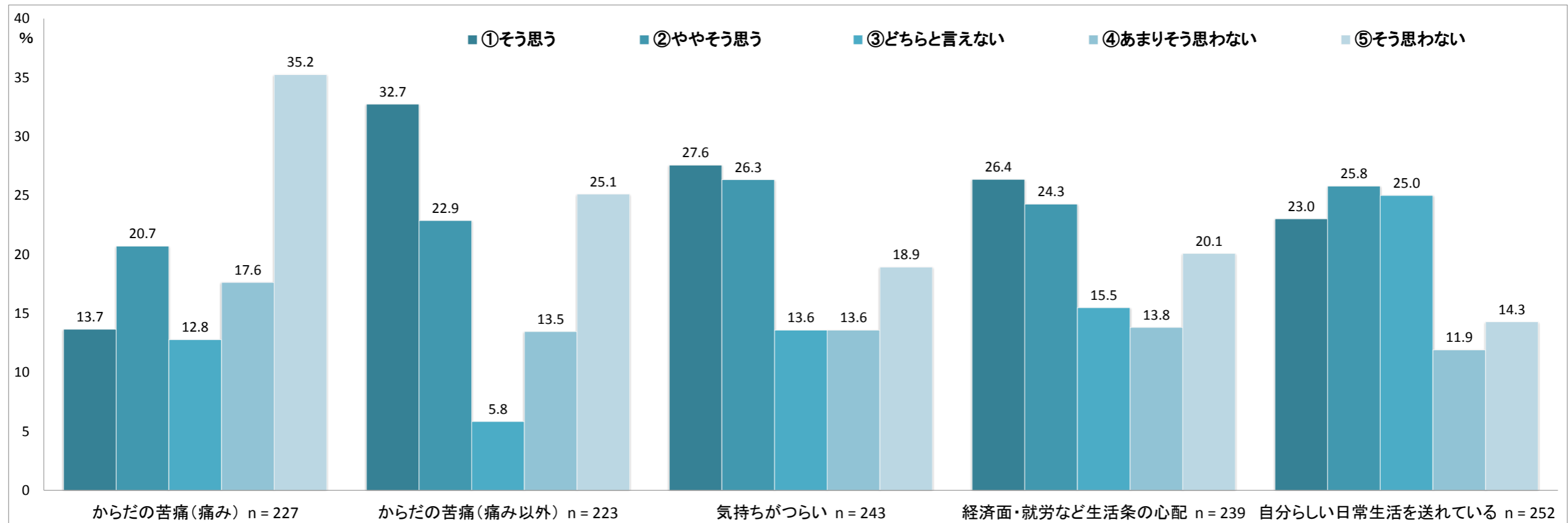


Ⅲ 就業に関すること

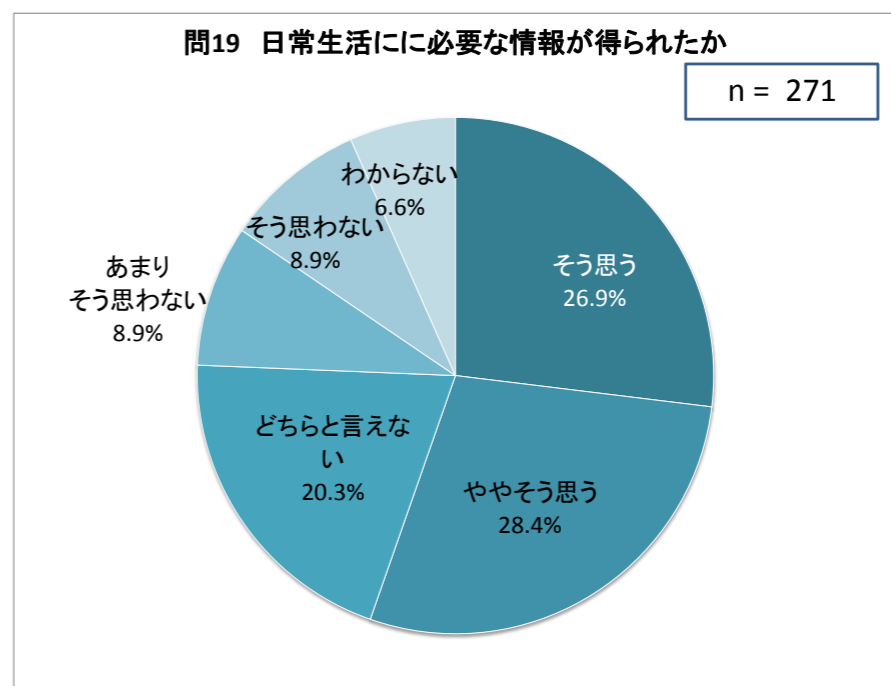
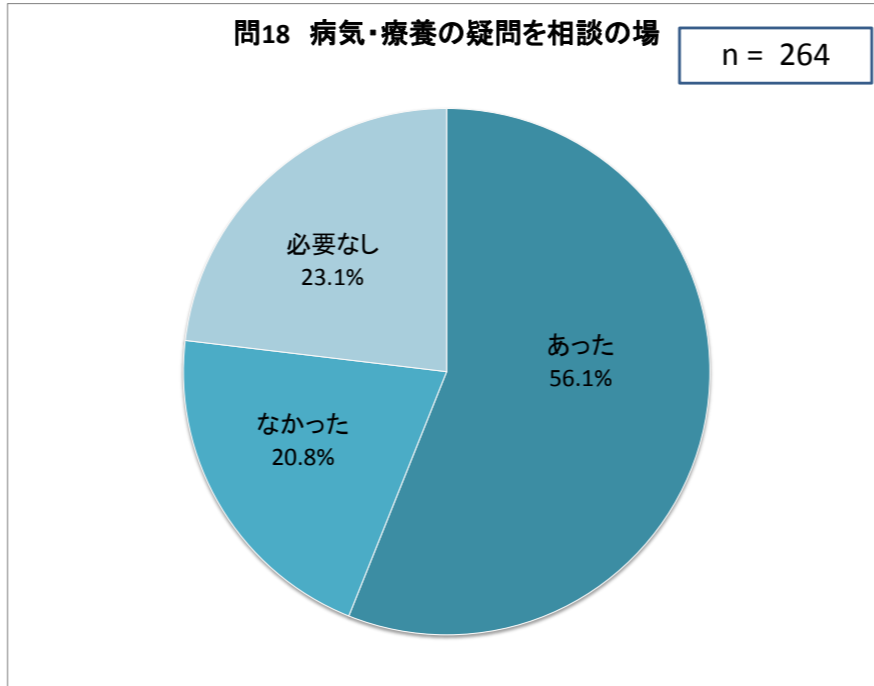
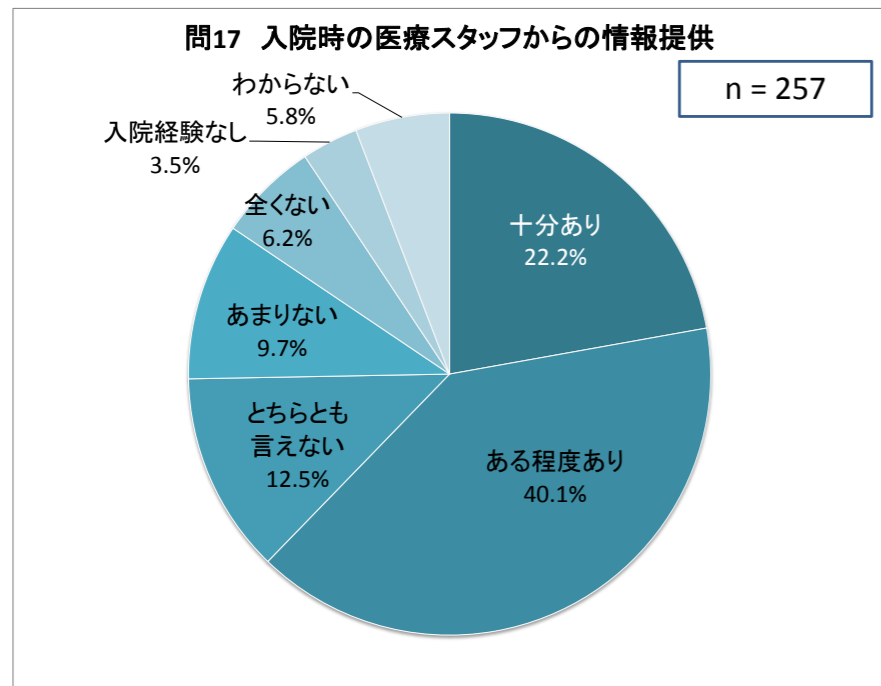


Ⅳ 相談支援・情報提供・要望等に関すること

問 16 現在の心身の状況についてどのように感じているか

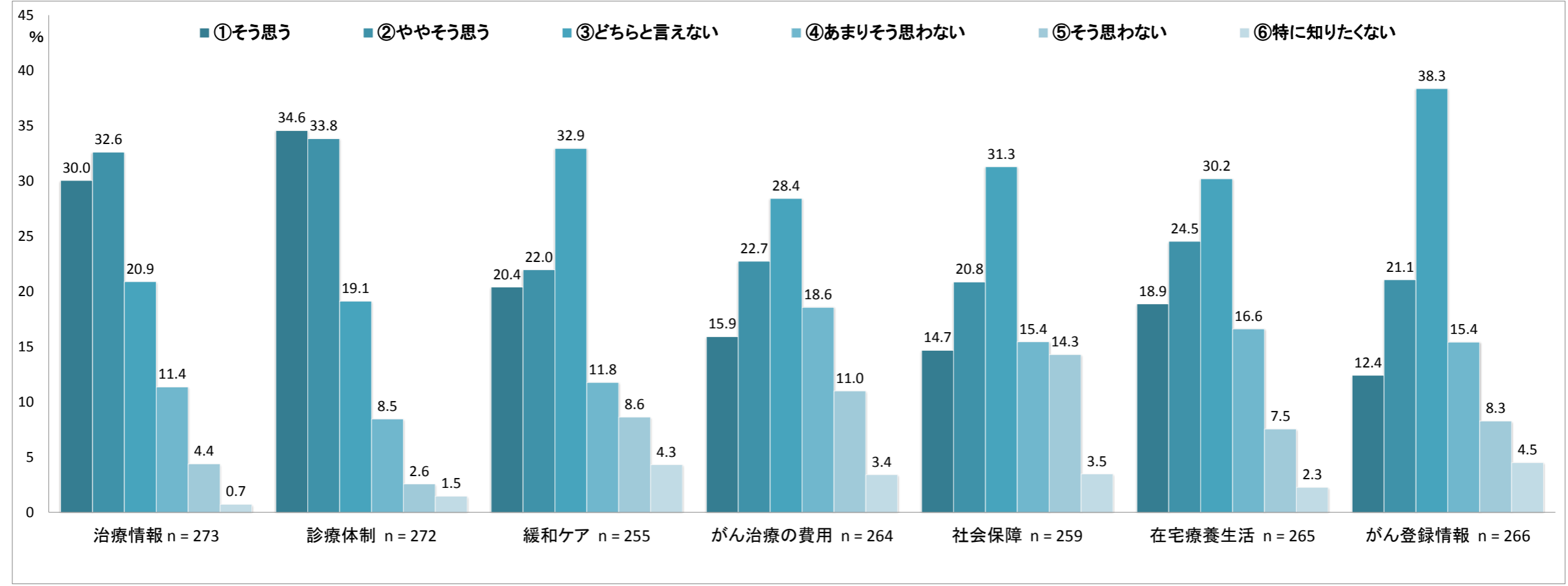


IV 相談支援・情報提供・要望等に関すること



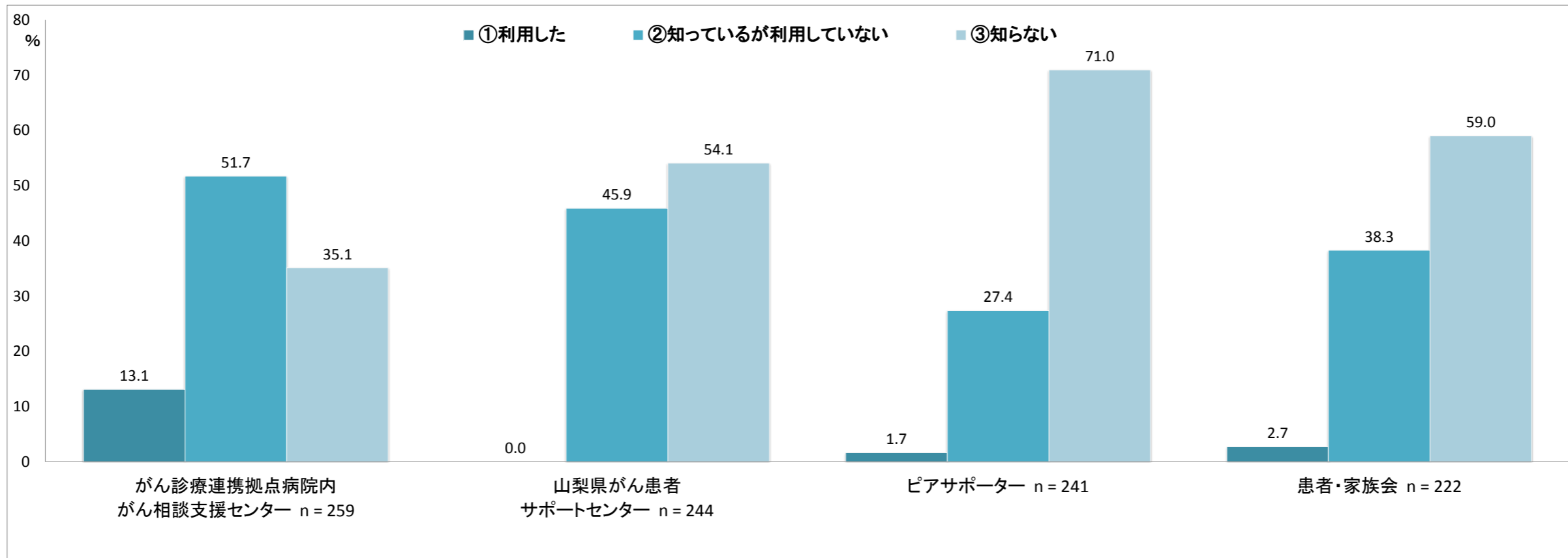
IV 相談支援・情報提供・要望等に関すること

問 20 がんに関する情報が十分提供されていると思うか

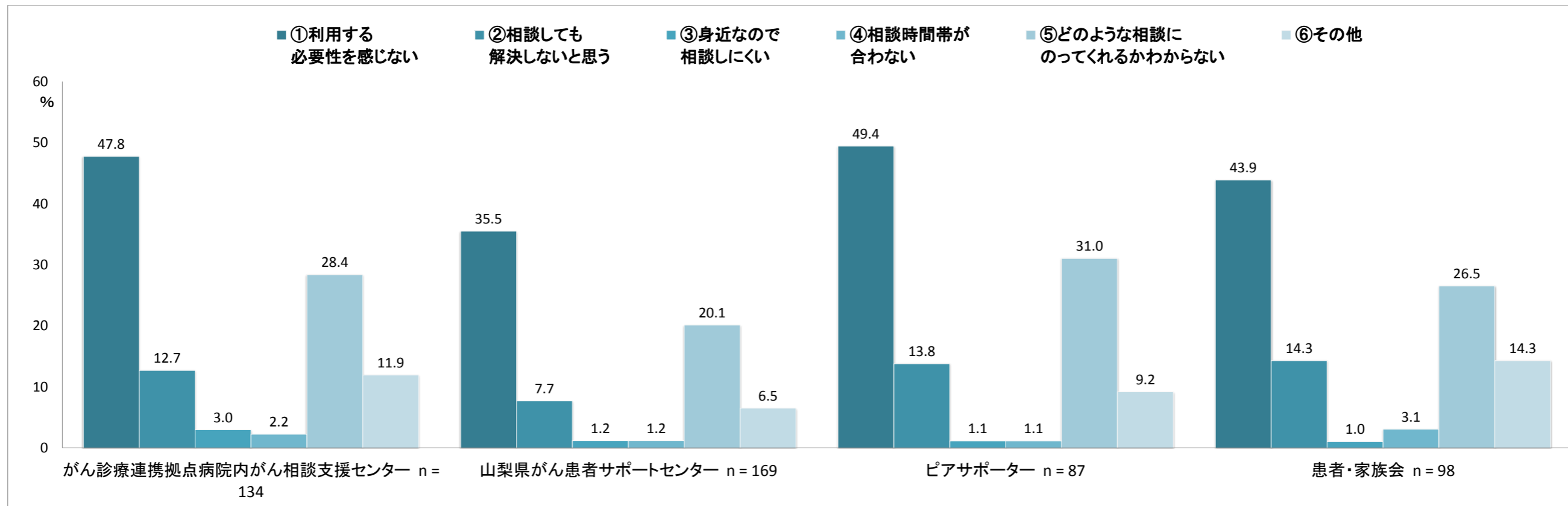


IV 相談支援・情報提供・要望等に関すること

問 21 相談機関の認知と利用状況

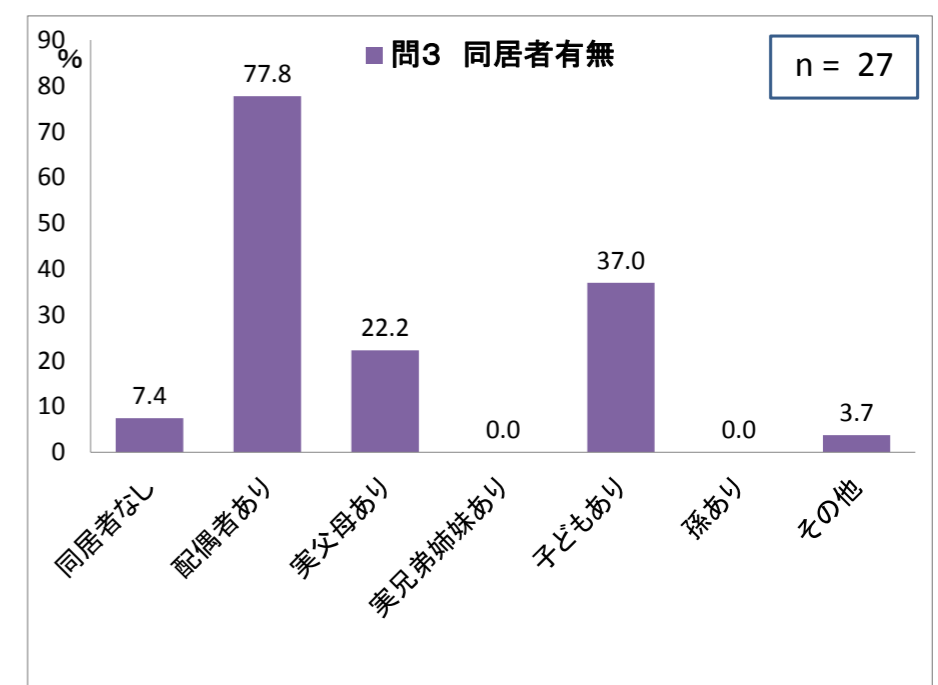
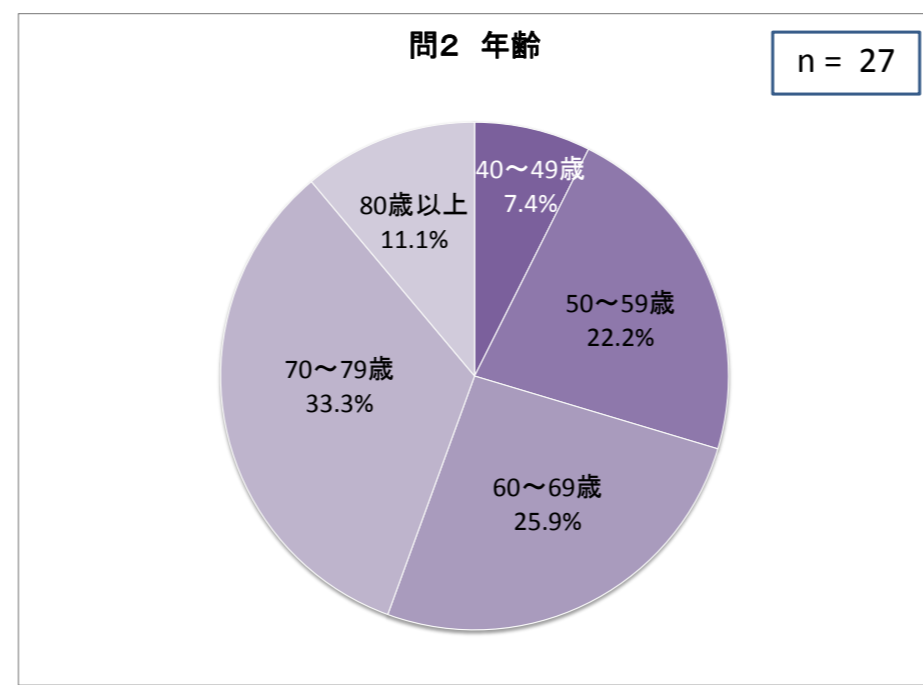
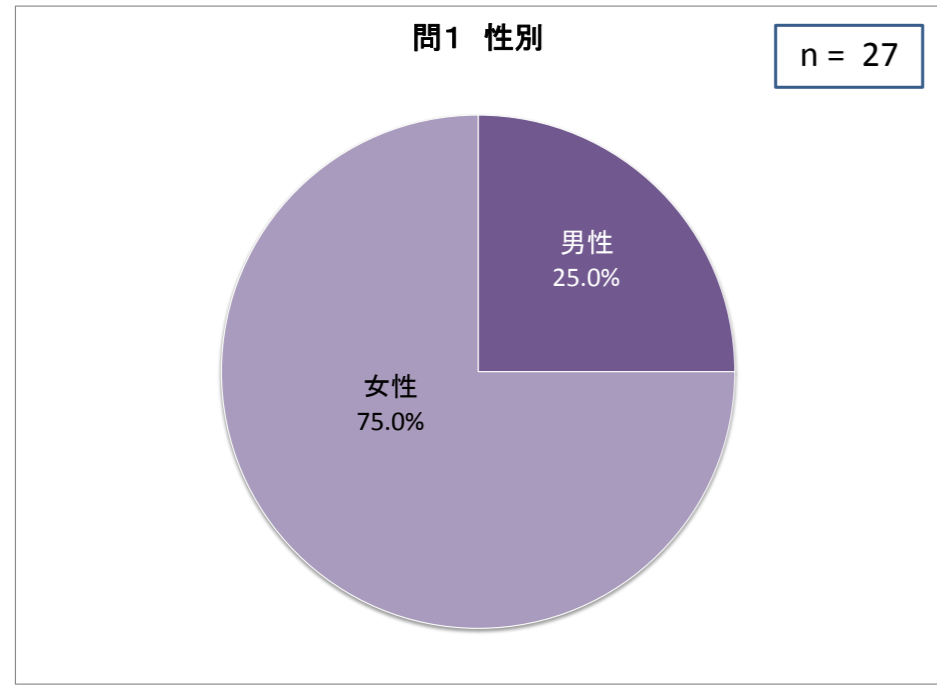


問 22 相談機関について「知っているが利用したことがない」と回答した方の利用しない理由

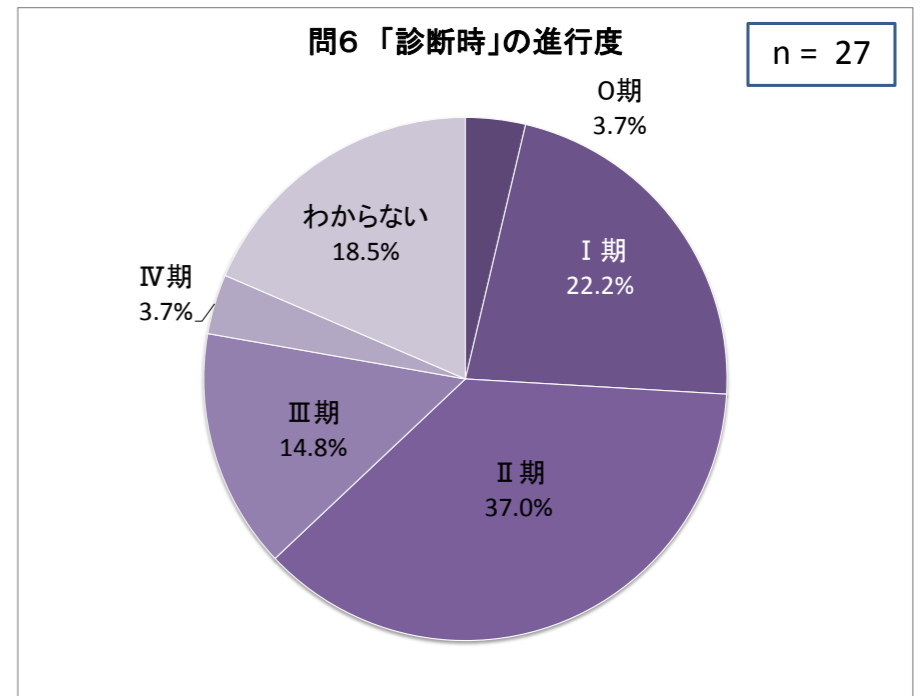
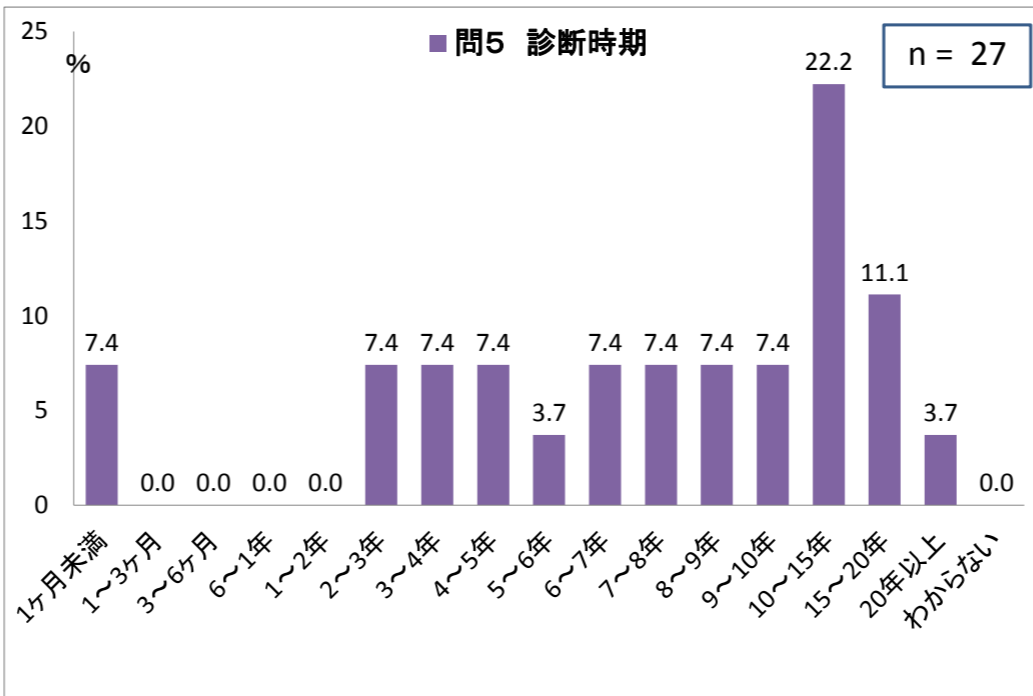
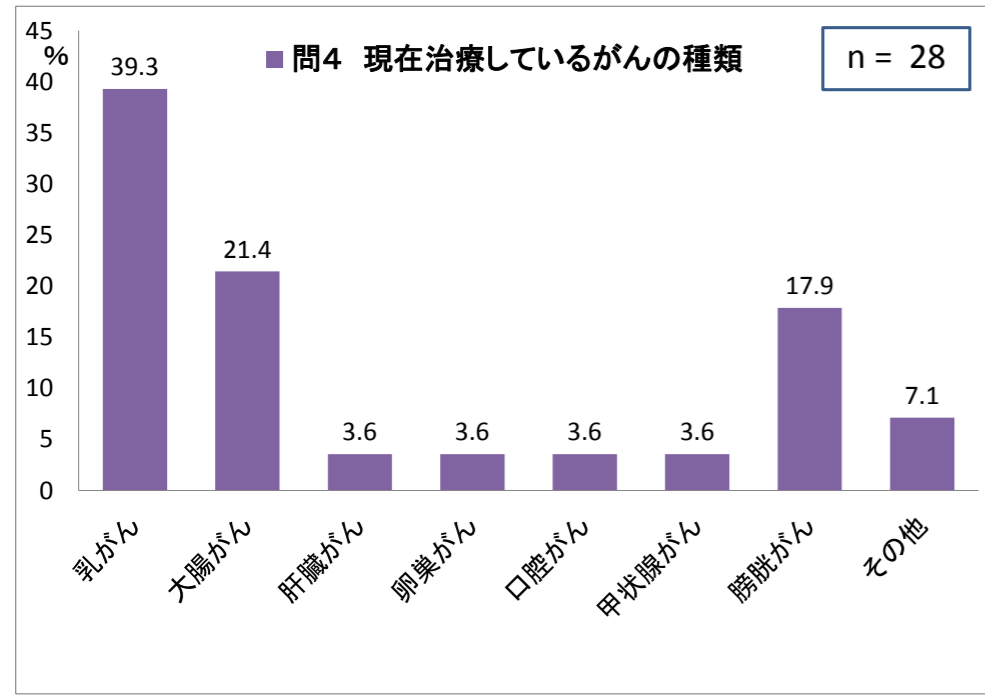


- <調査概要>
- 1 目的:一人ひとりのがんの状態に応じた療養上の相談に対応するため、がん患者の就労や療養生活に対する実態から、課題や問題点を明らかにし、今後の相談支援に役立てるとともに「山梨県がん対策推進計画」の策定及び推進への基礎データとする。
 - 2 実施主体:山梨県及び山梨県がん診療連携拠点病院連絡協議会相談支援部会
 - 3 調査対象:山梨県がん診療連携拠点病院通院治療室のがん患者（通院治療室のがん患者 約300人）及び がん患者団体に属するがん経験者(約50人)
調査期間:がん診療拠点病院通院治療室がん患者 平成28年8月下旬の2週間及び がん患者団体に属するがん経験者平成28年8月
 - 4 回答結果:回答者数 山梨県がん診療連携拠点病院通院治療室のがん患者（通院治療室のがん患者292人 がん患者団体に属するがん経験者28人

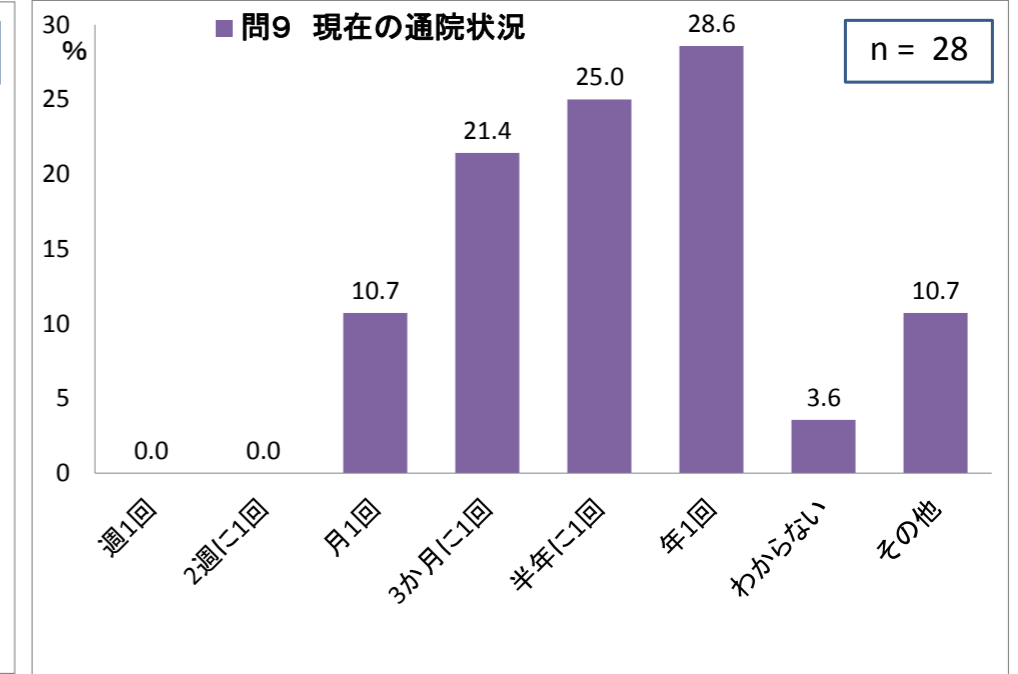
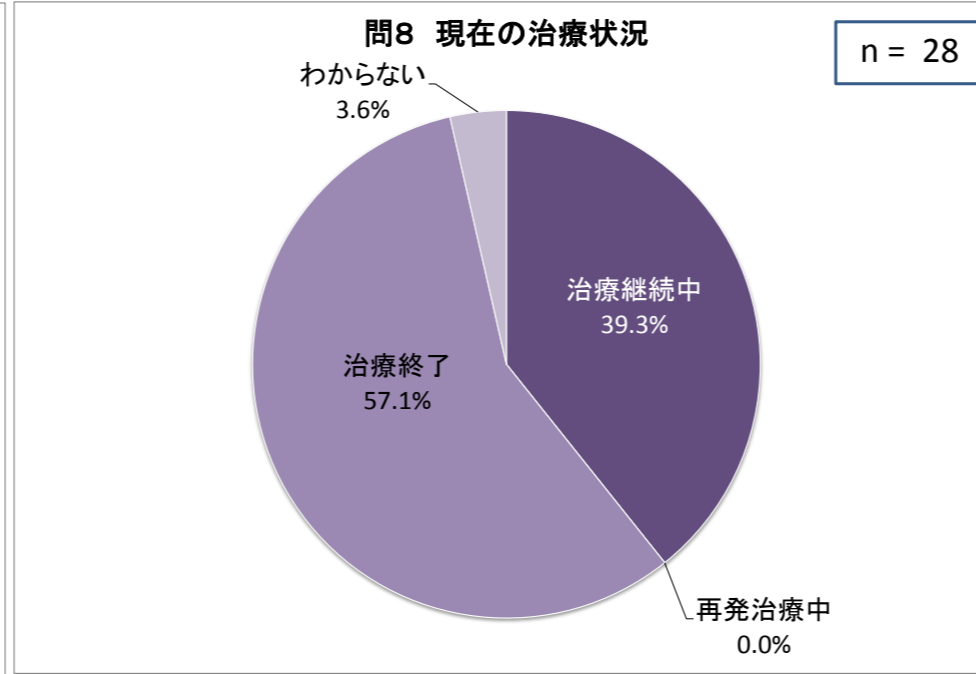
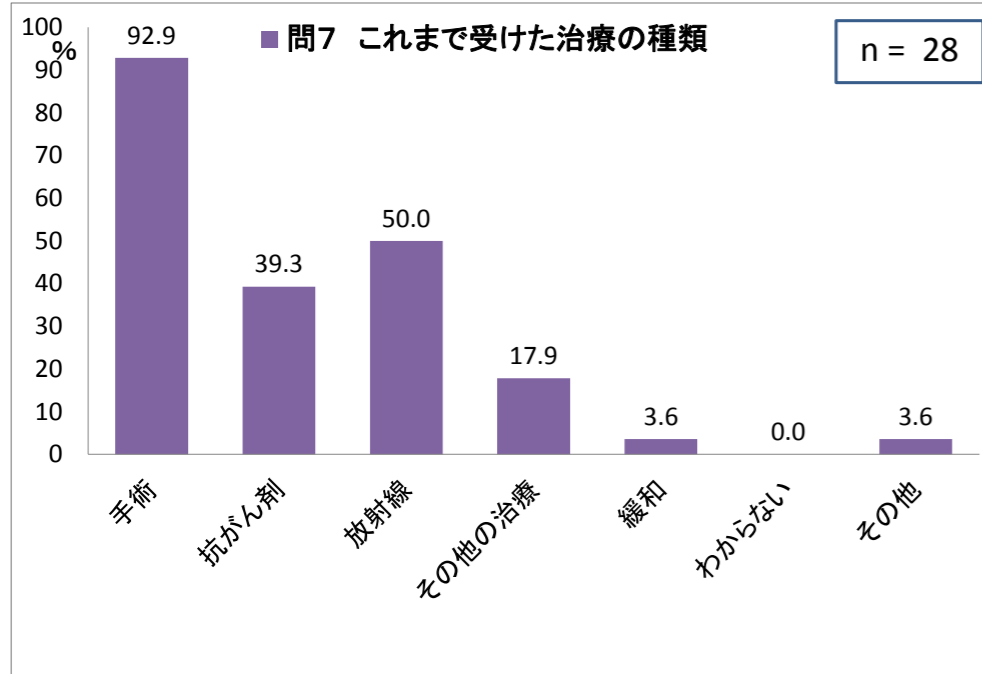
I あなた自身について



II 病気について

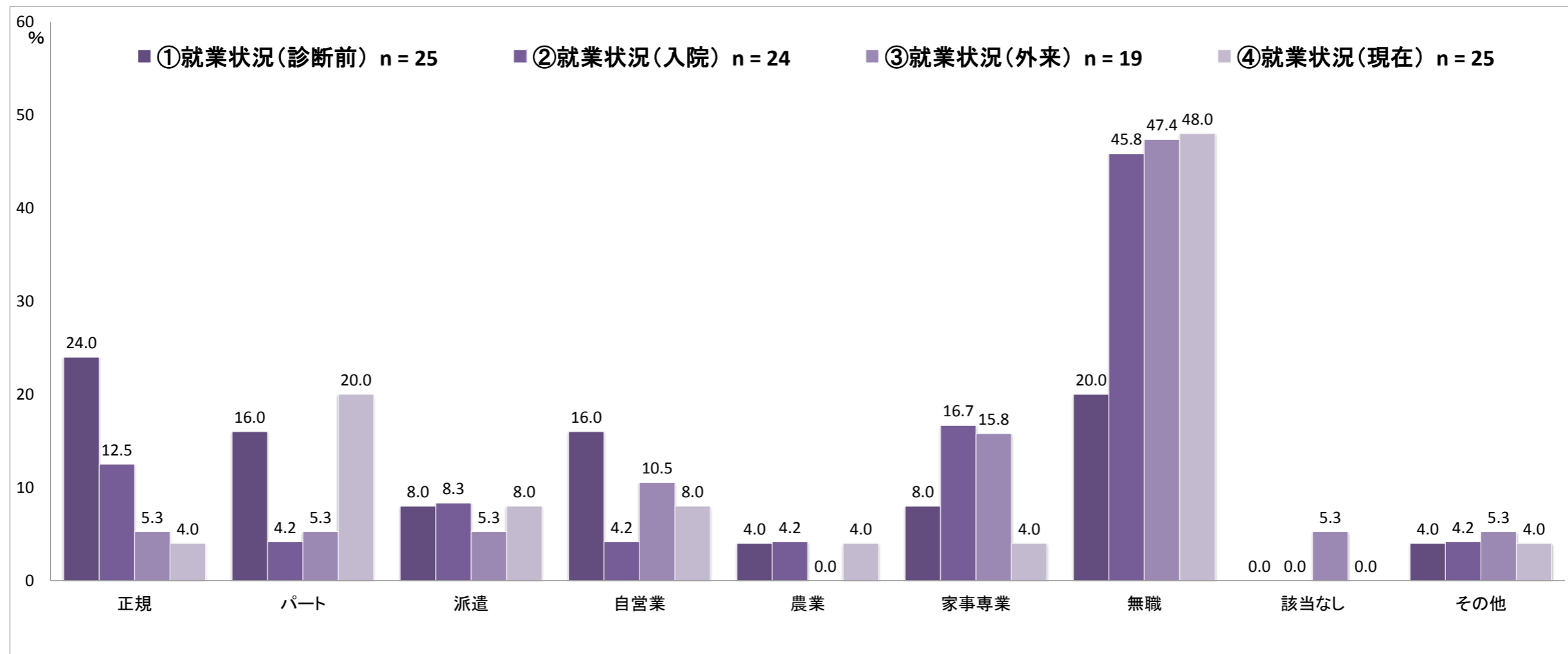


II 病気について

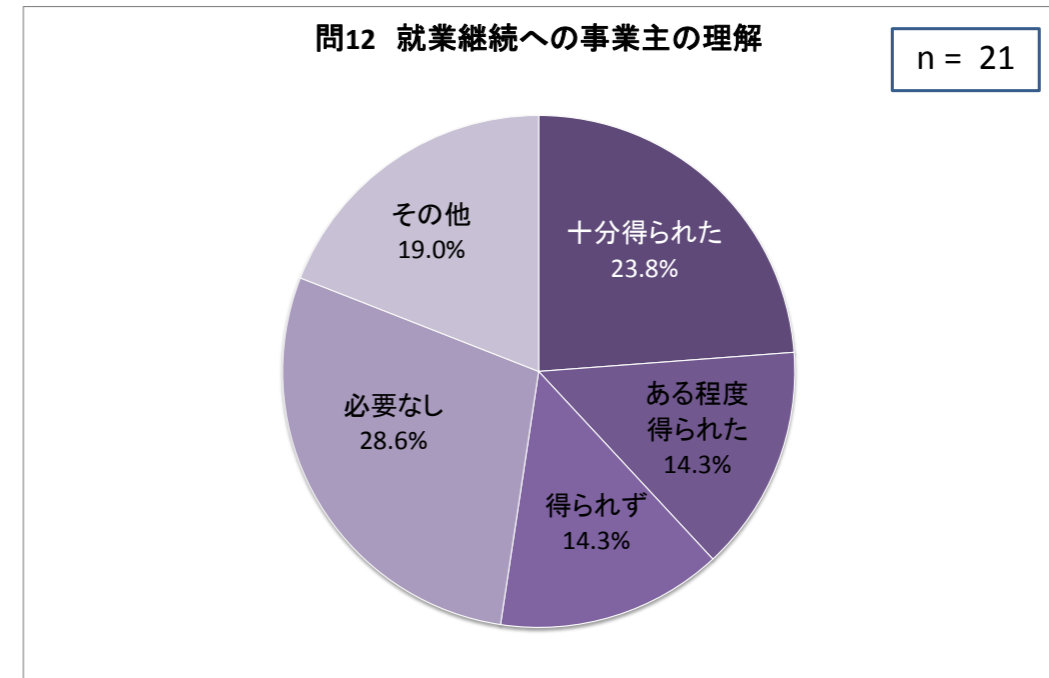
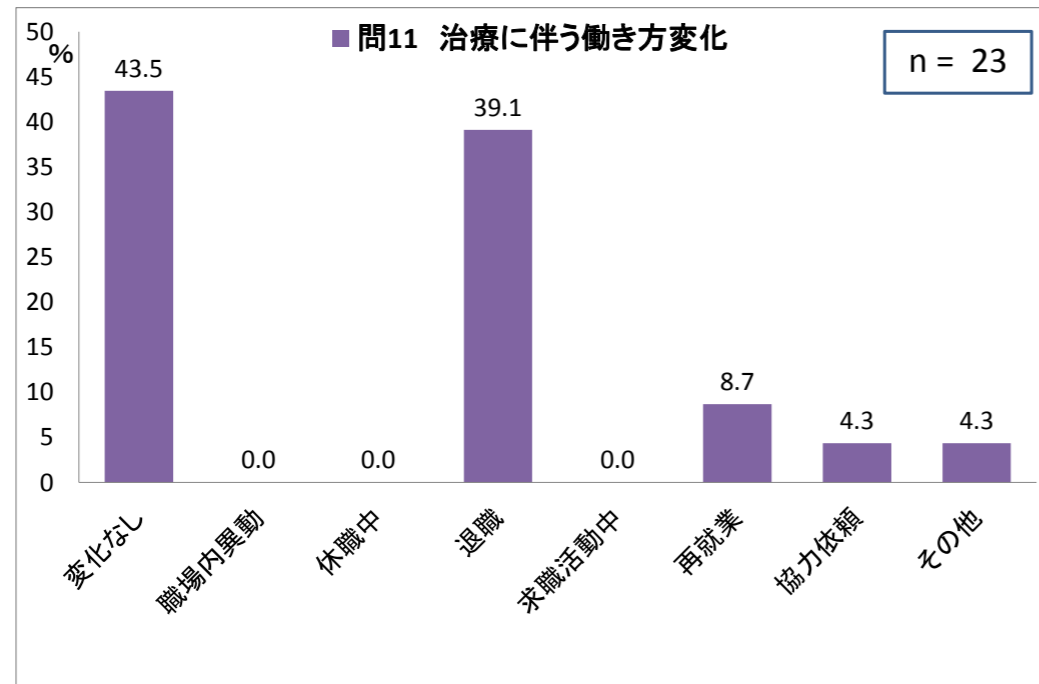


III 就業に関すること

問10 診断前、治療中(入院・外来化学療法中)、現在(今後)の就労状況

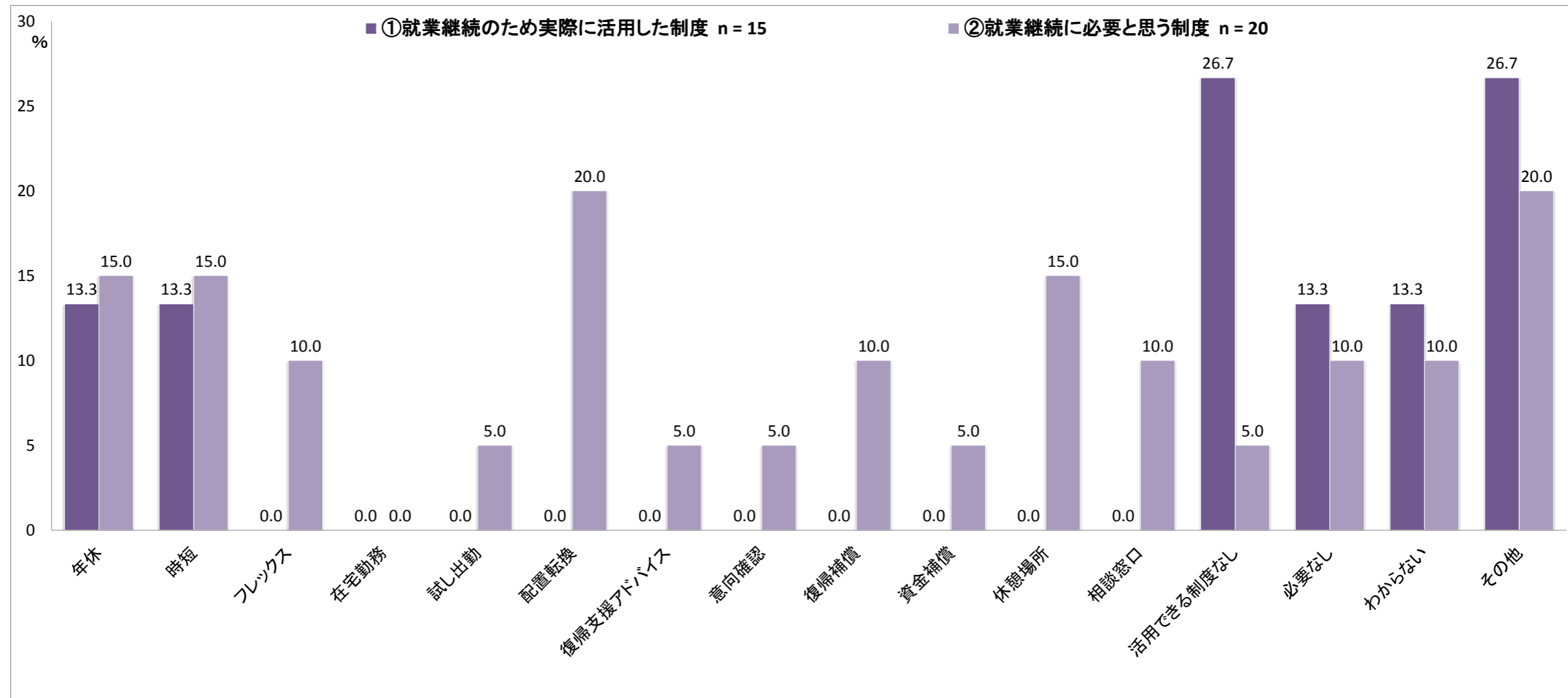


Ⅲ 就業に関すること

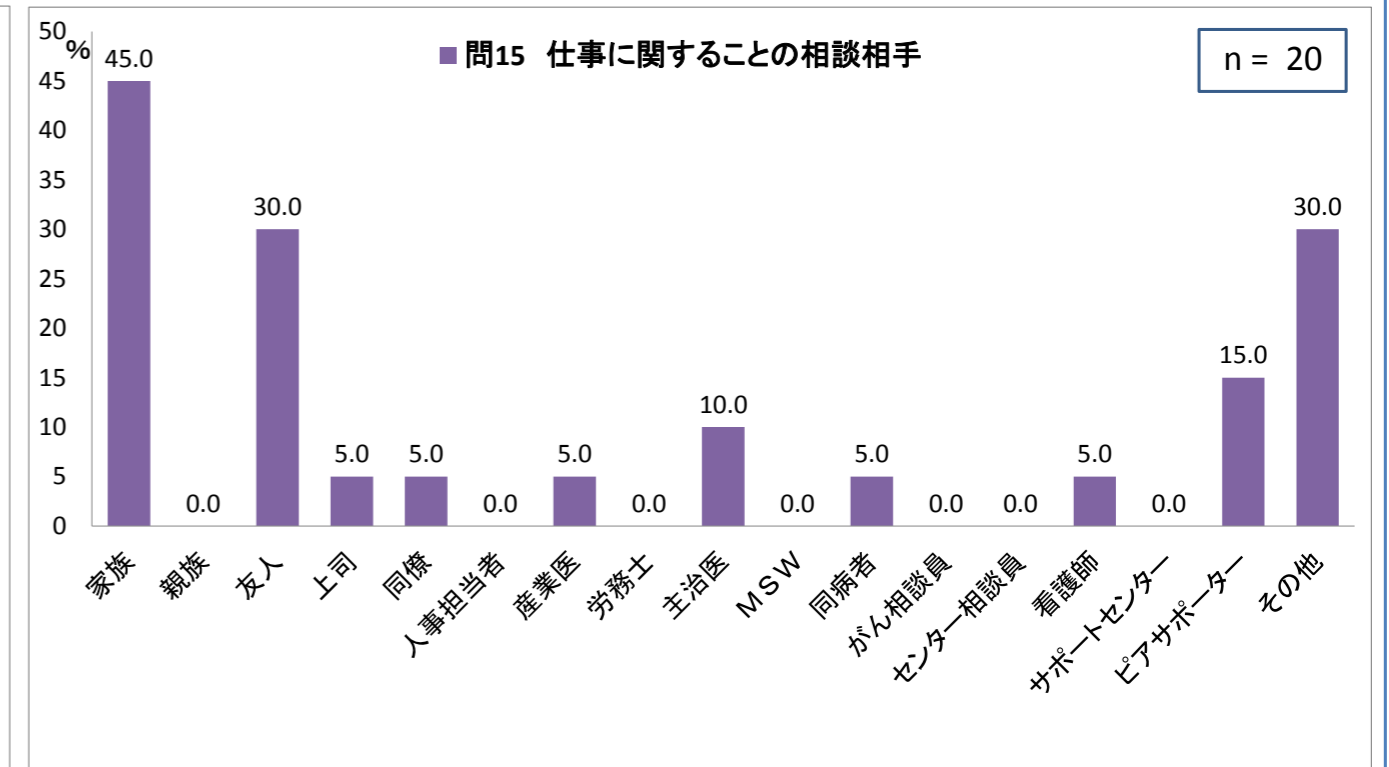
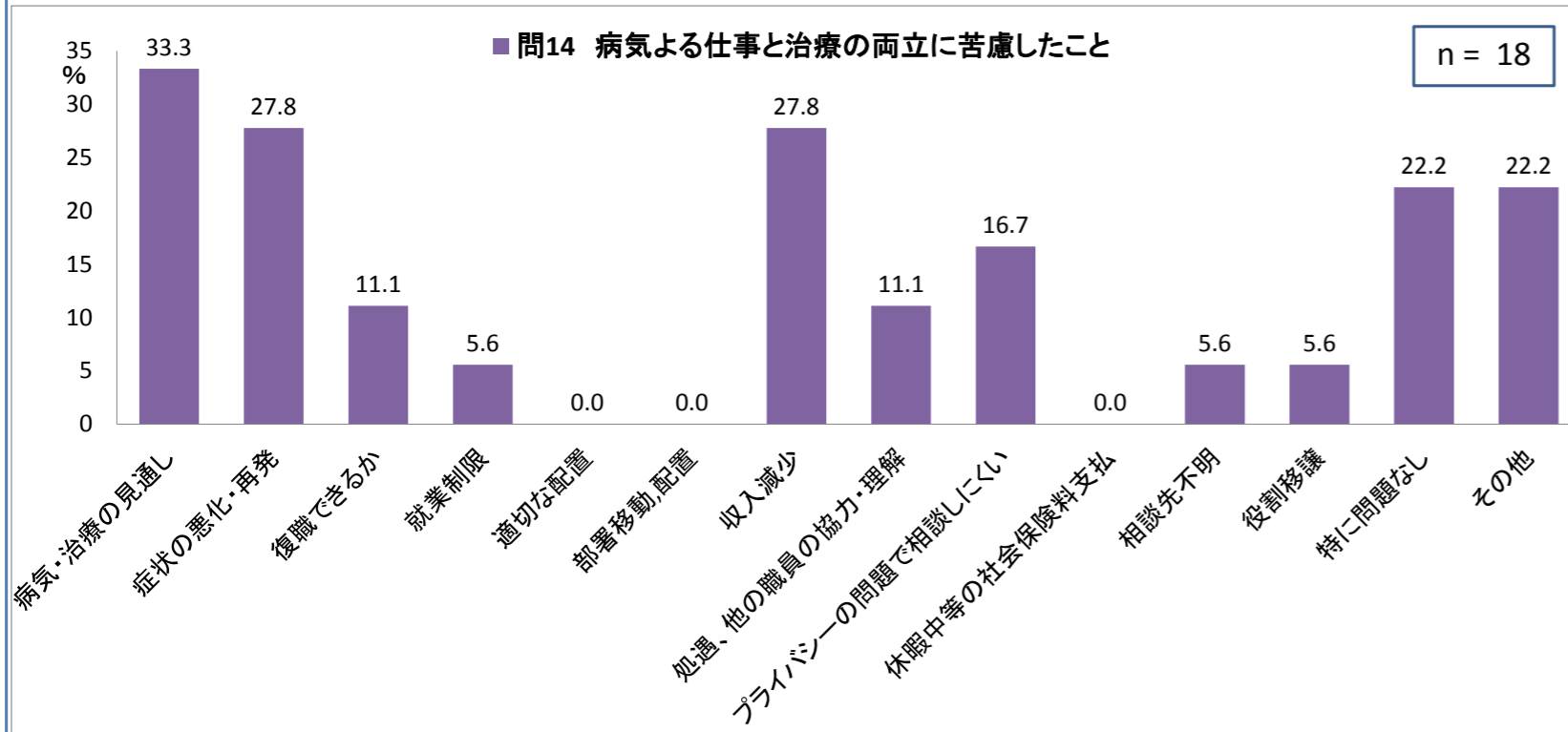


Ⅲ 就業に関すること

問 13 就業を継続するために活用した制度及び就業を継続するために必要と思う対応や制度について

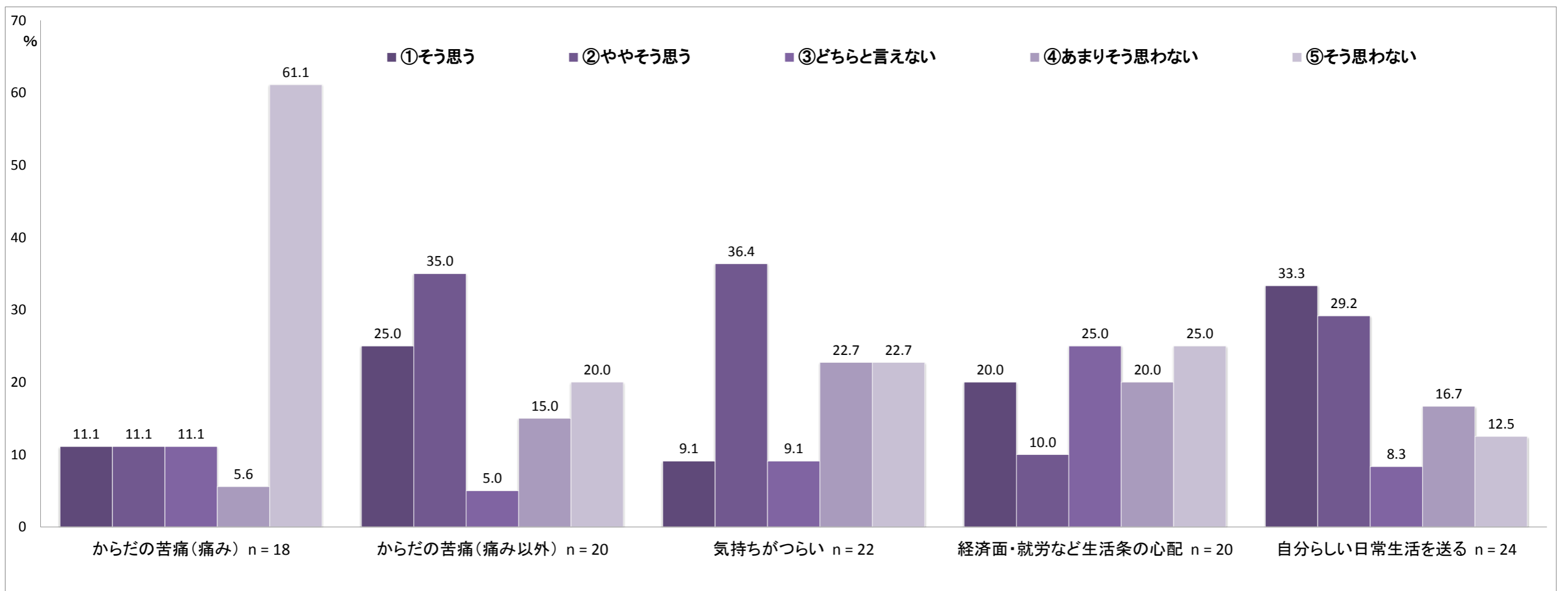


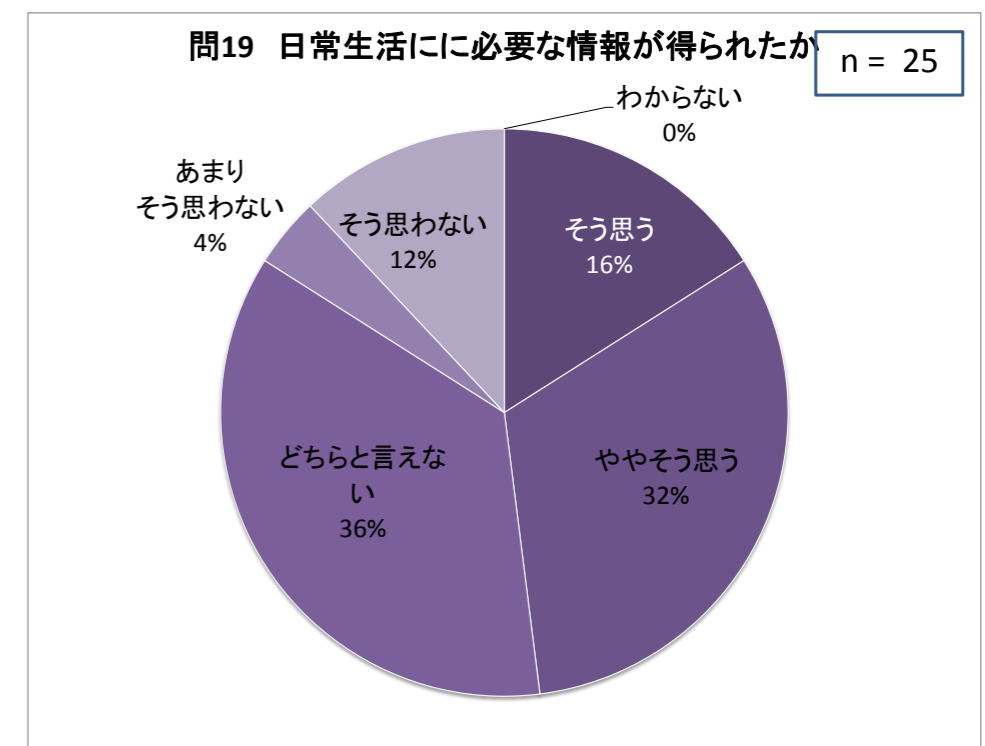
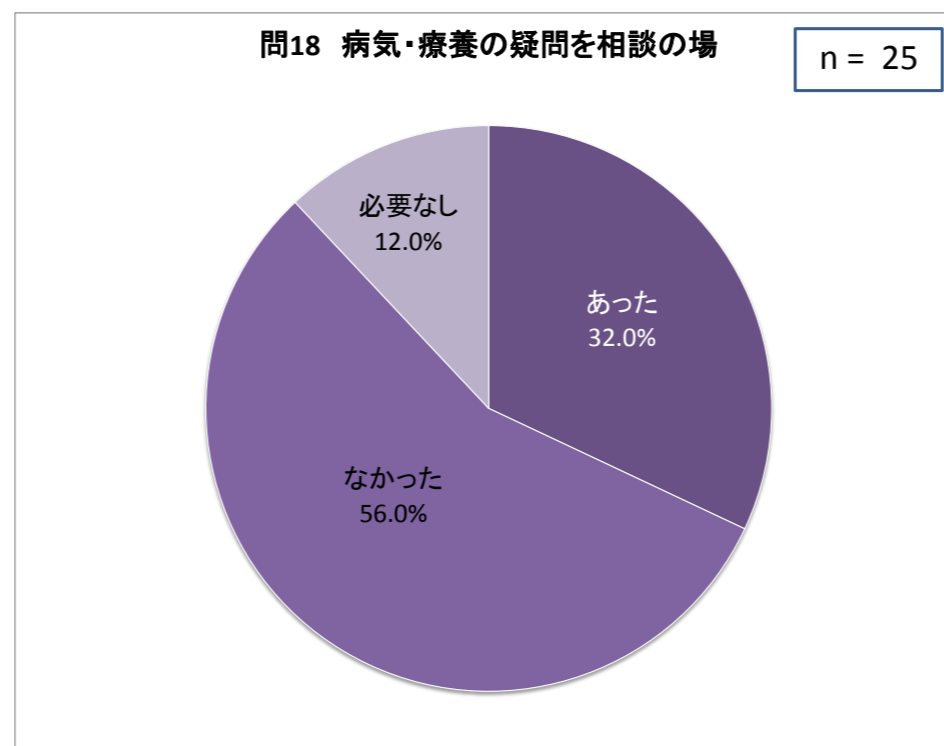
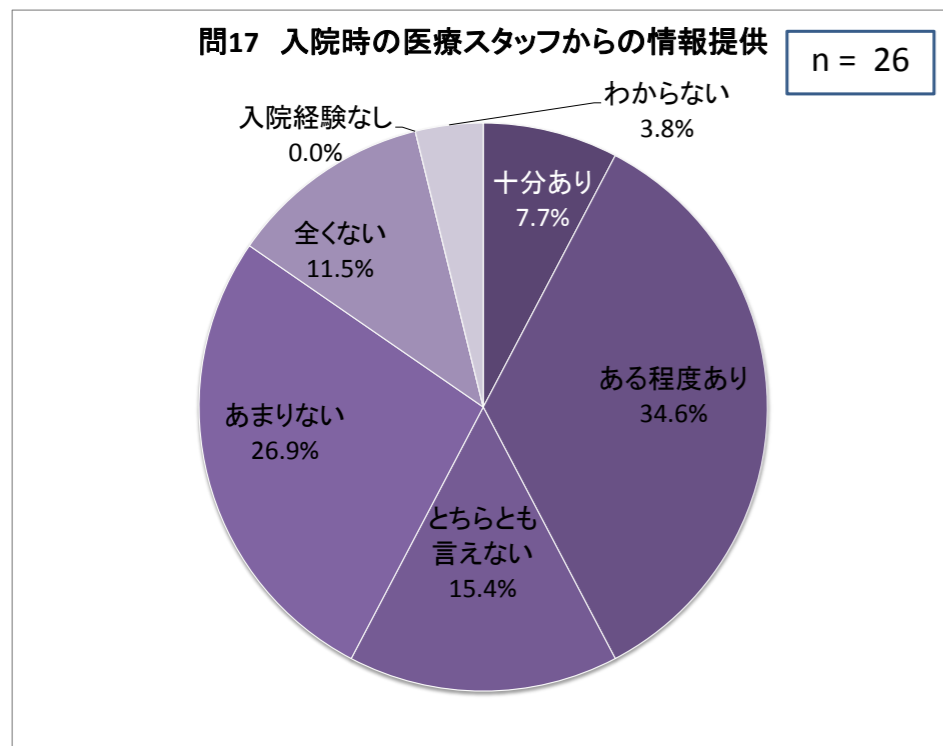
Ⅲ 就業に関すること



Ⅳ 相談支援・情報提供・要望等に関すること

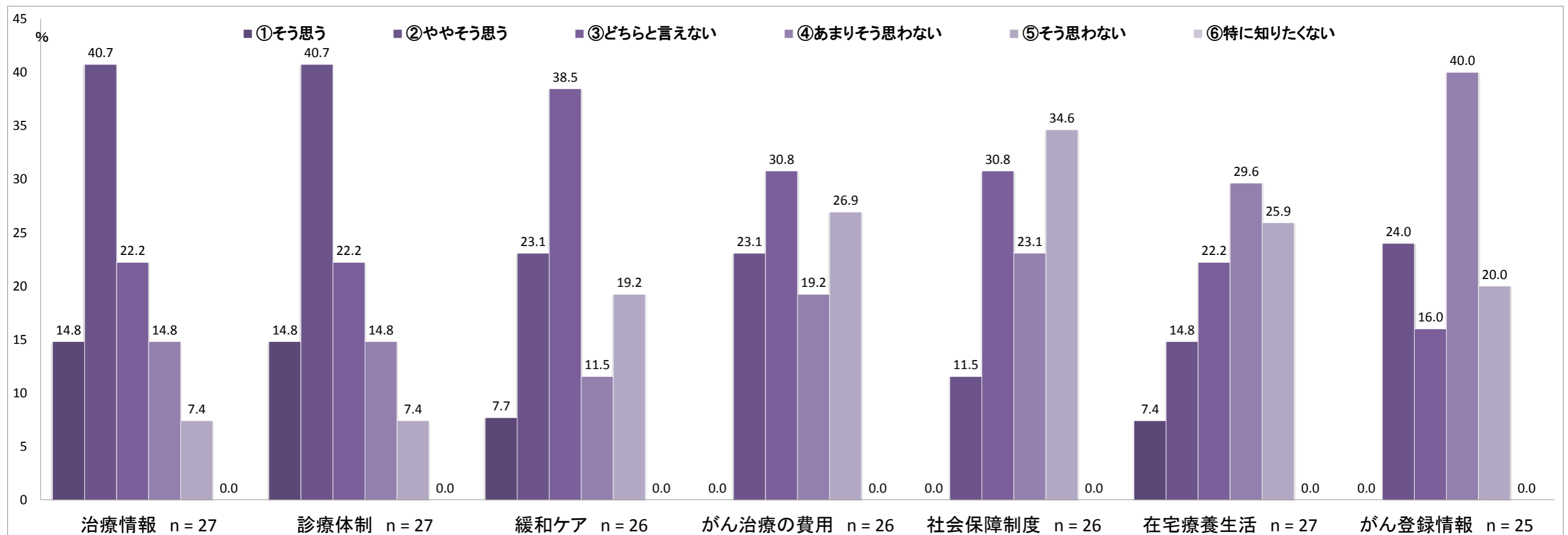
問 16 現在の心身の状況についてどのように感じているか





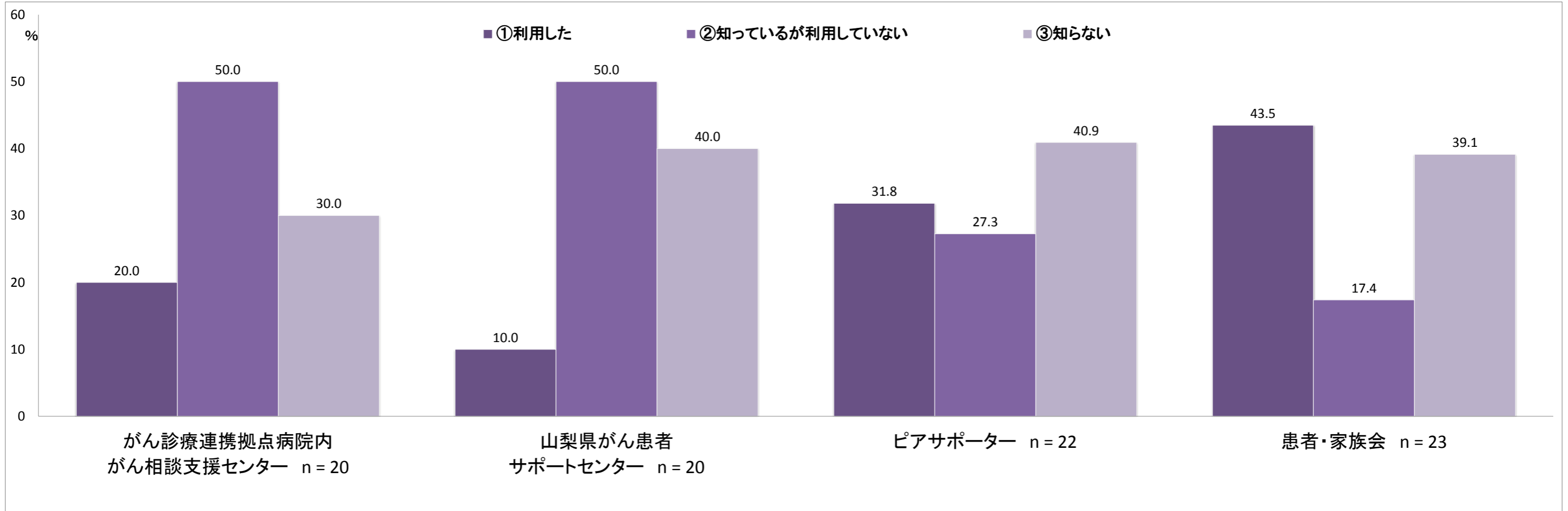
IV 相談支援・情報提供・要望等に関すること

問 20 がんに関する情報が十分提供されていると思うか

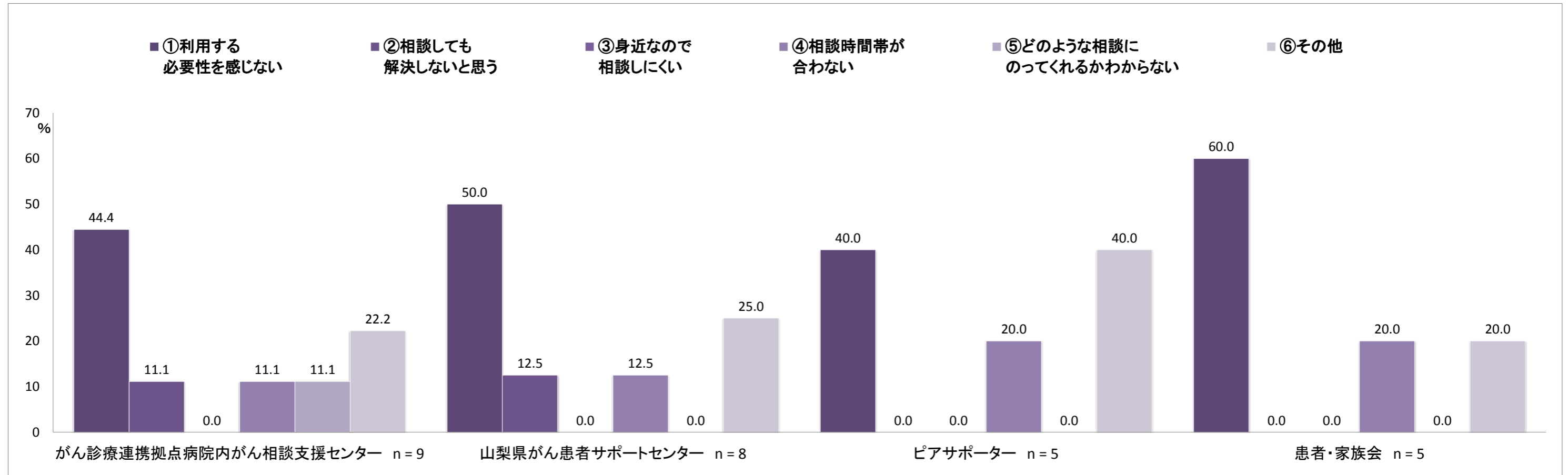


IV 相談支援・情報提供・要望等に関すること

問 21 相談機関の認知と利用状況



問 22 相談機関について「知っているが利用したことがない」と回答した方の利用しない理由



自由記載(がん診療拠点病院通院治療室のがん患者)

○信頼関係

- ・知識、教養、技術、経験、人の心の思いやり、患者側の気持ちになって心と体のケアをしている。治してやろう、治そうという気持ちが強く、とっても安心。
- ・入院時に自分がどういう状態であるのかの説明や病状、容体が毎日訪問する家族にほとんど伝わらず、病気である本人からも具合が悪く伝えられないので大変だった。コミュニケーションを密にしてほしい。
- ・医師や看護師の親切で適切な対応に支えられ心づよく病と闘うことができている
- ・化学療法センターのスタッフと顔を合わせが出来る事が楽しみ

○相談支援

- ・免疫が下がっているため、からだが大変。通院もやつの状況。人の多い場所へ行くことためらいがあるため、包括支援センターの訪問がありがたい。高齢世帯で今後の悩み多い。
- ・治療に関する、疑問・質問に関する説明の場がほしい
- ・治療の長期化での不安多い。相談できるところがあるなら利用したい
- ・今は時間が経過しショックが無くなった。ショックを受けた時に相談できる場所があればよかった。
- ・相談ができる場所があった方がよい
- ・初めての段階で不安だったため相談したかった
- ・経済的な不安について相談出来る所の情報が入ってこない。

○情報提供

- ・現在は同じ状況にあるがん患者、又はネットから情報を得ている。文献も30冊以上読んでいろいろな症例を知りました。自分の現在の立場に合った方法でやることと病院のシステムとの差を上手に利用するだけです。
- ・ガンの情報はほとんど自分で本を買うか、主治医に聞いている。公共の情報センター(場所・連絡先等)は何があるか知らない。

○医療体制

- ・山梨県の群部(富士東部圏域)の施設が充実していない。是非力を入れてください。
- ・24時間、365日対応してほしい

- ・緩和病棟の入院する院内設置がない
- ・土日とは言わないがせめて土曜日に通院ができれば職場に迷惑をかけないで済む
- ・山梨県にもがんセンターを作って欲しい

○助成制度

- ・抗がん剤の医療費を軽減してほしい。
- ・助成金制度の充実
- ・病気になったことで辛いうえに、治療費や日常の生活費の心配がある。何か行政で手立てがあると助かる。
- ・毎月の支払いが負担。働き続けられなくなったら不安。年金の中でやりくりできるか心配。
- ・医療費がかかることが心配
- ・病気になり仕事が出来なくなった今が大変。費用・介護など仕事の復職が厳しい時、どうしたらいいか。病気は待ってくれない。

○その他

- ・術後の入院日数をもう少し長くして欲しい
- ・がんの治療は点滴をするしかないと思っていた
- ・身近な人たちのサポートがあるから困らない
- ・経過が浅くまだ考えられない

自由記載(がん患者団体に属するがん経験者)

○信頼関係

- ・患者と医療者間の信頼関係が必要

○ピアサポートの機会

- ・ピアサポートを各病院に入れて欲しい

○助成制度

- ・治療や検査、装具等の購入等費用がかかり助成制度がほしい

平成 28 年度がん患者就労・療養生活に関する

調査結果まとめ

□ 通院加療中のがん患者の就労について

- ・ 診断時期は 6 割が 2 年以内であり、通院状況は 4 割の方が週 1～2 週に 1 回、2 割の方が月 1 回の通院加療している。

- ・ 治療に伴う働き方の変化については、2 割の方が退職している。

その要因として、「事業主の就業継続の理解」は 7 割あると回答しているが、治療と仕事の両立に何らかの苦慮した方が 8 割であり、具体的な理由として「病気や治療の見通しが持てない」5 割、「収入の減少」、「復職後の症状の悪化や再発」3 割の順に多く、就業継続の難しさが推測できる。

□ がん経験者の就労について

- ・ 診断時期は 9 割が 2 年以上であり、通院状況は 5 割の方が半年に 1 回以上の通院である。

- ・ 治療に伴う働き方の変化については、職場内異動、休職ではなく 4 割の方が入院時に退職していた。

その要因として、診断時期から時間が経過しているため一概に判断できないが、「事業主の就業継続の理解」は 4 割あるという状況で、通院加療中の方との違いはあるものの、治療と仕事の両立に苦慮した方が 8 割、具体的な理由も通院加療中の方と同様であることから、就業継続の難しさは改善していないと推測できる。

【ご記入について】

- ・それぞれの問で、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてください。「その他」に○印をつけられた場合や、記述式の問の場合には、()内に内容をご記入ください。
- ・ご回答が済みましたら、回収箱へ入れてください。

I. あなた自身についてお伺いします。

問1. 性別を教えてください。(○は1つ)

- 1 男性 2 女性

問2. 年齢を教えてください。(○は1つ)

- 1 19歳以下 2 20～29歳 3 30～39歳 4 40～49歳 5 50～59歳 6 60～69歳
7 70～79歳 8 80歳以上

問3. 同居者を教えてください。(○はいくつでも)

- 1 同居者なし 2 配偶者 3 実父母
(義父母) 4 実兄弟姉妹
(義兄弟姉妹) 5 子ども
(子の配偶者) 6 孫
7 その他()

II. 病気についてお伺いします。

問4. 現在治療されている「主たる」がんの種類を教えてください。(○はひとつ)

- 1 乳がん 2 大腸(結腸・直腸)がん 3 胃がん 4 肺がん 5 肝臓がん 6 前立腺がん
7 子宮がん 8 卵巣がん 9 食道がん 10 すい臓がん 11 口腔・咽頭・喉頭がん 12 甲状腺がん
13 悪性リンパ腫・白血病 14 骨・軟部腫瘍 15 脳腫瘍 16 膀胱がん 17 精巣腫瘍 18 原発不明がん
19 その他()

以下、問4で回答した病気について、ご記入ください。

問5. どのくらい前に診断されましたか。(○はひとつ)

- 1 1ヶ月未満 2 1～3ヶ月未満 3 3～6ヶ月未満 4 6ヶ月～1年未満 5 1～2年未満 6 2～3年未満
7 3～4年未満 8 4～5年未満 9 5～6年未満 10 6～7年未満 11 7～8年未満 12 8～9年未満
13 9～10年未満 14 10～15年未満 15 15～20年未満 16 20年以上 17 わからない

問6. 「診断時」の進行度(ステージ)を教えてください。(○はひとつ)

- 1 0期 2 I期 3 II期 4 III期 5 IV期 6 わからない

問7. これまで受けた治療の種類について教えてください。(○はいくつでも)

- 1 手術 2 抗がん剤 3 放射線 4 緩和治療
(痛みや苦痛をとる治療) 5 わからない
6 その他()

問8. 現在の治療の状況について教えてください。(○はひとつ)

- 1 治療継続中 2 再発治療中 3 治療終了 4 わからない

問9. 現在の通院の頻度について教えてください。(○はひとつ)

- 1 週に1回程度 2 2週に1回程度 3 月に1回程度 4 3ヶ月に1回程度 5 半年に1回程度 6 年に1回程度
7 わからない 8 その他()

Ⅲ. 就業に関することについてお伺いいたします。

問10. 就業状況について、①診断前 ②治療中(外来化学療法等) ③現在(今後)にそれぞれについて教えてください。(それぞれ○はひとつ)

内容	① 診断前 (○はひとつ)	② 治療中		③ 現在 (今後も含む) (○はひとつ)
		入院(手術等) (○はひとつ)	外来(化学療法等) (○はひとつ)	
1 正規の職員・従業員				
2 パート・アルバイト				
3 派遣社員・契約社員・嘱託				
4 自営業・家族従業員				
5 農業				
6 家事専業・家事手伝い				
7 無職				
8 該当なし				
9 その他()				

問11. 病気の治療に伴う働き方の変化についてお伺いします。(○はいくつでも)

- 1 特に変化なし 2 職場内異動(違う仕事内容の部署) 3 現在休職中(休業中) 4 退職(廃業) 5 求職活動中 6 再就業
7 他者に協力依頼・移譲 8 その他()

問12. 検査や治療が進む中、就業の継続に対する事業主の理解や支援は得られましたか。(○はひとつ)

- 1 十分得られた 2 ある程度得られた 3 得られなかった
4 理解・支援は必要なかった 5 その他()

問13. 就業を継続するためにあなたが活用した制度およびあなたが必要と思う対応や制度について次の問ア・問イについてあてはまるものを下記1～16から選んでください。

問ア 下記1～16の中であなたが活用した制度について教えてください。(○はいくつでも)

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

問イ 下記1～16の中であなたが必要と思う対応や制度について教えてください。(○はいくつでも)

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

1 年次有給休暇の時間単位での取得	9 休職前(部署・ポジション)への復帰補償
2 短時間勤務への変更	10 休職前の賃金補償
3 フレックス勤務への変更	11 体調不良時の休憩場所の確保
4 在宅勤務への変更	12 相談窓口の設置
5 試し出勤制度(リハビリ勤務など)	13 活用できる制度がない
6 体調を考慮した配置転換	14 必要ない
7 職場復帰支援へのアドバイス(産業医等)	15 わからない
8 職場復帰前の面接(意向確認)	16 その他()

問14. 病気となり、仕事と治療を両立する上で、苦慮したことを教えてください。（〇はいくつでも）

- 1 病気や治療の見通しがわからないこと
- 2 復職後の症状の悪化や再発について
- 3 復職できるかどうかについて
- 4 就業制限の必要性や期間について
- 5 復職後に適切な配置がされるかわからないこと
- 6 症状や治療に合わせた部署異動・配置調整について
- 7 収入の減少について
- 8 病気による処遇等、他の従業員の理解・協力について
- 9 プライバシーの問題なので、上司に相談しにくい
- 10 長期休暇・休職中の社会保険料の支払いについて
- 11 復職や休業に関する相談先がわからない
- 12 協力を依頼できる人、移譲できる人が見つけられない(人材の確保)
- 13 特に問題なし
- 14 その他(

問15. 現在まで仕事に関することを誰かに相談しましたか。（〇はいくつでも）

- | | | | | | |
|----------------------|-----------|-----------------------------|--------------------|-----------|----------|
| 1 家族 | 2 親戚 | 3 友人 | 4 上司 | 5 同僚 | 6 人事担当者 |
| 7 産業医・産業
カウンセラー | 8 社会保険労務士 | 9 主治医(医師) | 10 医療ソーシャル
ワーカー | 11 同病者 | 12 がん相談員 |
| 13 がん相談支援
センター相談員 | 14 看護師 | 15 がん患者サ
ポートセンター
スタッフ | 16 ピアサポーター | 17 その他() | |

IV. 相談支援・情報提供・要望等についてお伺いいたします。

問16. 現在の心身等の状況1～5についてそれぞれ教えてください。（それぞれ〇はひとつ）

内 容		そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	そう 思わない
1	からだの苦痛	1	2	3	4	5
2		1	2	3	4	5
3	気持がづらい	1	2	3	4	5
4	経済面・就労など生活上の心配がある	1	2	3	4	5
5	自分らしい日常生活を送れている	1	2	3	4	5

問17. 入院時、医療スタッフから退院後の生活の見通しに関する情報提供はありましたか。（〇はひとつ）

- | | | |
|-----------|-----------|-------------|
| 1 十分あった | 2 ある程度あった | 3 どちらとも言えない |
| 4 あまりなかった | 5 全くなかった | 6 入院経験なし |
| 7 わからない | | |

問18. 病気のことや療養生活に関する様々な疑問を相談できる場がありましたか。（〇はひとつ）

- | | | |
|-------|--------|---------------|
| 1 あった | 2 なかった | 3 相談を必要としなかった |
|-------|--------|---------------|

問19. あなたは、自分が思うような日常生活を送るのに必要な情報を得られていると思いますか。
(○はひとつ)

- 1 そう思う 2 ややそう思う 3 どちらとも言えない
4 あまりそう思わない 5 そう思わない 6 わからない

問20. 下記の項目について、情報が十分だと思いますか。(それぞれ○はひとつ)

内 容	そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	そう 思わない	特に 知りたく ない
1 がんの治療方法についての情報が十分である	1	2	3	4	5	6
2 病院の診療体制や治療状況についての情報が十分である	1	2	3	4	5	6
3 緩和ケアについての情報が十分である	1	2	3	4	5	6
4 がん治療に係る費用についての情報が十分である	1	2	3	4	5	6
5 経済的支援や利用できる社会保障制度などの情報が十分である	1	2	3	4	5	6
6 自宅での療養生活についての情報が十分である	1	2	3	4	5	6
7 がんの病態や統計データ等の情報が十分である	1	2	3	4	5	6

問21. 相談機関等について教えてください。(それぞれ○はひとつ)

	利用したことがある	知っているが 利用したことはない	知らない
1 がん相談支援センター (がん診療連携拠点病院内設置)			
2 山梨県がん患者サポートセンター			
3 ピアサポーター			
4 患者・家族会			

問22. 上記問21で「知っているが利用したことはない」と回答された方に伺います。
利用しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

	利用する 必要性を 感じない	相談しても 解決しない と思う	身近な ので相談し にくい	相談 時間帯が 合わない	どのような相 談にのって くれるかわか らない	その他
1 がん相談支援センター (がん診療連携拠点病院内設置)						
2 山梨県がん患者サポートセンター						
3 ピアサポーター						
4 患者・家族会						

問23. 行政・病院に対する要望等や、その他のご意見・ご提案がありましたら、ご記入ください (自由記述)